通巻16号 1993年4月5日発行(毎月1回5日発行) 1992年4月20日第三種郵便物認可

# 理想社会
# Shambhala

監修:真理の御魂最聖麻原彰晃尊師

16

## 人生を変える
## 能力覚醒の秘儀!

神秘科学特集

## 科学の目が、霊的センター「チャクラ」をとらえた!

### ―科学が宗教を証明した歴史的瞬間

PART1 神秘のベールを脱いだ「チャクラ」とは何か?

PART2 ついに明るみになった神秘の世界
世紀の実験、チャクラの存在が証明された!

PART3 チャクラを開発するだけで
この世は思いのままに生きられる!

PART4 実験が証明したその超人性
進化した修行者がハルマゲドンを生き残る!

PART5 チャクラを開発せよ!
人間を超え、そして神となるために――

They shall hunger no more,
neither thirst anymore;
neither shall the sun beat down on them,
nor any heat……

彼らは、もはや飢えることがなく、
かわくこともない。
太陽も炎暑も、
彼らを侵すことはない——

『ヨハネの黙示録』（第7章）
日本聖書協会訳

CONTENTS

# 理想社会 16

Shambhala

監修：真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師

## 神秘科学特集

# 科学の目が、霊的センター「チャクラ」をとらえた！

## ——科学が宗教を証明した歴史的瞬間 2


プロローグ 4

PART 1
神秘のベールを脱いだ「チャクラ」とは何か？ 6

PART 2
ついに明るみになった神秘の世界
世紀の実験、チャクラの存在が証明された！ 20

PART 3
チャクラを開発するだけでこの世は思いのままに生きられる！ 32

PART 4
実験が証明したその超人性
進化した修行者がハルマゲドンを生き残る！ 40

PART 5
チャクラを開発せよ！ 人間を超え、そして神となるために—— 58

エピローグ 68

"超人になれ"
ハルマゲドンを乗り切れる
オウム真理教の修行体系 70

尊師対談ハイライト 72

聖者からのメッセージ
聖者方に使命を託された
真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師 73

世界との交流
世界へ羽ばたくオウム真理教 74

キミはもう尊師を聴いたか？
オウム真理教ラジオ放送情報 76

オウム真理教の本プレゼントコーナー
真理の法をあなたに 78

これを読まずに1999年は迎えられない！
世紀末人類必読の書、『理想社会』シリーズ 80

好評！ あなたとオウムをつなぐ
パソコン通信、"オウム真理教ネット"のご案内 80


Aum Publishing Co., Ltd.

神秘科学特集

# 科学の目が、霊的センター

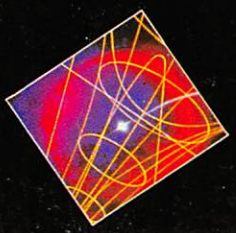
## ——科学が宗教を証明した歴史的瞬間

神秘の光輪「チャクラ」——
それは、あなたの身体に息づく霊的センター
あらゆる才能を生み出し、超能力を司り
広大無辺な異次元世界へと誘う〝神々への扉〟
あなたを超人に変え、至福をもたらし
大宇宙の根源を体得させてくれる〝光への階梯〟
それが、チャクラ

数千年以上にもわたって世界中の宗教が最奥儀に秘してきた
目には見えないこのチャクラが
とうとう、科学の目でとらえられた！
オウム真理教科学班の叡智によって
チャクラの存在が世界で初めて証明されたのだ！

科学の力で精神世界の真実を解き明かす
科学と宗教の融合……
真実の宗教だからこそ成し遂げられた快挙
光り輝く精神文明の時代は
もう、そこまで来ている

さあ、もはや戸惑うことはない
チャクラを開発して超人になり
ハルマゲドン（人類最終戦争）を生き残って進化し
新しい時代の主人公となるのは
あなただ！



# 「チャクラ」をとらえた！

# プロローグ

◆科学の目がチァクラをとらえた

「実験は成功した！」

「チァクラの存在が証明されたぞ！」

記者Tのかん高い声がフロアいっぱいに響きわたると、『理想社会』編集部の面々はいっせいに色めきたった。

「そうか、とうとうやったか！」

チァクラの存在を探究する歴史的な実験を取材してきた記者Tの興奮が、瞬く間に編集部全員に波及する。無理もない。メンバー全員が、麻原彰晃尊師の教えの実践を通じて、チァクラの開発に心血を注いできたオウム真理教の修行者なのだ。皆、数千年にわたって経典に語り継がれてきたチァクラの存在を自らの修行体験によって確信しながらも、科学的な裏付けができなくて歯がゆく思っていたところだった。この実験結果をどれほど首を長くして待ち望んでいたことか……。

◆目に見えない法則を伝えたい——真の幸福のために

オウム真理教の修行者は、経典と自らの修行によって、この大宇宙のすべてを支配する深遠な法則や、目に見えない異次元世界の存在を確信している。そうした目に見えない真理の法則を知って応用してこそ初めて真に幸福に生きられるものと信じ、その法則を一人でも多くの方に知らせ伝えんと努めている。

しかし、あいにくにも、20世紀の現代は「科学万能の時代」。科学で証明できるものこそ真実であり、証明できないものは迷信だ！ という考えが世間の大勢である。そんな悲しい現状にあって、古今東西の聖者方が説いてこられた真理の法則は、「妄想上の産物」とばかりに社会の片隅に追いやられ、よくてもせいぜい文化財扱いというところだ。

だが、現代の物質文明が物質的豊かさを実現しながらも、その一方で人心を荒廃させ殺伐とした社会を生み出した最大の原因は、そうした目に見えない真理の法則を科学万能主義の名の下に切り捨ててきたことにある。

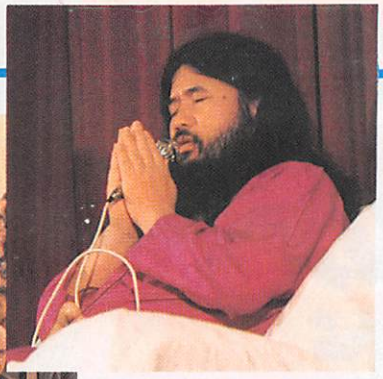
文明の爛熟期を終えて退廃期を迎えつつある現代日本……。わたしたちは急いでこの事実を世に知らせねばと考えた。とはいうものの、科学万能主義にどっぷり浸かった日本人に、いったいどうやって目に見えない世界の実在を認識させればいいのか？ そこで出た答え、それが、「目に見えない世界の真実を〝科学〟によって証明する」というものだ。いわば、

「宗教を科学する」

といったところである。

これは尊師の方針であり、尊師ご自身も科学分野の研究に力を入れられている。

レーザー研究でノーベル賞を受賞したバソーフ博士と量子力学の未来について語り合う麻原尊師



モスクワラジオ電子自動制御大学での尊師講演会。会場は教授陣や学生で埋め尽くされた。

◆真実の宗教は科学で証明できる！

こういうと、

「えっ、目に見えない世界を扱う『宗教』と『科学』とは対立するものじゃないのか？」

といぶかる方がいるかもしれないが、そうではない。そういわれてきたのは単に、対象として取り上げられた宗教が非科学的なマガイモノであったからか、あるいはその時点での科学が宗教の示す現象を説明できるほど進歩していなかったからか、のどちらかである。よって、ここに「真実の宗教」と「進歩した科学」が共に存在すれば、両者は対立するどころか並存し、宗教の説く諸現象が科学をもって説明されるはず。「真実の宗教は科学で証明できる」のだ。

事実、真実の宗教であるヨーガ理論と現代科学との関係がそうである。ヨーガ行者は数千年も前から、宇宙が爆発によって生じたこと、光が情報であること、物質は高次元のデータが投射されたものであることを修行体験上知っていたが、科学はようやく現代になってその正しさを証明できるようになった。つまり、宇宙物理学の発展によって「ビッグバン」が存在したこと、光ファイバー等の開発によって光が情報であること、素粒子論の発展によって物質の根源が非物質的なものであることが証明されるようになったわけだ。

科学が未発達な過去ならば、「非科学的」と一蹴されて科学と対立関係にあるかのように見えたヨーガだが、現代に至っては対立関係はほとんど存在しない。真実の宗教は進歩した科学で証明されているのである。

◆実験成功！——新しい世界の到来を告げて

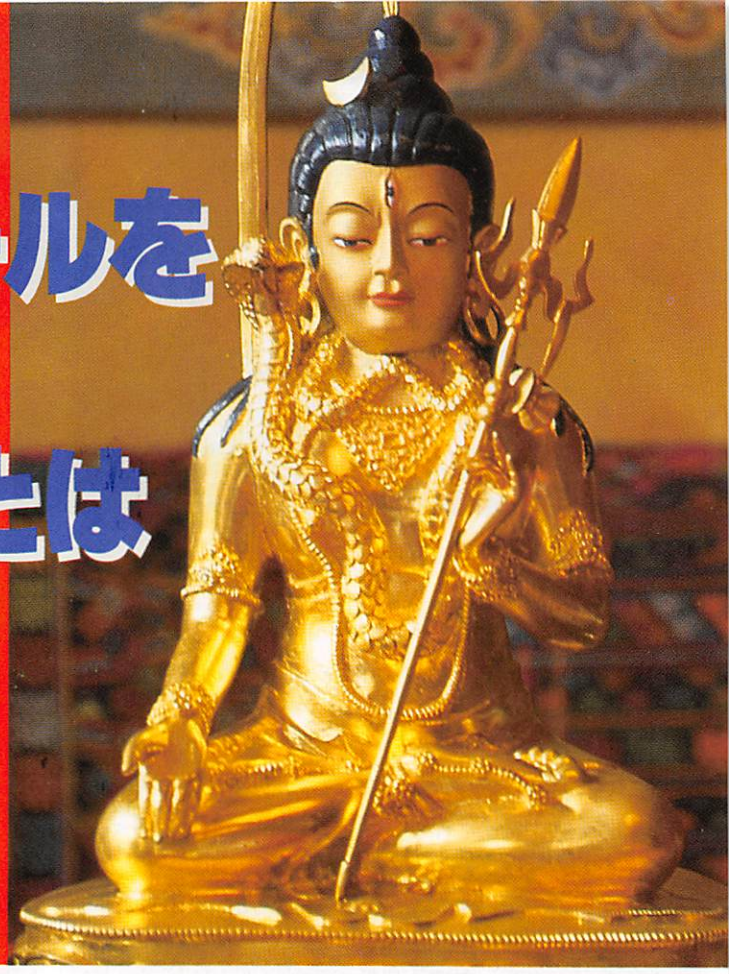
数千年来の真実の宗教・ヨーガ理論をようやく証明できるまでに進歩した現代科学。これが、ヨーガ理論に基づいたオウム真理教の教義の正しさを証明できないはずがない。そうわたしたちは考えた。科学的実験を通して目に見えない世界を目に見える形で人々に提供し、真理の法則の実在を認識してもらいたい。そうすることによって真に幸福になってもらいたい——こんな熱い願いの込められた実験の第1弾、それがチャクラの存在を検証する実験だった。

そして、実験は見事に成功した。科学の目が、神秘世界のチャクラをはっきりとマークしたのだ。これで、きっと科学万能主義に侵された多くの人々が、目に見えない世界の存在を認識してくれるであろう。物質よりももっと根本的で重要なものが存在していることを理解してくれるであろう。そして何よりも、チャクラに秘められた神秘のパワーを開発して超人に至り、今世紀末の大破局を生き残り、新たな精神文明を担う主人公となっていくであろう。

「実験は成功したぞ！」——編集部に響きわたった記者Tの声は、新しい時代の始まりを告げる鐘のようにも聞こえた。

PART 1

# 神秘のベールを脱いだ「チァクラ」とは何か？



## チァクラとは？

「チァクラ、チァクラというけど、いったいチァクラって何なんだ？」

プロローグをお読みになった方は、こう思われることだろう。そこで、注目の実験結果を見る前に、「そもそもチァクラとは何か？」について詳しく述べることにしよう。

チァクラ――それは一言でいうならば、人体に存在する〝霊的エネルギーのセンター〟である。目には見えないが、もちろんあなたの身体にも存在している。表1と図1を見ていただきたい。主なものは七つある。下から順に、ムー

各チァクラの形状と色

| チァクラ | 位置 | 形状 | 色 |
|---|---|---|---|
| ムーラダーラ・チァクラ | 尾てい骨 | 逆三角形 | 暗い赤色 |
| スヴァディスターナ・チァクラ | 性器 | ８枚の花弁を持ち、花弁の中心は半月形が見える | オレンジ色 |
| マニプーラ・チァクラ | へそ | 四角形 | 輝くような藍色 |
| アナハタ・チァクラ | 左乳頭 | 12枚花弁を持った六角形 | 黄金色 |
| | 右乳頭 | 花弁を持たない円 | 深紅 |
| | 左右の両乳頭を結ぶ線と正中線が交わる点 | 10枚花弁を持った五角形 | スカイ・ブルー |
| ヴィシュッダ・チァクラ | 喉 | 16枚の花弁を持った円形 | 灰色 |
| アージュニァー・チァクラ | 脳下垂体 | 花弁は大きく分けて２枚。それぞれが48枚に細分化されている。長円 | 白銀 |
| サハスラーラ・チァクラ | 頭頂 | 球状 | 薄いブルーの入った白銀 |

表１（麻原尊師著『タターガタ・アビダンマ 第一誦品』〈オウム出版〉より）

ラダーラ・チャクラ、スヴァディスターナ・チャクラ、マニプーラ・チャクラ、アナハタ・チャクラ、ヴィシュッダ・チャクラ、アージュニャー・チャクラ、サハスラーラ・チャクラ、である。

「なにか、ややこしい呼び名だな……」――古代インド語なので、初めて耳にする方には取っつきにくいかもしれないが、それぞれの名称にはきちんとした意味がある。まず、チャクラというのは「輪」という意味。霊視すると輪のように見えるからだ。そして、一番下に位置するムーラダーラ・チャクラは「根のチャクラ」、頭頂で輝くサハスラーラ・チャクラは「王冠のチャクラ」という意味を持っており、それぞれの位置や形状がそのまま名称になっているのだ。

1300円

●書籍案内

『タターガタ・アビダンマ第一誦品』大宇宙の実相

原始ヨーガ、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教などすべての真理を内在した史上最強の法則。

麻原彰晃尊師の修行体験と原始仏教などをベースに確立されたオウム真理教入門書第一弾！ 真実の宇宙観と魂の落下のプロセスを詳述する。

『タターガタ・アビダンマ第二誦品』真理勝者の救済計画

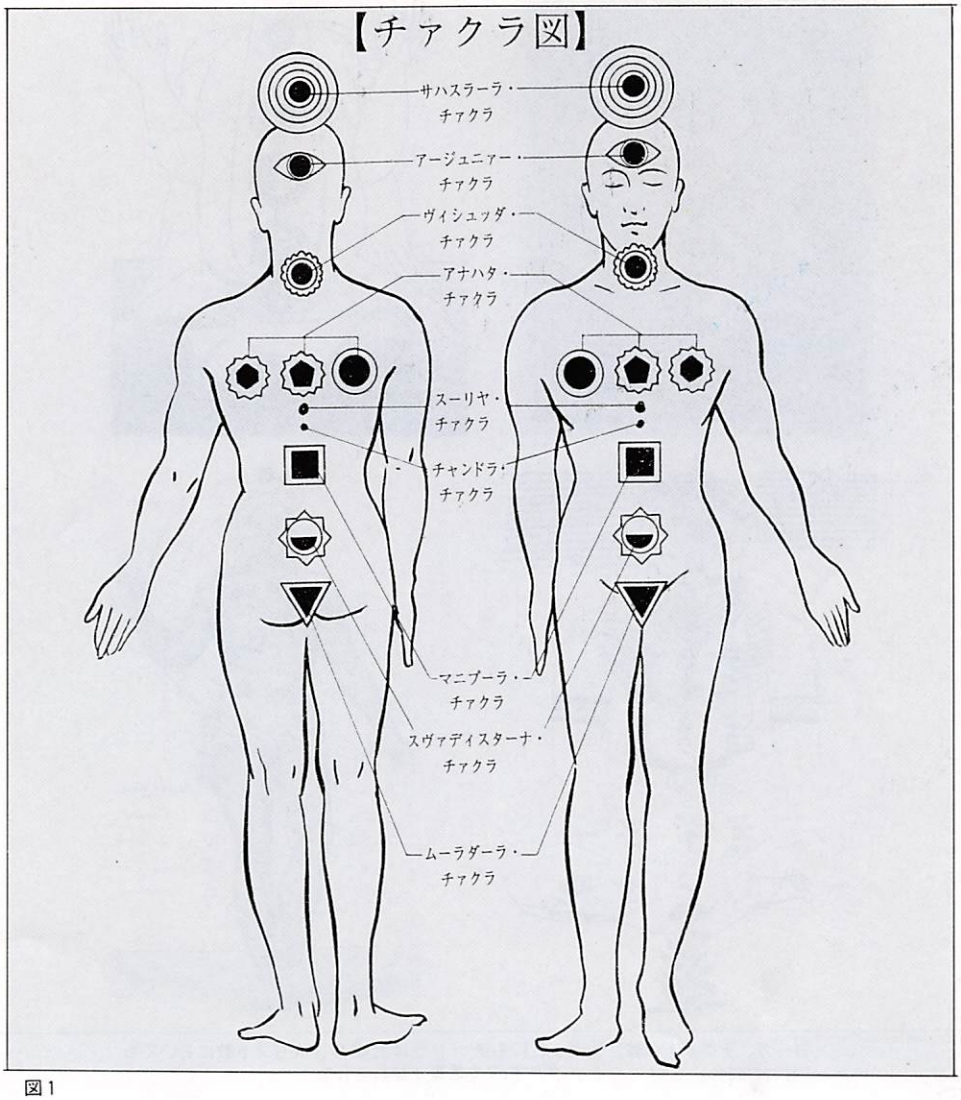



図1

## 古今東西の記録にあるチャクラ

確かに、目に見えない存在であるだけに、その実在をいぶかる人もいよう。そんな方の疑問を解消するのが今回ご紹介する実験であるわけだが、その前にまずは図2を見ていただきたい。

いうまでもなく、皆チャクラの絵である。ここで注目すべきは、それぞれの絵が描かれた場所や時期、描いた人物が全く異なっているということである。医学的、解剖学的、生理学的には存在しないはずのものが、古今東西の絵に共通して描き残されているというこの事実。これは、チャクラが霊視すれば見えるものであり、紛れもなく万人の体に存在していることを表わしている。

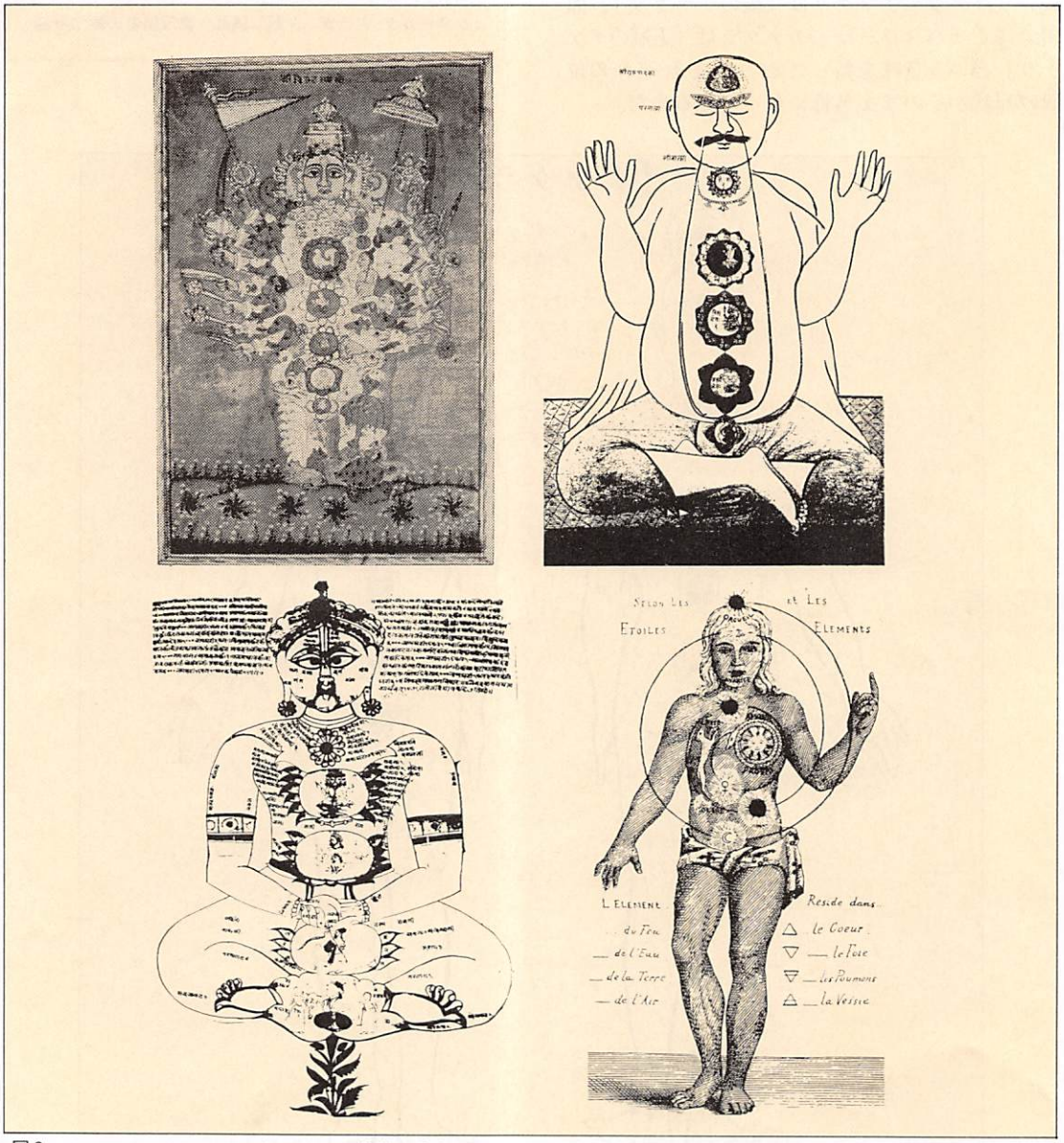



図2

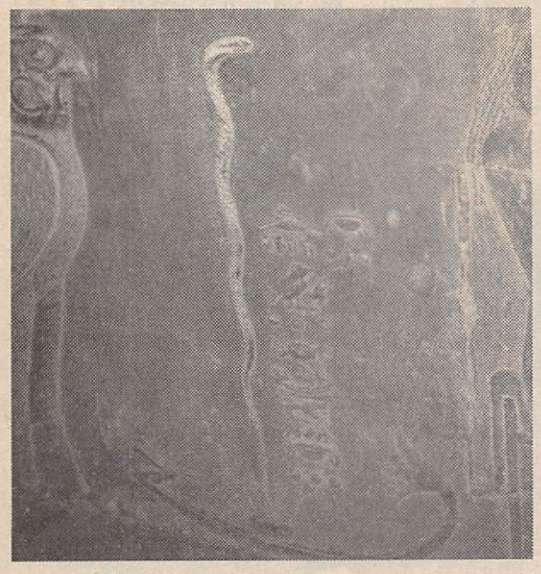
ヨーガ、チベット仏教、仙道などにもチャクラは登場し、キリスト教においても「七つの燭台」といったチャクラを示す言葉が認められる

## チャクラがもたらすミラクルパワー

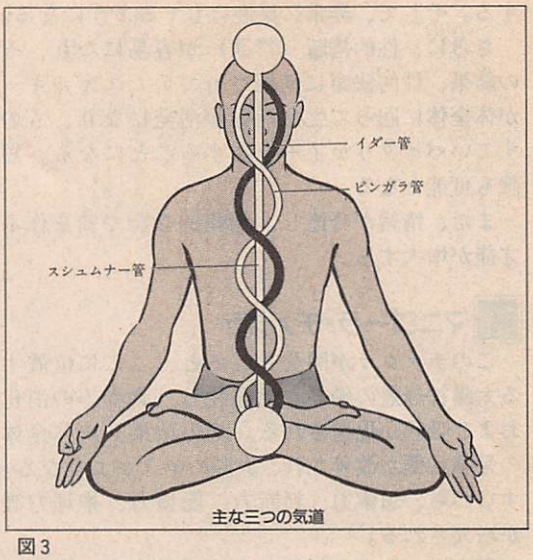
実は、このチャクラ。単に〝霊的エネルギーのセンター〟といっただけではよくわからないだろうが、わたしたちに夢のようなパワーを与えてくれるものなのだ。いや、それだけではなく、それぞれがそのレベルの世界へとつながっており、人間を超えた神の境地、至福の世界へとわたしたちを導いてくれる〝神々への扉〟でもあるのだ!

しかし、普通の人のチャクラは眠った状態であり、活動していない。よって、その神秘的な恩恵に浴するためには、これを開発していかなければならない。では、そのためにはどうすればいいのか?

まず人間の尾てい骨に眠る霊的エネルギー「クンダリニー」を覚醒させることが必要だ。そして、背骨に沿って存在するスシュムナー管(図3参照)を上昇させ、その道筋にあるチャクラを次々と貫通させればよいのだ。そうして開発されたチャクラは、わたしたちに驚くべき力と経験をもたらしてくれる。それゆえに世界中の宗教が最奥儀として秘密にし続けてきたわけだが、具体的にどのようなメリットがあるのかを次に見てみよう。



チャクラ開発には欠かすことのできないクンダリニー。古代エジプトにもクンダリニーの象徴として蛇が描かれた




主な三つの気道

図3

### 1. あらゆる才能、超能力を開発!——神の力で思うがまま

まず第一に、わたしたちは、各チャクラに秘められた才能や超能力を獲得することができるのだ。では、どんな力が身につくのか、チャクラ別に整理してみた。

#### ムーラダーラ・チャクラ

このチャクラが開発されると、体温が上昇して超健康体になり、肉体的疲労や外的条件による病がなくなる。換言すれば、機能的状態を回復させる働きが増大するということだが、その原理は、

a 体温を上昇させることにより、肉体内の抗原抗体反応を促進する

b それ以上の体温上昇により、癌やウイルス性疾患におけるウイルス等を生存させなくする

というものである。

このチャクラの開発によって、一般の医学常識から見れば奇跡のような治験例が頻発している。例えば、重症筋無力症という難病にかかり入退院を繰り返していた55歳の女性が、普通に日常生活を送れるまでに回復したりしている。

#### スヴァディスターナ・チャクラ

このチャクラは性的なチャクラである。開発されると、テストステロンが人を男性的にし筋力を増大させるように、男性ホルモンや女性ホルモンの働きによって、人を男性的、女性的に

する。そして、非常に異性にもてるようになる。

さらに、性的捨断（禁欲）が容易になり、その結果、性的快楽に使用されていたエネルギーが体全体に回って生命活動が活発になり、ものすごいバイタリティーを有することになる。短眠も可能となる。

また、情緒が発達し、情緒的な詩や曲を作る才能が増大する。

### ■マニプーラ・チャクラ

このチャクラが開発されると、ここに位置する太陽神経叢の働きが活発化し、食物等の消化および吸収が促進される。その結果、肉体全体の栄養状態が改善され、大脳の働きがよくなる。すなわち、思索力、判断力、記憶力、推理力等が増大される。

事実、これまで平均的な成績しか取れなかった学生が、いきなりトップクラスに躍り出たという実例がある。

### ●アナハタ・チャクラ

このチャクラが開発されると、大いなる栄誉を受けることができるようになる。また、他人の心を読む力が身につくとともに、多くの人たちの心を動かすことも可能になる。これは、心臓に位置する真我（本当の自己）の働きが、より強く周りに対して影響を与えるようになるからである。

また空中浮揚が起きる。そして、別の身体がより高い世界へ行くようになり、自在に欲望を満足させることができるようになる。

### ●ヴィシュッダ・チャクラ

このチャクラが開発されると、天の声を聞き、神々と会話ができる。また、アストラル世界に響く音楽を聴くことができるので、名作曲家になることも夢ではない。

また、地位や権力を手中にできる。

さらに、未来や過去の真実、宇宙の法則や実相が理解できるようになる。

そうして、身体や環境を構成しているカルマ（業）をコントロールでき、自在に自分自身の状態を変化させることが可能になる。

### ●アージュニァー・チャクラ

このチャクラが開発された人は、一言でいえば

## ●チャクラ開発でこんな才能が、超能力が……——オウム真理教修行者の体験 ①

### ▼勝ち取った健康体

聖者タントラヴァジリ上流師

わたしは高校時代、肉体的にも精神的にも病弱でした。例えば、朝起きられない、体が常にむくんでいる、頭痛がする、関節が痛い、心臓も悪いというように、いたるところが悪く、しかも病院に行っても病名がはっきりしなかったのです。でも入信後、数カ月間頭痛が続いた後、むくみがなくなり、関節の痛みもなくなって、健康体になりました。修行によって肉体的に変化し、それが精神的にも好影響を与えたのです。

### ●実感したエネルギーの強さ

ウッタマー師

クンダリニー・ヨーガの素晴らしさは、やはりそのエネルギーだと思います。成就後間もなく、翻訳のワークが入ったとき1日2時間しか寝なくても訳し続けられて、自分が本当にスーパーマンになったような気がしました。

### ■記憶力アップで学年トップへ

溝口博文

高校時代にオウム真理教に入信するまではパッとしなかった成績でしたが、ヴァヤヴィヤ・クンバカ・プラーナーヤーマやビバリータ・カラニー（知能を向上させる働きがあるヨーガ行法）などを行ない始めてから集中力がつき始め、短い時間でたくさんのことを覚えることができるようになりました。また、長時間の勉強も平気になり、飽きることなく集中できるようになりまし

「神々の要素が強くなった人間」となる。すなわち、この世の願望をすべてかなえることができる。

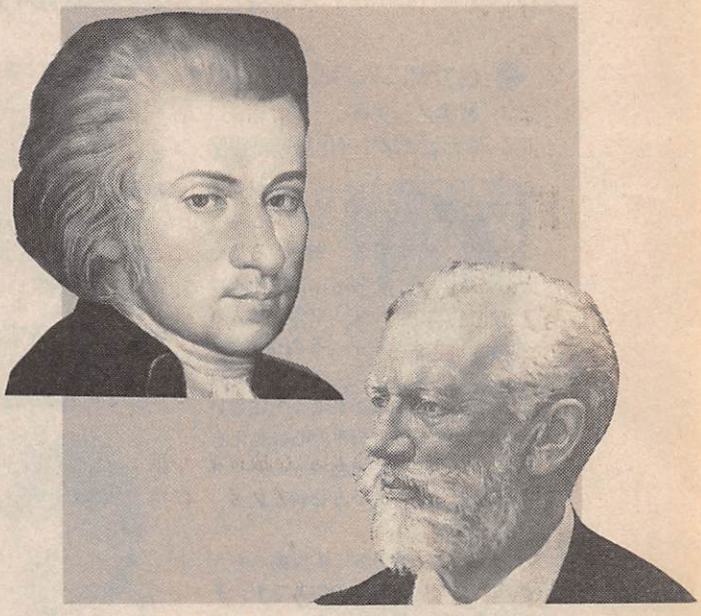
また、「第三の目」を有すること、つまり、対象を透視する力を得ることができる。透視力にも心のステージによって段階があり、粗雑な意識の人は粗雑なものを、微細な意識の人は微細なもの、例えば人の心の働き等を、さらに微細な意識の人は対象となる人の本質や輪廻転生を含めて視覚的にとらえることができる。

さらに、いかなる光の空間へも移動が自在となる。

## サハスラーラ・チャクラ

このチャクラは、わたしたちを肉体から解放するためのセンターといえる。開発されると、肉体とは違う別の身体を使えるようになり、肉体から離脱できるようになる。つまり、解脱できるのであり、言葉を換えれば、人間を超越することになる。

日々の職場や学校で、自分の能力の限界を感じて苦しんでいる方には夢のような話だろう。人間はもともと無限の可能性を内に秘めている。その無限の可能性を現実に切り開いてくれるのが、他ならぬチャクラなのである。



モーツァルト（左）とチャイコフスキー（右）。ヴィシュッダ・チャクラを開発すれば、彼らのような偉大な作曲家になることも夢ではないのだ

た。

また、各教科ごとに分析して問題を予想することができるようになり、そのときから「あれ、おかしいな」と思うほど成績が上がり始め、中学の時は250人中240番ほどのひどい成績だったのですが、だんだん10番、5番、1番と上がっていって、高校3年のときは、最後の期末テストを除いてずっと1番でした。しかも、最後のテストでわたしの代わりに1番になったのは、同じ日にオウム真理教に入信した友人だったのです。このとき、クンダリニーのパワーに驚くとともに、それを覚醒させることのできるオウム真理教の修行はすごいと思ったのでした。

## 相手の心が移ってくる他心通

### 聖者ウルヴェーラ・カッサパ到達光師

集中的な修行をしていたとき、体が周囲に敏感に反応するようになった。それが他心通だということは自分ではわからなかったが、そのころから相手のヴァイブレーションを受けることによって、自分の心身に変化が起きるようになった。例えば、イライラしている人と話しているとき、そのイライラが自分に移ってきた。話をすることによって相手のイライラがほぐれて心が変化すると、自分もそれを感じて心が楽になった。「今、心が変わったでしょ」というと、相手もそれを認めていた。

また足が痛くて苦しんでいる人のそばにいくと、すぐに足が痛くなる。無智に覆われている人であれば、眠くなる。サットヴァ（智性）のエネルギーに包まれている人であれば楽になる。修行が進んでエネルギーが上がっている人なら、自分もエネルギーが上がってしまう。また、五メートル以内に人が近づくと、自分のものとは異質のエネルギーが上がってしまうこともあった。尊師から、これは他心通だと言われた。

# ●チァクラ開発でこんな才能が、超能力が……②
## ――オウム真理教修行者の体験

### ◉色で知る人の心
聖者メッター・
アビヒンサー化身成就正師

出家してクンダリニー・ヨーガを成就して確実なサマディに入れるようになってからは、他心通が本格的に現われるようになりました。つまり、相手の心の変化を、その人の発している色や光の変化でキャッチできるという体験が始まったのです。

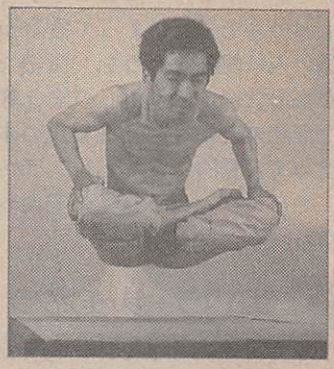
ある日、一般の方に入信案内をさせていただいたときのことです。その男性と話し始めたときは、わたしの話に耳を傾けはするが、口調においてもヴァイブレーションにおいても否定的で、嫌悪の心すら伝わってくるような状態でしたが、真理の話を具体的に続けていくうちにその人の体の一部分からピカッピカッと白光が出始めたのです。(あ、興味を示し出した)と察知したわたしは、この方が、修行の道に入り、本当の幸福・自由・歓喜を得ることができるようにと強くグルを観想し集中し話をしました。すると、相手の口調がだんだん柔らかくなり、突然アナハタ・チァクラに濃いブルーの光が宿ったのです。そして、相手から信仰心が芽生えたことと修行がしたいという心が伝わってきたのです。

そのため、わたしは入信していただこうと申し込み用紙を差し出しました。ところが相手は、全く書こうとせず、「いえ、わたしはやりません。」というばかり。わたしはおかしいなあと思い、その人の心に集中したところ、今までずっと否定的な自分を見せてきたため、「やります」という心の変化をわたしに見せるのが恥ずかしくて書けないというのが伝わってきました。

わたしは、彼に、「わかりました。恥ずかしくて書けないようなので部屋から出ていきます。本当は入信したくてたまらない様子なので……。」と言うと、彼は、「どうしてわかるんだ?」と苦笑い。

### ◉わたしを救った不思議な声
スワミ・ヴァジラカツ

1990年9月初旬の深夜、わたしは名神高速道路上で一人車を走らせていた。単純な走路に、つい眠気に襲われがちになっていた。必死に眠気と闘って運転していたが、ついに意識が飛び、夢の世界に入ってしまった。そのとき、「危ない! 危ない! 危ない!」という複数のせっぱ詰まった男女の声が聞こえた。その声にハッと意識を取り戻したところ、なんとわたしは、ハンドルをやや右に切って、まさにわたしの車を追い越そうとしていた隣の車に体当りしようとしていたのだ。慌てて、ハンドルを左に切り直し、大事には至らずに済んだ。ちょうど、その危ない瞬間に、絶妙のタイミングでわたしを救ってくれた不思議な声。真理の道を歩いているわたしに対する、シヴァ大神の守護を強く感じたのだった。



### ◉空中浮揚――心はまさに無心の状態
スワミ・アシバンダカプッタ

わたしがクンダリニーというエネルギーによって重力から解放されたのは2年ほど前のことでした。この年の1月、オウム真理教恒例の集中修行である行法をしている最中、保息(息を止める)をしていると尾てい骨で何かがモゾモゾと動くのがわかりました。やがて振動は徐々に大きくなり、どこかに行きたがっているかのようにもがいていました。そこで上に引き上げようと眉間のアージュニァー・チァクラに集中してみたところ、体がポーンと浮いてしまったのでした。

驚いたわたしは、確認するように何度も同じことを繰り返していました。すると限界までの保息をしたとき、それははっきりと起こりました。「自力で跳んでいるのでは?」とチェックしてみましたが、上昇の原因はやはり何度やっても下から突き上げてくるエネルギー以外の何物でもありません。

その後修行が進むことによって自由に起こせるようになりました。特

に2年前は身体中にエネルギーが満ちていて、グルを意識するだけで跳べるようになっていました。具体的には、エネルギーを尾てい骨のムーラダーラ・チャクラにため、突き上げてくるクンダリニーをなだめすかしながら圧縮。そしてボルテージが限界に高まったとき、ムーラダーラ・チャクラでクンダリニーを捕まえて精神を集中し、アージュニャー・チャクラに向けて一気に解き放ちます。このときは、すべてクンダリニーのエネルギーに委ね、心はまさに無心の状態。調子が良いと身体の細胞は粒立ち、しびれて、とても軽い感じがします。

## すべてを見通す第三の目

### 聖者ミラレパ供養値魂

今から3年くらい前のことですが、尊師から、「アージュニャー・チャクラ（眉間）の所にエネルギーが渦巻いて第三の目ができている。宇宙人みたいだ。そのうち天眼通がつくだろう。」と言われました。このときの体験をまずお話ししましょう。

その日、わたしは「ポアの集い」のために大阪支部に行きました。そこでわたしは、信徒さんが来る10分か20分くらい前、祭壇を背にして瞑想していたのですが、目をつぶっているのにアージュニャー・チャクラのところに甘露水を入れたガラスのビンが見えてくるのです。それを見ながら、「これは『水の祭典』の準備をしなければいけないなあ」と思ったのですが、そのビンがすごくリアルに見えることが気になって、ずーっと集中していましたら、ふいに、そのビンには、いつもあるはずの甘露水をくむひしゃくがないことに気が付きました。

わたしが以前、大阪支部長だったときには、普段はひしゃくがビンと一緒に置いてあったので、今回に限ってないのはおかしいと思い、今度はビンはビンとして見ながら意識を道場の周りに張り巡らしてみました。

このとき、瞑想していて目はつぶっているのですが、視界が360度あって道場を見回しているのです。こうして探してみたのですが、どうしてもひしゃくを見つけることができません。

瞑想をやめて実際にひしゃくを探してみるとやはり見つからず、そこで、すぐ買いに行って、「水の祭典」にぎりぎりに間に合ったのです。

このころ、これと同じように、自分の持ち物がなくなったときに、瞑想して集中すると、そのものがどこにあるのか見えてくるという経験をよくしました。

## 光がいざなう来世

### 聖者ティンジン・サンポ化身成就師

瞑想によって死後の中間状態のトンネルを通っているときには、様々な光が見えます。その中の一つの光に意識を集中すると、光の中にあるヴィジョンが近づいてきて、気が付いたときには、そのヴィジョンの中に新しい身体をまとって生まれ変わっているのです。

例えば、白い光に飛び込んだときは天界の住人として、青い光に飛び込んだときは人間として転生するとか、同じ色の光でも明るい光とどんよりした光では、転生する世界は同じでも全く違った条件で生を受けるといったような経験を数限りなくしました。その結果、このバルドーの体験が、尊師の説かれている法則そのものだと納得することができたのです。

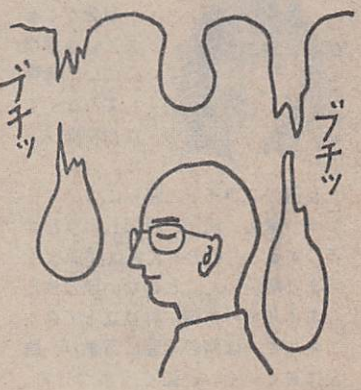
そして自分の来世だけではなく、他の人が発しているバルドーの光の色によって、その人の来世を知ることができるようになりました。

例えば、楽しみだけを追い求めている人は、動物への転生を示す緑色の光を発していますし、貪りが強く、「これは俺が働いて得たものだから、全部俺のものだ」というような考えを持っている人は、低級霊域の色である黄色い光を発しています。また、徳のない人は光が弱く、徳のある人は輝く光を発しています。

## こんな静かな平安な状態は初めて

### 聖者アヌーパマ到達光正師

そのとき、わたしの心は満ち足りて、求めるものはもう何もなかった。周りは自己の内側の光で照らされ、その明るい空間の中にわたしは座っていた。……いっさいの欲求がわいてこない。雑念もわいてこない。完全に無思考の状態——。こんな静かな平安な状態は初めてだ。……この後、煩悩が引きちぎれるように落ちていった。目の前を白い餅のような煩悩の塊がぶちぶちと落ちていく（なぜか、煩悩が塊のように感じられる）。性欲が落ちていく。食欲も落ちていく……。わたしは自分の呼吸が完全に止まっているのを認識した。



## 2. ドロドロした煩悩ともサヨナラ ——崇高な神の意識状態へ

チャクラ開発は、神々のようなスーパーパワーをもたらしてくれるだけではない。わたしたちの心までも、神々のように軽くて透明で崇高なものにチェンジさせてくれるのだ。人間ならだれしも醜い煩悩、けがれた心を持っている。自分でも嫌気がさすことがあるだろう。しかし、チャクラを開発することによって、そうした心のけがれが根本的に取り除かれるのである。では、どのように……。表2を見ていただきたい。

表2

| | |
|---|---|
| ムーラダーラ・チャクラ | 邪悪心が止滅する。邪悪心とは、自己を守る心を背景とした、他を排斥し、攻撃し、傷つけようという心の働きのこと。 |
| スヴァディスターナ・チャクラ | 性欲が止滅する。これで性欲に悶々とすることがなくなる。 |
| マニプーラ・チャクラ | 食欲が止滅する。ごく少量の食物でも生きていけるようになり、食物の種類や量にこだわりがなくなる。 |
| アナハタ・チャクラ | 卑屈さが止滅する。 |
| ヴィシュッダ・チャクラ | 嫉妬心が止滅する。 |
| アージュニャー・チャクラ | 現世の願望が止滅する。そして、そんなものには意味を感じなくなる。 |
| サハスラーラ・チャクラ | 人間を超えて解脱に達する。 |

どうだろうか。このように、どろどろした煩悩が次々と雲散霧消していくのだ。どれだけ心がすっきり晴れ晴れすることだろう。ムーラダーラ・チャクラの開発によってわたしたちの邪悪心が止滅するだけでも、戦争はこの世から姿を消すだろう。ましてや他の煩悩もなくなるとなれば、地上は神々の住む天界と化してしまうに違いない。

いや、そんな大げさな話でなくてもいい。単に「自分の性格がイヤだ。自己変革したい」という方や、「素晴らしい精神状態に至りたいんだ」という方には、チャクラの開発はまさに最適の手段だといえる。

## ●チャクラ開発で意識がチェンジ ——崇高な意識に到達したオウム真理教修行者体験談

### ◈刃物でスパッと切ったように

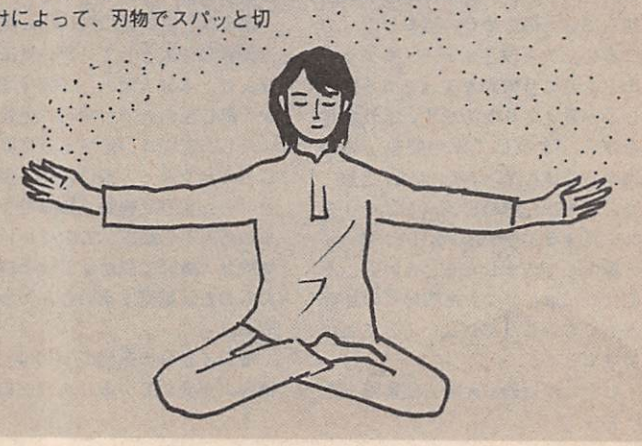
聖者タントラデュバ到達光正師

自分をとらえている感情について考察してみなくてはと瞑想に入った。

自己のプライド、怒りについて一つずつ考え、何とか脱却しようとする。すると、その考えとは関係なく、今まで経験したことのないほど強烈なエネルギーが胸に昇り立ってきた。エネルギーは胸の周囲に留まり、胸全体をぐいぐいと強く締めつける。

その状態がしばらく続き、次に内側に生起していた様々な感情——これは瞑想中は視覚的には、黒い重りのようなものがぶら下がっているように見えた。これが、エネルギーの締め付けによって、刃物でスパッと切り落としたように、一瞬より早く、すべて落ちてしまった。

落ちてしまうと、波だっていた内側がぴたりと治まり、そこには不動の自分があった。



## 3.異次元ミラクルワールドもひとっ飛び 神のようなパワー、神のような意識状態……

チャクラの開発によって得られるメリットはこれだけではない。その上わたしたちは、神のような軽い身体をまとって自由気ままに異次元世界に遊ぶことができるのだ。

図4をご覧いただきたい。この宇宙は三層構造になっている。わたしたちが今住んでいるのが粗雑な物質でできた現象界であり、下から地獄、動物、低級霊域、人間、意識堕落天、戯れ堕落天の6つの世界で成り立っている。さらに現象界の裏には、微細な物質でできたイメージの世界であるアストラル世界、光でできた想念の世界であるコーザル世界が重なっている。これらの世界には、おとぎ話に出てくるような美男美女の集うロマンチックな世界、百鬼夜行のスリリングな世界、天人の舞うメルヘンチックな世界等、多種多様な世界が万華鏡のように広がっている。

そして、だ。チャクラを開発すると、こうした幻想的な異次元世界を自由自在に探訪できるようになるのである。わたしたちは肉体以外に

### ◈煩悩が瞬間的に滅した 聖者マイトレーヤ最上善逝

性欲について思索を始めた。その瞬間だった。性欲がズバッと落ちた。

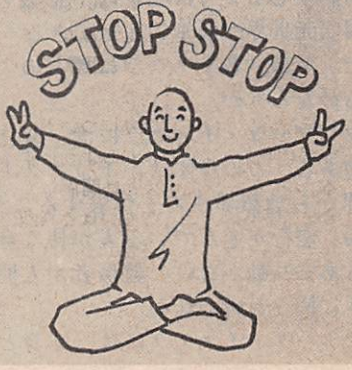
続けてプライドについて瞑想した。すると、思索を始めてすぐに、プライドに対応するチャクラのあたりに何かがチカッと光って消滅した。そして、強いエネルギーが昇り、目の前が光で満たされていった。「煩悩が瞬間的に滅するとは、このことか!」

### ◈バラバラと煩悩が落ちていった 聖者プンナ・マンターニプッタ供養値魂

マハー・ムドラーの修行における瞑想中、煩悩が次から次へと浮いてきた。それは、まさに煩悩という「もの」であった。「もの」としか言いようがない。「何か形のある物のようなもの」と表現した方が正確かもしれない。それが、浮いた瞬間、綜制を加えずとも勝手にバラバラになって落ちていった。一番引っかかっていたものに対してはもちろん綜制を加えたが、これもズバーッと面白いように落ちていった。

執着が、嫌悪が、無智が、そしてプライドが、権力欲が、慢が、うたかたの泡のように、浮いては消えていった。

そして、いつしか、わたしの心は静止した。目をつぶっても周りは輝いていた。外的情報にいっさい心が乱されず、静止したままである。オール　イズ　ストップ。ストップ。その状態がキープされたのだった。



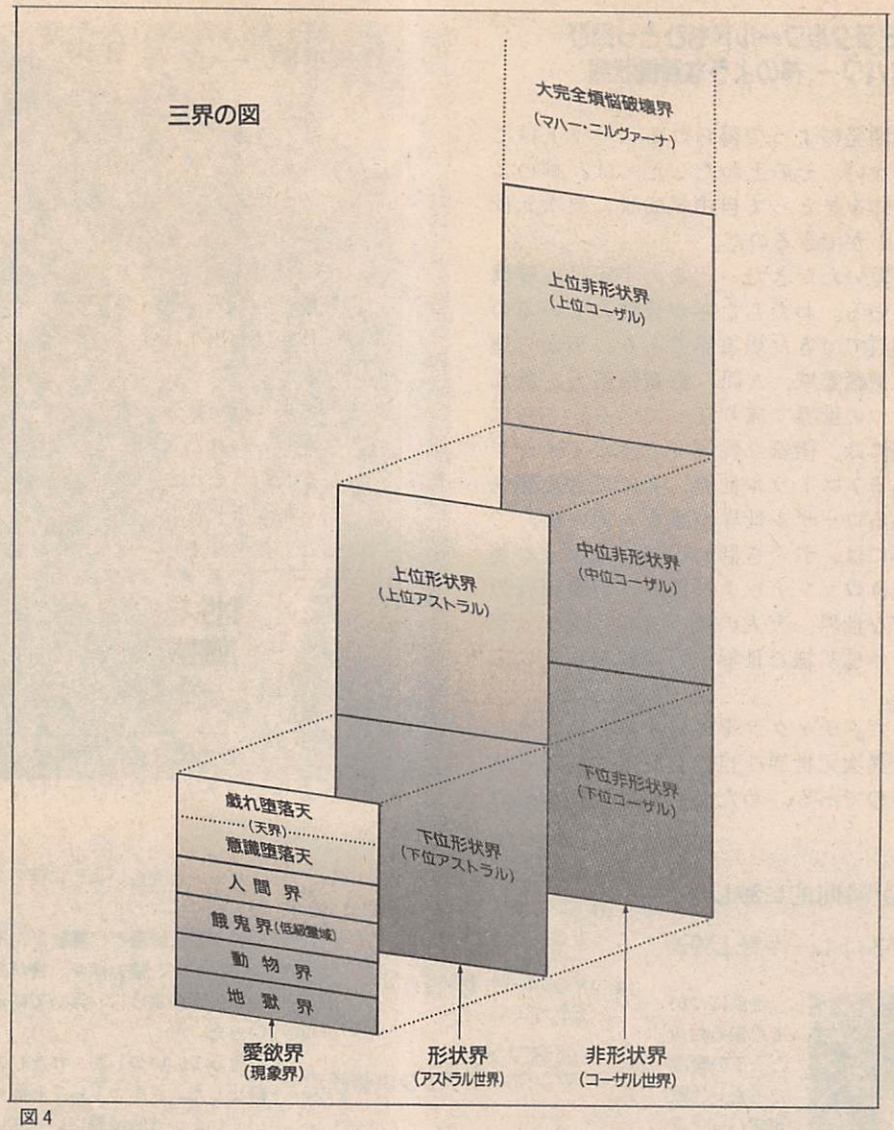



図4

もいくつかの霊的身体を各チャクラに秘めている。チャクラの活性化によってそれらの霊的身体を動かせるようになれば、意識をそこに移して異次元世界へ飛ぶことができる——というわけだ。では、各チャクラにはどのような身体があるのだろうか。

マニプーラ・チャクラには、変化身という身体がある。この身体は、下位アストラル世界の天界から地獄界までを体験することができる。なお、修行が進んでいる人が使う身体なので感情もあまり動かない。救済者が人間界に降りるときに使うといわれる。

アナハタ・チャクラには、法身という身体がある。これは中位コーザル世界と下位コーザル世界で活動する身体である。

ヴィシュッダ・チャクラには、報身。これは、上位アストラル世界で活動する。

アージュニャー・チャクラにあるのが本性身である。これは、上位コーザル世界で動く身体である。

最後に、サハスラーラ・チャクラ。これは金剛身、すなわち、純粋真我の状態であり、真実の自己であり、最終的な形態である。

チャクラの活性化によって、こうして自由自在にあらゆる世界に飛ぶことができるのである。

# ●わたしは異次元へ飛んだ ——空間を超越したオウム真理教修行者体験談 ①

## ◈もう一人の自分

### 聖者アーナンダ化身成就師

1991年の11月のことです。いつものとおり夜遅く究竟の瞑想を行なっていると、わたしの変化身は頭頂から抜け出して上へ上へと上昇し始めました。初めは真っ暗な空間を昇っていきましたが、しばらくすると雲に突き当りました。この雲を突き抜けると白い空間に変わり、鳥居、広い大宮殿が順番に現われ、さらにこれらを突き抜けると大きな山が登場。この山の中腹にとどまり、神々を供養したりとマハー・ムドラーに向けての修行を行なっていました。後で尊師に確認したところ、鳥居は天界の入り口で、この山はメール山ということでした。

また、あるときはこんな体験もしました。やはり究竟の瞑想時のことですが、おなかのマニプーラ・チャクラから抜け出して暗い空間を上昇。渦に巻かれながらいったん上昇して上に突き当たって下がるという面白い動き方で、下がってくるときに無数の色の帯を見ました。その一つ一つの帯に世界があって、まさに自由にその世界に出入りできる状態でした。ちなみに、似たような体験で、暗い空間に出たときに筒が登場して、その中をのぞくと世界が広がっているという体験もありました。

## ◈変化身で海外旅行

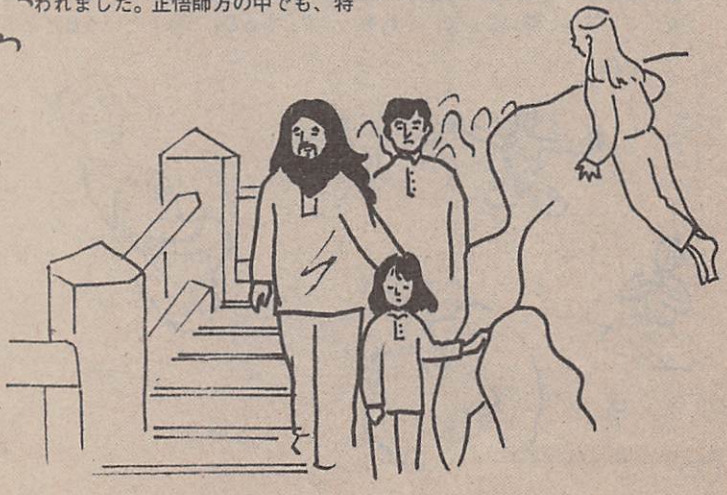
### 聖者メーカラダーイカー化身成就師

クンダリニー・ヨーガの成就のための極厳修行中、わたしは究竟の瞑想を行なうことによって肉体から変化身を抜け出させることができるようになりました。そして、ある程度変化身をコントロールすることができるようになったわたしは、究竟の瞑想の時間が楽しみで（1時間の究竟の瞑想が1日3回あった）、いろんな所に変化身を飛ばしていました。

ちょうど尊師がインドに行っていらっしゃったとき、わたしは、まさか変化身がインドまで行くことはできないだろうと思いつつ、尊師を強く意識して変化身を飛ばしてみました。すると、尊師と、緑色のクルタを着た正大師、ピンク色のクルタを着た正悟師ご一行が山道を歩いていらっしゃり、わたしはそれを崖の上から見ているというヴィジョンが現われました。正悟師方の中でも、特にマイトレーヤ正悟師ははっきりとわかりました。

そのとき、先入観によって、先程のヴィジョンは自分の思念によって作り出したイメージにすぎないと判断をしてしまったのです。その先入観とは、大阪に住んでいる母親の所や京都までは飛んだことはあるが、まさかインドまで飛べるはずがないということ。マイトレーヤ正悟師が行っていらっしゃるとは思っていなかったこと。そして、本当に変化身で見ているなら、尊師と一緒にインドに行っている師の方やサマナが連なっていないわけはないということでした。

数日後、尊師ご一行が帰ってこられ、インドでの模様をビデオで見せてくださいました。すると、なんと自分がヴィジョンで見たのと全く同じ場面が出てきたのです。そして、わたしが師の方やサマナを見なかったわけもわかりました。そのとき、尊師・正大師・正悟師方と、師・サマナは10mくらい離れて行動していたのです。マイトレーヤ正悟師もいらっしゃったのはいうまでもありません。やはり、わたしは変化身でインドまで飛んでいたのです。



# ●わたしは異次元へ飛んだ
## ――空間を超越したオウム真理教修行者体験談 ②

### ◈不思議の国へ

聖者マイトレーヤ最上善逝

アストラル世界というのは、平たくいえば、異次元の世界のことですが、それは微細な物質でできた広大な世界です。そして、だれでも正しい修行によって、アストラル・ボディーというもう一つの身体をつくれば、そこへ行くことができるようになります。アストラル世界に入っても、あなたには、視覚・聴覚等の五感が普通の世界と同じように備わっています。そして、その世界の一部ではあなたはまるでスーパーマンのような力を持っています。

わたしは、約4年前、オウム真理教で集中的な修行を始めましたが、始めてから1カ月ほどすると、たくさんのアストラル世界を体験しました。

ある日の修行で行ったアストラル世界では、人々は皆、超能力者でした。野球のボールくらいのような球が、フワフワと浮いていて、それを念力で自由自在に動かして遊んでいます。

どこかに行きたいと思うと、パッと行きたい場所に体がテレポーテーションし、その度、周りの景色が一遍に変わっていきます。

そして、普通の世界に戻ろうとすると、すぐに戻ることができ、そこには修行しているわたしがいます。それから、アストラル世界に戻りたいと思うと、元の世界がパッと現われ、普通の世界とアストラル世界を自由自在に行き来できるのです。

テレポーテーションだけでなく、ものすごいスピードで、地上から数mのところを滑走したり、山々のはるか上を飛んでいたり、硬いはずの壁を自由に通り抜けたり、友達に自分の飛んでいるところを見せて回ったり……。まさに神々になったかのような気分でした。

アストラル世界に行くときは、アストラル・ボディーを使います。では、どのようにアストラル・ボディーが発進するかというと、これが少しばかりスリリングなものなのです。

調気法という修行によって、エネルギーを強めた後、シャヴァアーサナという体位をとって休息しています。すると、ビーンという音とともに、おなかの辺りにあるマニプーラ・チャクラがしびれてきます。そして、手足の感覚がなくなり、まるで意識だけが上方に飛ばされるように上昇し始めます。そして、前を見ると黒いトンネルがあり、少しの間、それを上昇していると、今度は下に下がり、そうしている間に前方に光が見えてきます。そして、その光が次第に大きくなり、ついに一つの世界の入り口が見え、そこに入るのです。

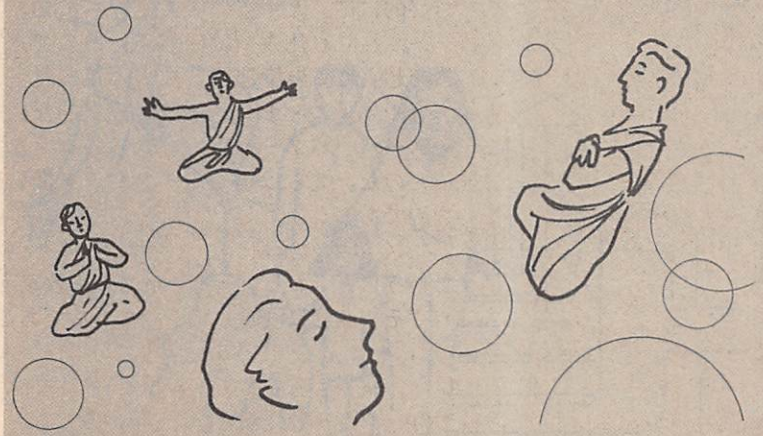
こうして、先程紹介した神々のような世界に入るわけですが、場合によっては映画や遊園地同様、大変怖い体験をすることもできます。

例えば、仏典の中にある地獄と同じように、暗く、人々の死体や首が転がっている世界に行ったこともありました。最も恐ろしかったことは、その世界では体が鉄のように重たいのか身動きが取れない上、上と下から挟まれてつぶされそうになったことでした。

SFのような宇宙戦争の世界もありました。とてつもなく大きい宇宙船といえばいいのか、そのような物体が、宇宙空間の四方八方に漂い、その間を小型の宇宙船が飛び回っていました。わたしはその空間にゆっくりと漂いながら、不思議と冷静な気持ちでその光景に見入っていました。

アストラル・ボディーというと問題があるかもしれませんが、わたしの肉体とは別のものが、肉体から離れていく所は、なにも別世界だけではありません。肉体のある部屋の中にも行くことがあります。

そのときは、体からもう一つの体が離れるような感じですが、そのまま空中に漂いながら、自分自身の肉体を見たり、見慣れた部屋の中を見たりするので、たいへん不思議な感覚を経験します。



### ◈変化身で警備をする
### 聖者ヴァジラハーサ化身成就師

12月の中旬、標高1000m近くの富士山総本部道場は、都会と比べると大変寒く、特にその日は雪が降ってもおかしくないくらいの寒い日でした（実際に、それまで何度か雪が降っていました）。わたしはその寒さに耐えながら警備をしていましたが、あまりに肉体的ダメージが大きいので、ふと、このように思案しました。「肉体ではなく、変化身で警備をしよう」と。

わたしは頭頂に意識を集中し、そして意識を変化身に移行させました。その変化身はこの肉体と同じように五感を持ち、この肉体と同じように、もしくはそれ以上の行動ができました。わたしは、人の気配や物音を感じたら、即、意識を肉体に戻し、その後、意識を変化身に移すということを繰り返していました。

しばらく変化身を使って警備をしていたとき、変化身の意識が何か妙な気配を察知したので、わたしは意識を肉体に戻しました。すると、その数分後、不審な車が道場に近づいてきました。そして、道場の近くで止まり、道場の様子をうかがったり、写真を撮ろうとしたりしていました。わたしは、これは危険だと思い、その車に駆け寄りました。すると、その車は慌てたように去っていきました。もし、このときわたしの変化身を使って警備していなかったら未然に防げなかったかもしれません。

## スーパーパワーの秘密、チャクラ

以上に見てきたように、チャクラの開発によって、神のような超能力、神のような意識状態、神のような自由自在さを得ることができる。そして最終的には、大宇宙の実相をすべて知り尽くす——。とても凡人では味わうことのできない、人を超えたこの境地。仏教の開祖・覚者サキャ神賢やイエス・キリスト等の歴史的な超人たちのスーパーパワーの秘密も、このチャクラにあったのだ。彼らは等しくチャクラを開発していたのである！

まさしく神秘の光輪チャクラは、〝神々への扉〟というにふさわしい。古今東西の宗教家が、人知れずその開発に没頭してきたゆえんである。

では、いよいよ次のＰＡＲＴ２では、このチャクラの存在を捉えた歴史的実験のレポートをお届けすることにしよう。

PART2

# ついに明るみになった神秘の世界

## 世紀の実験、チァクラの存在が証明された！

### チァクラは本当に存在するのか？

「なるほど、チァクラを開発すれば、人もうらやむような素晴らしい能力が得られるというわけだ。ぜひチァクラを開発して超人になりたい！」

ＰＡＲＴ１でチァクラの秘密を知ったあなたは、きっとこう思ったことだろう。しかしその一方では、心のどこかでこんな疑問も浮かんだはずだ。

「これまで医学的にも科学的にもチァクラの存在は証明されていないではないか。本当にチァクラは存在するのだろうか。」

と。

確かにそう思うのはもっともだ。しかし、チァクラが霊的なものであるとするならば、それを医学的に、あるいは科学的に証明するのは非常に難しいのは当然ではないだろうか。その点についてはあなたも同感だろう。

しかし、だからといってこの問題をなおざりにするわけにはいかない。なぜなら、「科学の究極地点と真理とは矛盾しない」というのがわたしたち従来の見解なのだから。できるだけ多くの人が納得できるような形で、科学的かつ論理的に真理を解明していく――これが真理を探究する者の立場であるとわたしたちは考えているのである。そのいい例として、サマディに関する実験が挙げられよう。

サマディ――それは究極の瞑想状態といわれ、経典ではその状態に至ると呼吸停止を伴うとされている。これに対してわたしたちは、実際にサマディに入ることができると認められたステージの高い修行者を被験者とし、精密機器を用いて酸素消費量を測る実験を行ない、経典の記述の正しさを証明しているのである（コラム１参照）。

さて、話をチァクラに戻そう。本当にチァクラは存在するのか――わたしたちはそれを確かめるために科学的な実験を行なった。つまり、物理的な手法でチァクラの存在を検証しようと試みたのである。

以下は、実験に立ち会った記者Ｔのレポートである。

## ●コラム1　サマディ――解脱者の証明

オウム真理教では、解脱の証明として、海外でもほとんど例を見ないサマディの実験を行ない、経典の世界を科学的に検証している。

サマディとは、「究極の瞑想状態」のことで、このとき意識は高い世界を経験し、肉体的には心臓や呼吸など、生理的機能が停止すると経典ではうたわれている。そして、解脱に到達した者は必ずこのサマディに入ることができるのである。

1988年5月。オウム真理教富士山総本部道場敷地内において、水中エアータイト・サマディが行なわれた。これは、二重の水槽を用意して、その間に水を入れて内側の水槽を密閉した状態にし、その中で行なわれたものである。このとき麻原尊師の一番弟子である聖者マハー・ケイマ最上善逝によって、12時間にも及ぶ連続酸素消費ゼロという驚異の長時間サマディが成し遂げられたのである。

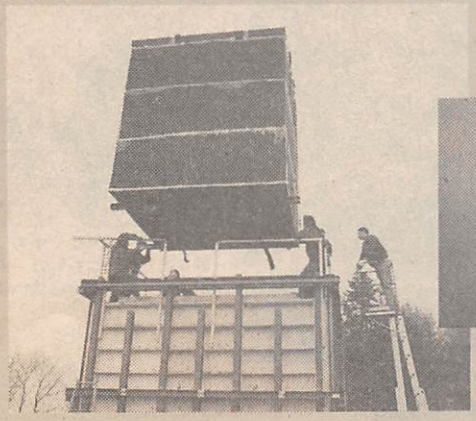
また、91年11月には、聖者マイトレーヤ供養値魂によって行なわれた5日間にも及ぶアンダーグラウンド・サマディが見事に成功した。これは土中に埋められたチェンバー（部屋）の中でサマディに入るというものである。常人では確実に3日で死に至るという完全に密閉された空間だったが、約120時間を過ぎた段階で、常人の1日の酸素しか消費していないという驚異的な数字が記録された。もちろんチェンバーに入っているときは、断食断水状態であることはいうまでもない。

さらに付け加えるならば、オウム真理教では現在でもクンダリニー・ヨーガの成就の判定として、この5日間に及ぶアンダーグラウンド・サマディが常時行なわれているのである。

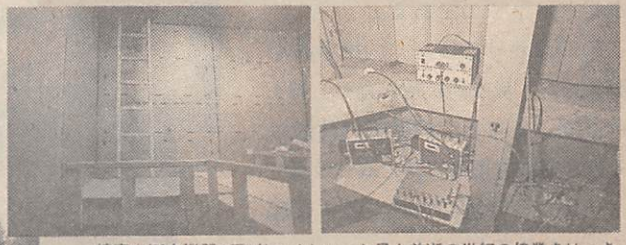
まやかしのような宗教が多い中、このような検証主義こそ、これからの宗教に求められるものであろう。

サマディ中の聖者マハー・ケイマ最上善逝。12時間にも及ぶ呼吸停止が、解脱者の驚異的な力を証明した

5日間にわたって行なわれた過酷なアンダーグラウンド・サマディに見事成功し、仏典の世界を証明した聖者マイトレーヤ最上善逝



完全に外気から遮断されたチェンバー。ごまかしのきなかい厳しい挑戦だったが、見事にサマディは成功した。



精密な測定機器が聖者マイトレーヤ最上善逝の世紀の偉業をはっきりと記録した。真理を科学的に探究するのは、オウム真理教の使命の一つなのだ

# わたしは見た！ 科学がチァクラをとらえた瞬間

理想社会編集部　記者T・M

## ◆温度変化による実験

まず初めに行なわれた実験は、チァクラの存在を温度変化によってとらえるというものである。

修行がある程度進んでくると、精神集中によって霊的なエネルギーを動かすことができるといわれている。チァクラはその霊的なエネルギーのセンターであるから、チァクラに精神集中することによって何らかの変化が生じるはずである——と、まずはそう考えたわけである。それを温度変化という形で測定しようというのだ。

被験者の内訳は、クンダリニー・ヨーガの成就者が10名、ラージャ・ヨーガの成就者が７名、そして非成就者が６名。いずれもオウム真理教の出家修行者である。特に成就者といわれる人たちは、チァクラに関係するような体験を数多く持っているのが特徴的だ。

例えば、被験者の一人であるスワミ・タントラアバヤーの場合は、眉間に集中することによって、見知らぬ家の台所や天井のヴィジョンが実際に目で見るようにはっきりと見えたという経験を持っている。もちろん目をつぶった状態であることはいうまでもない。これなどもチァクラが開発されていると考えられる体験だ。いわゆる遠隔透視というやつである。

この例ばかりではなく、相手の心を読んだり、異次元に飛んだり、神々の声を聞いたりと、成就者の体験は驚くほど豊富である。特にムーラダーラ・チァクラが開発されたときに起きるといわれるダルドリー・シッディなどは、成就者のほとんどが体験しているほどだ。

その一人一人の体験をいちいち挙げると大変な数に上る。これらのことを踏まえると、少なくとも成就者といわれる人たちは確実にチァクラが開いていると考えていいだろう。そして、もしこのチァクラが開いている者とそうでない者との間に実験結果における著しい差が生じるならば、それはチァクラの存在を証明する一つの裏づけといえるのではないだろうか。

では、具体的に実験内容を見てみよう。

まず、実験に使用した装置は、白金側温抵抗体と呼ばれるセンサーである。これを被験者の眉間の中央と中央から３cm離したところに張りつけた。そして、眉間に集中した状態と、集中しない状態の、二つの状態を測定した。若干の差はあるが、基本的に最初の５分間は集中をせず、次の10分間は眉間に集中する。そして、最後の５分間は再び集中しないという条件で行なった。

この実験で特にアージュニァー・チァクラのある眉間を対象としたのは、眉間には筋肉が少ないので、筋肉の動きによる発熱の影響を受ける可能性が低いという理由からである。また、温度計の分解能は0.1℃で、正確を期すために実験は温度が安定してから行なった。

大きな期待が渦巻く中も、実験は慎重に行なわれた。温度計のデジタル表示に熱い視線が集まる

## ◆チャクラが証明された

初めに実験が行なわれたのは、1992年12月の暮れも押し迫った寒い日だった。当然のことだが、被験者に対して外的な影響がないようにという配慮から、できるだけ静かな空間が選ばれた。

準備が整うと、早速実験が始まった。被験者の眉間には例の白金測温抵抗体が取りつけられている。心を落ち着けるために呼吸を整えているようだ。温度変化は、傍らにある温度計測器に随時デジタル表示されるしかけになっている。

さて、どのような結果が出るのだろうか。わたしたちは息を殺して実験のなりゆきを見守った。果たしてチャクラの存在を示すような結果が出るだろうか。少なからず頭の中を不安がよぎる。

しかし、そんな心配が無用だと気づくまでに、それほど時間はかからなかった。間もなくわたしたちは十分に手応えのある結果を得ることになったのだ。

グラフ１を見てほしい。これは聖者キレーサ・パハーナ・アーナンダ到達光正師の温度変化のグラフである。

それはちょうど正師が眉間に精神集中し始めて、少し経ったころだった。温度計の数値がみるみる下がり始めたのだ。目をつぶって精神集中している正師。そのときわたしたちは、これまで聖者でしか見ることのできなかった神秘の世界が今まさに目の前でその厚いベールをはごうとしているのを感じ、少なからず緊張した。

正師が眉間にじっと精神集中しているのが、はた目にもよくわかった。わたしたちは半ば興奮気味に、計器に表示されるデジタル数字と正師の顔を交互に見つめた。数値はまだ下がっていく。

結局、正師が精神集中しているわずか10分の間に、温度計の数値は見事に変化を現わしたのである。その変化が顕著にグラフに現われているのがわかるだろう。なんと３℃も温度が低下しているのだ。精神集中によってアージュニァー・チャクラが実際に影響を受け、こんなにもはっきりとした温度変化をもたらしたのである。

「ついにチャクラが姿を現わした！」

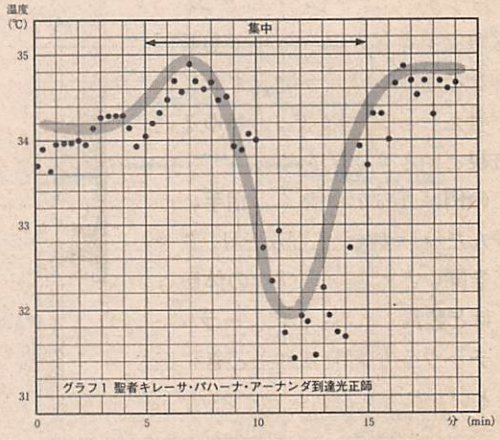
何ともいえない喜びが込み上げてきた。

だが、ここで喜んではいられない。実験はまだ始まったばかりなのだ。たった一つのデータに満足していてはいけない。わたしたちは、その後も気を引き締めて実験の成り行きを見守ることにした。

さて、次に聖者イシダーシー到達光師の実験結果を見てもらいたい（グラフ２）。師の場合も精神集中をしたときに著しい温度変化が見られた。聖者キレーサ・パハーナ・アーナンダ到達光正師と同様に３℃も温度が低下しているのがわかる。

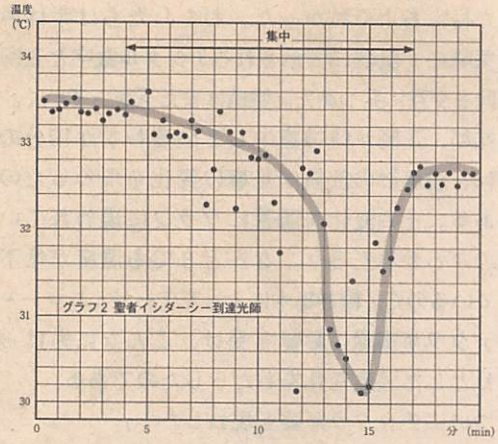
グラフ３はスワミ・タントラアバヤーの実験結果である。眉間の真上と左３cmの部分を比較

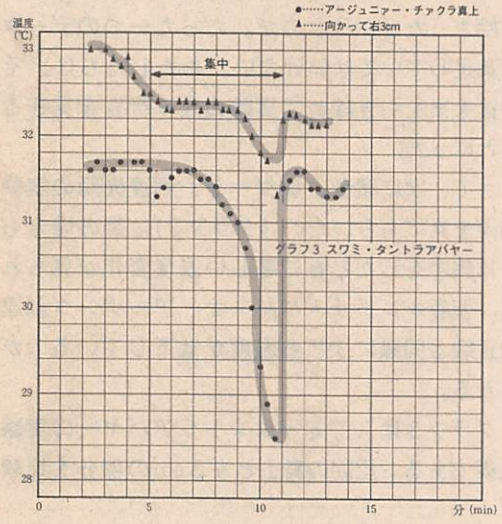
温度が急激に変化した決定的瞬間。ついにチャクラが反応したのだ

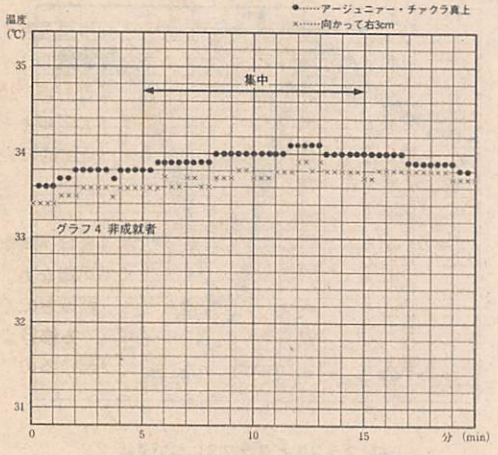



グラフ１ 聖者キレーサ・パハーナ・アーナンダ到達光正師

（注）グラフ１とグラフ２については、
アージュニァー・チャクラの真上のデータのみです




すると、顕著な温度変化の差が見られるだろう。

では、非成就者の場合はどうだろうか（グラフ4）。若干アージュニァー・チァクラの部位、つまり眉間の方が左3cmの部位よりも温度が高いが、精神集中時でもはっきりとした温度変化が見られないのがわかるだろう。

以上が、実験結果の典型的なサンプルである。全体的な結論としては、クンダリニー・ヨーガの成就者の場合、眉間の温度が変化する例が多く見られた。そして眉間に精神集中したとき、ステージの高い人ほど温度変化が見られるという結論を得ることができたのである。

## ◆修行の違いを示す温度の上昇と低下

なお、ここで付け加えておかなければならないのは、眉間に集中したときに温度が低下した例ばかりではなく、聖者ソーマー化身成就師のように温度が上昇した例もあるということである（グラフ5）。具体的には、被験者23人のうち6人が最大で1℃程度の温度上昇が見られたのである。この温度の上昇と低下については、麻原尊師から次のようなコメントをいただいている。「真理の実践にはいくつかの方法があるわけだが、キレーサ・パハーナ・アーナンダ到達光正師の例にあるようなパターンは、もともとテーラヴァーダの実践、つまり上座部的な修行を行なっている場合に起きる典型的な例だと思います。これは、もともと煩悩を滅尽することに主眼を置いた修行を行なっているわけですから、当然、精神集中そのものがその部分の温度低下をなすと。温度低下をなすことによって煩悩を弱めるという、煩悩を止めてしまうというような働きがこのデータとしてうかがわれると見ていいでしょう。

しかし、逆にタントラヤーナ、あるいはヴァジラヤーナの瞑想を行なう場合、この肉体そのものを徐々に地元素から水元素、水元素から火元素という形の、要するに分解、肉体を完全に分解するプロセスの瞑想をとります。これは中国のタオイズムなんかもそのパターンに属する

と。この場合にはどんどんどんどん温度を上昇させていって肉体を完全に分解することに主眼が置かれますから、この場合は精神集中した場合、眉間に逆に熱が発生すると見ていいと思います。

だから、例えば煩悩を受けて、その煩悩に対して全く影響を受けない心の状態の修行を行なっている成就者は温度が低下し、逆に受けた煩悩を焼き尽くす修行を行なう場合には温度が上昇すると見ていいでしょう。」

## ◆実験中の神秘体験

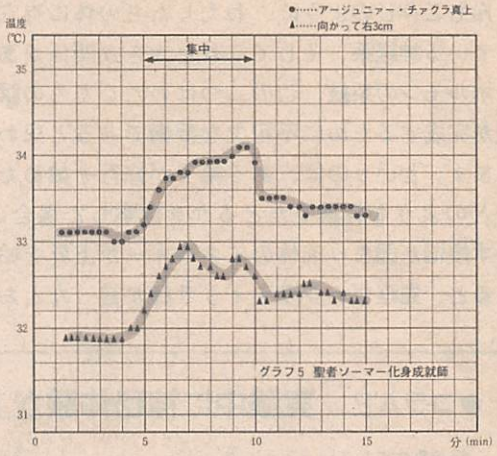
ところで、一般的に考えるならば、精神集中をしただけで温度変化が起きるというのはなかなか信じ難いものだが、実は自律訓練法によって体温に変化が生じたという例が医学的なデータとして存在するという。

自律訓練法というのは、「心身をくつろがせることによって、そのバランスを整えるとともに、健康を回復させる治療法」のことである。言い方を換えれば、心身のバランスの回復を図る瞑想的な治療法ということもできる。その訓練法の中の一つに、例えば「おなかが温かい」という言葉を繰り返すというものがあるが、そのときに実際におなかの温度が上がるのが認められる場合もあるという。

もちろん、わたしたちが行なった実験は自律訓練法によるものではない。もっとも、少なくとも自律訓練法で眉間に熱を生じさせるようにするには、かなりの訓練期間を要すると思われる。また、何よりも決定的な違いは、チャクラに集中することによって温度変化が起こっている場合は、様々な神秘体験が生じてくるということだろう。

事実、前述の聖者キレーサ・パハーナ・アーナンダ到達光正師や聖者イシダーシー到達光師についても、実験中にそれぞれ光を見る体験をしているし、スワミ・タントラアバヤーの場合も神秘体験をしていることが明らかになっている（コラム２参照）。

ともかく、わたしたちが初めてチャクラの存




在にアプローチしたこの温度変化による実験は、ひとまず大きな成功を収めることができた。チャクラは確実に存在する。もっとも、明確な結論を出すにはより多くの実験データが必要となるだろうが、少なくとも今まで証明されたことのないチャクラというものが、その姿の一部を現わしたことは特筆に値するといえるだろう。

ところで、わたしたちはさらにチャクラの存在にアプローチするために、次なる実験にとりかかった。今度は電気的な変化によってチャクラの存在を検証しようと考えたのである。

## ◆しびれ――電気的な現象

「修行が進んでいる修行者は、チャクラに精神集中することでその部位がしびれるといった経験をすることがあります。この感覚は当然神経を介したものですので、それは何らかの電気的な現象が起こっていると推定できると思います。

ですから、チャクラの存在を電気的な変化によって検証するというのは面白いと思いますし、納得できる実験方法だと思われます。」

オウム真理教の出家修行者であり、医師でもある聖者ヴァジラティッサ到達光師はこのように述べる。確かに修行が進むと体にしびれを感じることが

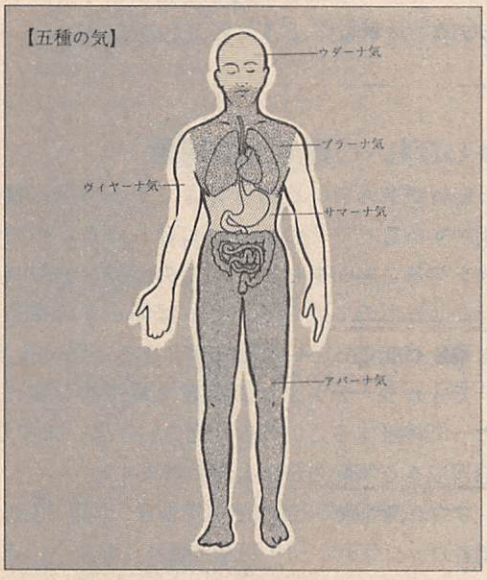
あるといわれるのだが、これについては麻原尊師の興味深いコメントがあるので、聞いてほしい。「皆さんもご存じのように、わたしたちの体に存在している神経系、そしてこれと大きな関係があるホルモンの系統、この二つはわたしたちの瞑想が完成するために不可欠な要素であると思われます。というのは、ある弟子が修行を始めた後どのような経過をたどるかを観察した場合、必ず煩悩が弱まり肉体のエネルギーが上昇を始めると、先程ヴァジラティッサ師が言ったとおり体がしびれます。で、この体のしびれは必ず下部からしびれ、最終的には頭全体がしびれるようになります。そしてそこで固定が起き、次に別の身体が抜け出すわけです。

ところで、このしびれるという現象の最後の段階で、このサハスラーラ・チャクラの部位から甘露と呼ばれる液体が体の中に滴り落ちるようになります。この甘露は、現代の生理学でもエンドルフィンと呼ばれているわけですが、おそらくこの物質と同じものでないかと思われま

## ●コラム2　実験中に神秘体験が！

精神集中をしているときにアージュニャー・チャクラの部位に光を見たという報告が数件上がっている。さらに、体が上に引っ張られてはね出しそうになる、つまりダルドリー・シッディが起きかかった者も二名ほどいた。

これらの現象について、麻原尊師は次のようにおっしゃっている。「まずこのアージュニャー・チャクラの部分には第三の目が存在しています。この第三の目というのは、この世の中だけではなく異次元の空間、あるいは高い次元の空間を見る力が宿っているといわれています。それからもう一つは、このポイントを支配しているエネルギー、これはウダーナ気と呼ばれるわけですが、このウダーナ気はわたしたちの身体を軽くする働きがあります。したがって、精神集中によって光を見たり、あるいは体が軽くなる前兆が起きるということは、当然だと思われます。」




ところで、グラフで登場した三名も今の例に漏れず神秘体験をしている。それぞれ語ってもらった。

●聖者キレーサ・パハーナ・アーナンダ
到達光正師

「ちょうど眉間に集中し始めたときですね、白い光が目の前に現われたのは。それは集中している間ずっと見えていました。」

●聖者イシダーシー到達光師

「わたしの場合は、アージュニャー・チャクラの部位に意識を集中して間もなく、白い光と紫色の綺麗な光が見えてきました。」

●スワミ・タントラアバヤー

「瞑想するときなんかはだいたいいつもそうなんですけど、その実験の最中も頭頂が冷たくなるという経験をしました。これはツァンダリー(「不死の甘露」といわれるものが落ちてくる現象)が起きる前兆だと思います。」

す。これによりわたしたちの体は静まり、そして完全に固定されるのです。このエンドルフィンはいつ出るかというと、わたしたちの死のときに再生され、そしてそれによってわたしたちは安楽な死ができるようになるという学説がありますが、まさにその死を体験することを目的とするヨーガの瞑想にとって、このプロセスは不可欠となることでしょう。」

修行のプロセスにおいて、この「しびれ」は必ず伴うというわけだ。この「しびれ」という現象も、チャクラの開発と同様にわたしたちが超人になるために必要不可欠なものとなるわけだが、そうすると、「しびれ」とチャクラとは深い関係にあるのかもしれない。これはもちろん憶測だが、今回の電気的な実験の意義を支える一つの理論として押さえておく必要がありそうだ。

## ◆電場をとらえる

さて、今回の実験は、チャクラの存在する部位に生じる電場を測定することを目的としている。そして、実験を始めるにあたってＦＥＴという装置が作成された。これは電界効果トランジスタをセンサーとした、電場を測定する装置である（コラム３参照）。

では、測定方法について説明しよう。まず、アージュニァー・チャクラの真上５mmに電場を感知するセンサー部分をセットし、そして、初めの３分間はリラックス状態、次の５分間はアージュニァー・チャクラに精神集中した状態、そして最後に再び３分間リラックスした状態と、この三つの状態で電気的な変化を測定した。

ここでこんな危惧を抱く人がいるかもしれない。「前回の実験ではチャクラに精神集中することによって眉間の部分に温度変化が生じることが明らかになっている。だとすると、この温度変化がセンサーに影響を与えるということはないのだろうか。」

と。

つまり、センサーが温度変化の影響によって誤って反応するかもしれないというわけだ。しかし、心配ご無用。この実験装置は、同時にセンサーの温度も測定できるようになっているのである。つまりセンサーが何らかの変化をとらえた場合、それが温度によるものかどうかということがはっきりわかるということである。

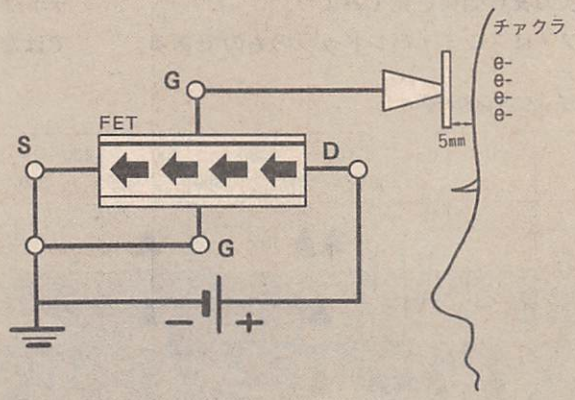
## ◆電場が発生した！

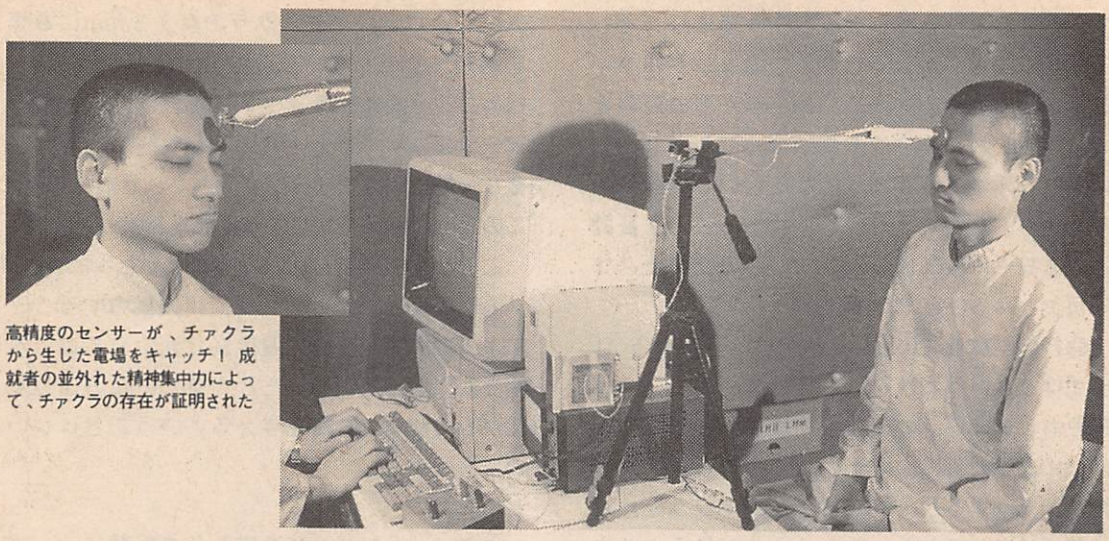
それでは、実験の結果がどうなったか早速見てみよう。

今回の被験者は、クンダリニー・ヨーガの成

### ●コラム３　測定装置の原理

今回使用したＦＥＴは、ドレイン（Ｄ）とソース（Ｓ）間に電圧をかけただけでは電流が流れない。ところがチャクラに生じた電荷（電気を起こすもとで、正と負があり、分布状態によって静電気や電流になる）により電場（電気が存在している空間、また、その状態）が生じ、プローブの金属板に電荷が誘起されると、ゲート（Ｇ）に電圧が加わり、電荷に応じた電流が流れるようになる。その電流値を測定することにより、電場や電荷がわかることになる。





高精度のセンサーが、チァクラから生じた電場をキャッチ！ 成就者の並外れた精神集中力によって、チァクラの存在が証明された

就者が５人、ラージャ・ヨーガの成就者が２人、そして非成就者５人である。

グラフ６は聖者シリヴァッダ上流師の実験結果である。ご覧のようにアージュニァー・チァクラに精神集中しているときに負の電荷を起因とする電場が生じているのがわかる。なお、温度が一様に上昇している一方で、電場は集中しているときに生じているということから、この電場の変化が温度変化によるものではないことは明白である。つまり、明らかに精神集中によってチァクラが電気的な反応を示しているのだ。

「ここでもチァクラの存在が証明された！」

目に見えないチァクラが電場を発生させているのだと思うと、不思議な感慨が押し寄せてくる。しかし、そんな高揚した気持ちはひとまず抑え、次の実験結果を見てみよう。

グラフ７はスワミ・バンドゥラのものである。やはり集中しているときに電場が生じている。このときセンサーの温度変化はないのがわかる。

さて、ここで実験の結果をまとめてみよう。表１は、ステージと測定された電場の強さの関係を示したものだが、ステージの高い人ほど電場が強くなっているのがわかるだろう。ご覧のとおり、確かに非成就者についても電場が発生しているケースもあるが、彼らすべてに共通している特徴としては、全員オウム真理教で数年間の修行歴があるということが挙げられる。

これについて、わたしたちはこう考えた。オウム真理教で指導されているような正しい修行をある程度の期間行なえば、アージュニァー・チァクラは開くか、少なくともある程度は活性化されてくる。よって、これはアージュニァー・チァクラが開発された修行者のみに見られる現象ではないか、と。

●表1 ステージと電場の強さ

が被検者１人

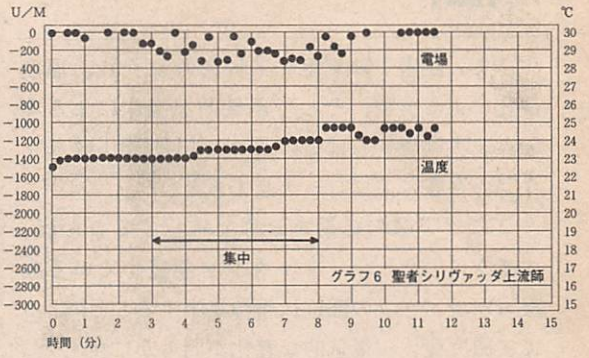
| 電場(V/m) / ステージ | 0 | 0〜100 | 100〜200 | 200〜300 | 300〜400 | 400〜500 | 500〜600 | 600〜700 | 700〜800 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| クンダリニー・ヨーガの成就者 | | | 人人 | | 人 | | | | 人人 |
| ラージャ・ヨーガの成就者 | | | 人 | | 人 | | | | |
| 非成就者 | 人 | 人人人 | 人 | | | | | | |

また、このアージュニァー・チァクラの電場発生について、麻原尊師は次のようにおっしゃっている。

「これはクンダリニー・ヨーガ

のプロセスを熟知するとよく理解できることだが、エネルギーが上昇して、そして次の段階では電気的なしびれというものが、この後ろから前にかけて生じます。そしてその生じたしびれの最終地点がアージュニァー・チァクラであると。で、この電気的しびれは、明らかに電場を発生させることができるくらいの電気的なしびれをそれぞれの成就者が感じます。ですから、電場が発生したとしても何ら不思議はないでしょう。」

修行のすべてを体得されている麻原尊師にすれば、この実験結果は当然のことということになるだろう。




## ◆アースによって消えた電場

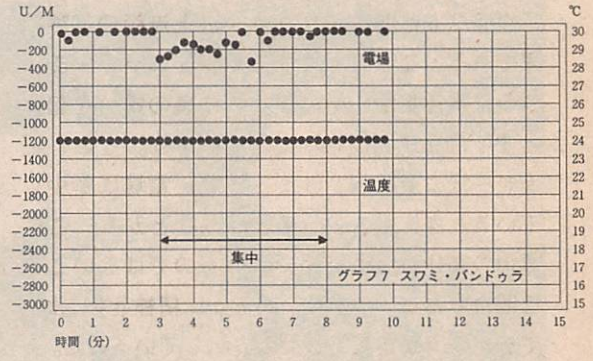
ところで、実験中に発生した電場は確かに電荷によるものなのだろうか。それを確かめる必要がある。そこで、次のような実験が行なわれた。

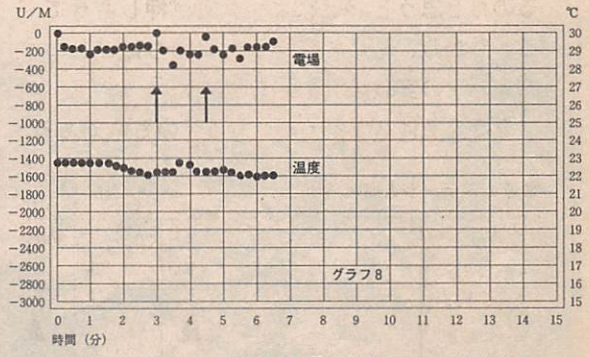
それは、測定していて電場が観測されているときに、チァクラの部位をアースするというものである。このとき、もし電荷が存在しているならば、アースによって電荷が逃げ、電場は消えることになる。

では、その結果はどうなったであろうか。グラフ8で確認していただきたい。ちょうど矢印のところでアースしたとき、そこで電場が消えているのがわかるだろう。したがって、実際に電荷がチァクラの部位に存在するということが明らかになったのである。

このアージュニァー・チァクラにおける電場の実験を振り返ってみると、これもやはりわたしたちの期待に応えるものとなったことは間違いない。特に、眉間に発生した電場の強さと被験者たちの霊的ステージとの間に正の相関関係が見られたという事実は、チァクラの存在を確認する一つの要素として強烈にアピールするものだろう。ともあれ、今回の実験でも、チァクラの存在を認めることができたのはうれしい限りである。

以上　記者T・M




矢印のところがアースした点。電場が消えているのがわかる

## 否定できないチァクラの存在

さて、記者Tのレポートに見たように、温度変化による実験、そして電気的な変化による実験と、実験チームはこの二つの方法を用いてチァクラの存在にアプローチしてきた。

ここで実験の結果を改めて確認するならば、大まかにいうと、「チァクラを開発している成就者がチァクラの部位に精神集中することによって、温度変化、電気的な変化が明らかに生じた。そして、非成就者との間に著しい差が見られた」ということになる。

わたしたちの中に秘かに息づいているチァクラ——その存在がこれらの実験によって見事に検証されたといっていいだろう。確かにチァクラの存在を確定づけるためには、より多くの実験データが必要となってくるだろうし、また他のチァクラに対する実験も不可欠なものとなるに違いない。それについては、必ずや近い将来において検証していこうと考えている。

ともあれ、今回行なわれた実験の数々を振り返ってみるならば、チァクラはもはや疑うことのできない存在としてわたしたちの前にある。そしてあなたも、自分自身の中にあるチァクラの息吹を強く感じているに違いない。

ロシアのテレビ放送「2×2」(ツー・バイ・ツー)の中で放映されているオウム真理教のテレビ番組「真理探究」。真理を科学によって解明するという画期的な番組に、毎回問い合わせの電話が殺到。このチァクラの実験も放送され、大反響を呼んだ。

京都大学

東京大学

いつも定員を大幅に上回るほど大好評を呼ぶ麻原尊師の大学講演。その論理の明快さとだれもまねることのできない内容の深さに、多くの学生が感銘を受けている。

## ●コラム4　経典の世界も本物だった！――チャクラ実験が証明した天界の現象

今回の実験によって、チャクラの存在は見事に証明された。しかし、この実験で証明されたことは単にそれだけではない。仏教経典に描かれた、チャクラの織りなす不思議な神通力の世界の存在までもが、同時に証明されたのだ。例を挙げよう。現象界の一番上位に属する戯れ堕落天の中に創造満足天という世界がある。この世界の住人（神々）は、自分の欲しいものを神秘的な力によって思うがままに創造し楽しんでいると経典には書かれている。また、そのもう一つ上には、為他神以神通創造欲望満足従事天という世界があり、ここの住人は自分が欲したものを他の住人が代わりに創造してプレゼントしてくれる――と記されている。「超能力で自由にものを作り上げるなんて、そんなバカな！」と一笑に付す方もいるかもしれない。しかし、今回のアージュニァー・チャクラの実験結果は、そうした「技術」が可能であることを示唆しているのだ。現に、麻原尊師は、今回の実験についての弟子の質問に対して次のようにおっしゃっている。

離れた所にある物質を変化させる――アージュニァー・チャクラの力は、神々の世界の存在を明らかにした

――チャクラが開くとは、どういう現象でしょうか。

（尊師）これは透視をすればはっきりわかりますが、そこの部分に空洞ができます。で、空洞ができるとはどういうことかというと、内側の肉体的な空洞と外側の世界がつながるというふうに考えてよいのではないだろうか。エネルギーのムーラダーラ・チャクラからの上昇によって、アージュニァー・チャクラからの道筋がどんどん浄化されると。で、エネルギーの量がどんどん増大し、最終的にはアージュニァー・チャクラを突き破るというか、そういう現象が起きるんだね。で、突き破ったら、透視をするとそこの部分がちょっと空洞のように見えると。しかし、そこの空洞は明らかにその空洞からしか行けない世界へとつながっているということだね。

――つまりチャクラが開くことによって、内部のエネルギーを外界に作用させることができるということでしょうか。

（尊師）そうだね、そのとおりです。

――そして今回の実験は、アージュニァー・チャクラから5mm離れた所に器具をセットしての測定でしたよね。ですから、人間は精神集中によって遠隔的な作用を及ぼすことができるという証明にもなったと思います。それについてはどうでしょうか。

（尊師）このアージュニァー・チャクラというのは特別なチャクラで、現世の願望をかなえるチャクラであるわけだね（10ページ参照）。だから、例えば電荷を発生できるということは遠隔、つまり遠いエリアに対しても少なくともその部分における電気的変化を起こすことができる可能性があるということが、今回の実験でいえるのではないだろうか。

――ということは、離れた所にある物質を作り変えたりすることも可能だということでしょうか。

（尊師）ヨーガの修行によっては物質元素を変えることができるようになる。これは錬金術的な働きなわけだけれども。その前段階の証明として、今回の実験は大変有意義だと思います。最終的には、例えば、水銀を金に変えるとか、そういう神秘的な力が存在しているといわれています。これらはもう少し修行が進んでくると、単なる電荷を変えるだけでなく、実際に例えば電荷を飛ばしたり、あるいは中性子、陽子の個数を変化させることによって、このような現象が起きるんだということができるでしょう。そして、もしそこまでわたしたちが証明することができるとするならば、「唯心的物理学」というものの確定につながるのではないかと思います。

尊師のおっしゃるように、今回の実験結果は、アージュニァー・チャクラが遠隔地点に影響を及ぼすこと、そして究極的には錬金術的に物質構造を変化させ得ることを証明している。つまり、アージュニァー・チャクラは、離れた所にある物質を自在に変化させることができる――というわけだ。

実験では、霊的ステージの高い者ほど電場が強いことが判明している。よって、人間よりもはるかに霊的ステージの高い人々が住む創造満足天や為他神以神通創造欲望満足従事天では、経典に書かれているような現象――好きなものを自由に作り出す――が実際に起きているといっていいだろう。

このように、今回のチャクラ実験は、経典の世界の不思議な現象をも裏づけることができたのだ！

PART3

# チャクラを開発するだけでこの世は思いのままに生きられる!

## チャクラを開発しない手はない!

チャクラが確かに存在することは、PART2の実験で証明された。そして、各チャクラを開発することによって得られる、人知をはるかに超えた能力についても存在することが科学的に証明されたといえよう。

ところが、このように考える方がいるかもしれない。

「でも、いちいちチャクラなんか開発しなくってもいいよ。」

「確かにすごいかもしれないけれど、日常生活を営む上で、人並外れた超能力なんて別になくてもいいよ。」

と。

しかし、ちょっと待ってほしい。本当にそうだろうか。チャクラを開発することによって得られる様々な能力は、わたしたちの日常生活に役に立たないのだろうか。

決してそんなことはない。いや、それどころか、チャクラを開発しなければ、わたしたちに未来はないといえる。それはなぜか。

ここで注意していただきたいのは、PART1でご紹介した「チャクラで得られる能力」というのは、オプションとして得られる能力ではないということである。よく勘違いされる方がいるのだが、例えば健康を司るムーラダーラ・チャクラは、わたしたちの肉体的な頑丈さについてのすべてを司っているのである。マニプーラ・チャクラであれば、消化に関すること、学問・知識に関することのすべてを司っている。つまり、マニプーラ・チャクラを全く使っていない人は、消化力が弱いし、知識も残らない。

ということは、だ。開発できているかどうかは別にして、わたしたちは多かれ少なかれチャクラの恩恵をすでに受けているということになる。

ならば、チャクラを開発しない手はない。100パーセント現状に満足しているという方は別にして、「もう少し物事がうまくいったらなぁ……」と思ったことのある方は、ぜひともチャクラを

開発するべきである。

チャクラを開発して、自己に秘められた能力のすべてを発揮し、思いのままの満足できる人生を歩むのか、それとも開発されないチャクラによって制約された実りなき人生を選ぶのか……それはすべて、あなたが少しの修行をし、チャクラを開発するかどうかにかかっているのである。

## チャクラを開発してワンランク・アップ!

PART1でも、各チャクラを開発することによって得られる能力についてご紹介した。

このPART3では、特に日常生活において役立つと思われる能力に絞ってご紹介したいと思う。あなたが欲しい、あるいは強化したい能力はどれだろうか。

## ムーラダーラ・チャクラ

- ○超健康体の獲得
- ○病気の消滅
- ○疲れ知らず

### ●薬づけからの解放

北島美晴

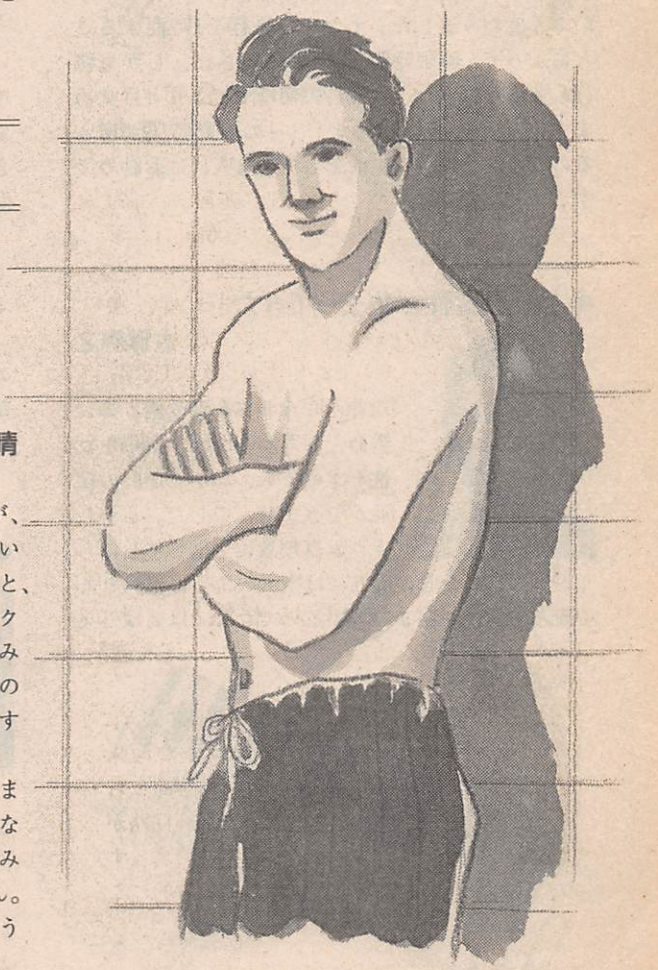
わたしの人生のほとんどが、薬づけの日々でした。何か良い方法で体質改善をしなくてはと、その度にカイロプラクティックやハタ・ヨーガなどを試みてみましたが、あまり効果がなく、医者からも、「このままの体では、25歳を過ぎたらボロボロになりますよ」と言われ、悩んでいました。

そんなときオウムに出会い、すぐに修行を始めました。体の変化としては、薬を全く必要としなくなり、体も少しずつ柔軟になってきて、気がついてみると、風邪もここ1、2年ひいたことがありません。病気とは無縁の体になって、昔のわたしが嘘のようです。

### ●鏡を見てビックリ!

藤原広明

わたしは、社会人になってからの運動不足や飲酒などの不摂生がたたって、体には余分な肉が付き、虚脱感を感じる日々を送っていました。そこでオウム真理教の修行を始めました。4週間のカリキュラムが終わるころです。風呂から上がって自分の体を鏡で見てビックリしました。あんなにダブついていた余分な肉がすべて落ち、引き締まった体がそこにあったのでした。何といっても素晴らしいのは、それまで最低でも2カ月に1回は医者にかかっていたわたしが、修行を始めてから2年になりますが、一度たりとも病院に行ったことがないことです。



## スヴァディスターナ・チャクラ

- ○異性にもてる
- ○性エネルギーを自在にコントロール
- ○エネルギッシュになる
- ○短眠が可能
- ○情緒的な詩や曲を作る才能

### ●短眠獲得　活動時間がグンと増える

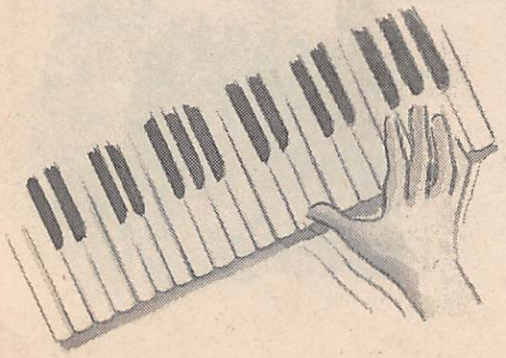
松尾信幸

わたしはオウム真理教の修行によって、とてもエネルギッシュになりました。また、短眠、食事の量が減る、病気をしなくなるなど、修行によって体質がずいぶん変わりました。オウムの修行を1時間することによって、睡眠時間が2時間短縮され、しかも修行してから寝ると、次の日の朝はすっきりと目覚めます。つまり、修行すると、1日の活動時間が増えるのです。多眠型の生活をしている人にはお勧めです。

### ●素敵な女性が集まってきた！

大塚規之

昔からうわべを取り繕うのに懸命だったわたしは、素敵な女性を求めても、なかなか心の疎通ができませんでした。しかし、オウム真理教に入信してしばらく経つと、わたしの周りには空気のように自然と心の安らぐ女性が集まっているのでした。以前は外見で女性を測っていたのですが、今は相手の心の清らかさを喜び、その素直さに感心し、畏敬の念を持つようになりました。そして、もう何十年来の友達のように、他人には言えないような悩み、夢、真理の素晴らしさなど真剣に語り合っています。



### ●コピーが次から次へと浮かんでくる！

聖者ヴァンギーサ上流師

オウム真理教のイメージ・ポスターのコピーを作ったときの話です。

なかなかいい言葉が思い浮かばないのでどうしようかと思っていたのですが、同じ部署にいたある出家修行者は、いろいろなコピーをすらすらと書いているのです。それは、脈絡のない言葉が次々とわき出てくるという感じでした。そこで、その出家修行者に秘密を聞いてみると、「スヴァディスターナ・チャクラに集中すると出てくるんです。」ということでした。確かに、教義でもスヴァディスターナ・チャクラの働きにはそういう効果もあることになっていますから、試してみることにしました。

すると、面白いように次から次へと言葉が浮かんでくるのです。あっという間にコピーが15ほどできてしまいました。

このときできたコピーには、実は柔らかい雰囲気の情緒的なものが多かったのですが、やはり情緒を司るチャクラの働きだと、改めて感心してしまいました。

### ●ピアノの音が変わった！

聖者タントラ
ジェーンティー到達光師

わたしは、以前から編曲をすることが夢でした。けれども、実際に楽譜を目の前にすると、うまく表現できず、少しも形にならないのです。自分の中にあるものを、うまく音符で表現することができませんでした。

ところが、修行を始めると、心の中で思った音楽がそのままストレートにどんどん表現できてしまうようになりました。現在、わたしはオウム真理教の

編曲部門の奉仕活動をさせていただいていますが、これは以前には考えられないことでした。

また、修行を始めてから、よく「ピアノの音が変わったね」と言われるようになりました。鍵盤を一叩きするだけで、もう以前とは音が違っているのです。エネルギーが強くなったせいかもしれませんが、演奏された音の表情が豊かになってきました。楽器の持つ性質をストレートに表現できるようになったということもあると思います。

## マニプーラ・チャクラ

- ○消化能力増大（たくさん食べられる）
- ○思索力増大
- ○判断力増大
- ○記憶力増大
- ○推理力増大

### ●マニプーラ・チャクラの開発で成績急上昇!

稲葉紀人

わたしの成績が急に良くなったのは、オウム真理教に入信し、マニプーラ・チャクラが開発された高校2年の2学期のことだった。それまではドンジリから数えて4分の1から3分の1の成績だったわたしが、1学期間で100人以上の同学年生を抜くこととなったのだ。さらに次の学期には90人抜き、その次には60数人をごぼう抜きにした。つまり、1年間で270人以上を抜いたことになる。1年もしないうちに教師に期待されるようになり、大学模試は学年で1番になり、実力試験も4番で、いつの間にか人にうらやましがられるシチュエーションに立っていたのだ。

この成績の変化を生じさせたのは間違いなくクンダリニーのエネルギーとマニプーラ・チャクラの働きである。ヴァヤヴィヤ・クンバカ・プラーナーヤーマ（クンダリニーを覚醒させるヨーガ行法・知能を向上させる働きもある）を行じているとき、目を開けると周りがすべて真っ赤になって見えていたが、これはクンダリニーが覚醒した後、わたしがヨーガでいうところの「火のステージ」を経験していたからである。

火元素は霊視すると赤く見え、マニプーラ・チャクラ（腹部にある霊的センター）と関係があるのだ。そしてこのチャクラが開発されると、学問や才能に目覚ましい進歩があるとされており、まさにわたしの成績が急上昇したのは、クンダリニーの覚醒によってマニプーラ・チャクラが開発されたからであるとしかいいようがない。

ちなみに、わたしは小学校のころから筋金入りの勉強嫌いであったのに、その当時、急に「勉強したい」という気持ちが強く込み上げてきて、勉強に没頭するようになってしまった。周りは奇異な目で見ていたが、これもクンダリニーとこのチャクラの働きからすれば当然のことなのである。

### ●記憶力が激増!

山本治義

時間があれば道場に来て修行のコースに出ることによって、特に記憶力が良くなりました。頭の中が以前よりすっきりし、暗記しなければならないことや、その他のいろいろなことも1、2回聞いたり、読んだりするだけで覚えられるようになりました。頭の回転も良くなり、本当に変わったと思います。

## ●その日のテストをみんなに公開

**瓦吹英宣**

入信以来、非常に直感力がさえてきました。例えば、学校の期末試験の勉強では、いつも1日前になってやっと重い腰を上げて勉強して、試験に出そうなところだけをやっていたのですが、次の日、ちょうど勉強したところが試験問題に出るのです。一度、教室の黒板に、その日のテストで出そうな問題を書いておいたことがあるのですが、これも見事一致してしまいました。

## ●迷っていた思考回路が整然と!

**八木澤恭子**

真理の法を理解するようになってから、自分の考えに曖昧さがなくなり、以前ならあっちこっちと迷っていた思考回路がスッキリ整理整頓され、真っすぐ一本だけになりました。相手に対して絶対的にこうであると言い切る自信もつき、自分の論理に確信が持てるようになりました。

## ●国立大学も楽々パス

**織田晶子**

わたしは受験生であるにもかかわらず、学校以外の勉強時間はあまり取らず、オウム真理教での修行の片手間に受験をしたという感じだったのですが、受験した大学はほとんど合格し、特に国立は、二校とも（文型一校・理系一校）合格してしまいました。

## ●移り気なわたしが別人に!

**吉岡実**

わたしは子どものころから「好奇心が服を着て歩いている」と言われるほど落ち着きがなく、一瞬たりともひと所にいることがなく、よく動き回っていました。ところが修行を始めると、徐々に集中力がつき始め、興味の対象がすぐ変わるといった移り気なところや、雑なところがなくなりました。精神的にも安定して、わたしなりに不動心といったものが得られたと思っています。

## アナハタ・チャクラ

○栄誉を受けることができる
○人の心を読み、人の心を動かす

### ●幼児教室をもり立ててもらえる!

木田恵子

入信するとほぼ同時にスカウトされ、幼児造形教室を主宰するようになりました。ここでは教室を自由に使えたりするなど、思いどおりにさせていただいています。　お母さま方やオーナーも信頼してくださり、この教室を他の人にもご紹介してくださる方が多く、生徒をお断りしなければならないほどです。

### ●他心通でジャンケンも連勝

聖者ディーラー到達光師

道場で信徒さんの対応をしていると、その方の心が手にとるようにわかったり、その方の性格を表わす色が見えたりすることは日常茶飯事です。先日も、信徒さんのご自宅にお邪魔したのですが、その方に会った途端すごい悲しみのヴァイブレーションが伝わってきました。聞いてみると、その方は昨日も今日も寂しくて泣いていたとのことでした。また、そのとき目をつむると青い色が霊視できたので、「とても信仰心のある方ですね」と言うとズバリ当たっていたそうです（信仰心のある人は青い光を発している）。

一度他心通を試してみようと実験をしたこともありました。それはジャンケンをするときに、相手の出すものを言い当てるというものでした。1回、2回、3回、わたしは彼に勝ち続けました。そして、連続して勝つことなんと9回。最後は、「すごいね」って誉められたので、心が動揺して、相手の出すものがわからなくなってしまったのですが。

## ヴィシュッダ・チャクラ

○高い地位を得る（高位高官）
○権力を握る

### ●主任へランクアップ

林泰男

オウム真理教に入信以来コツコツと修行してきたのですが、入信後数カ月でヒラの社員から主任へとランクアップしました。当然給料も上がり、その上、何かと自由に仕事をさせてくれるという特別待遇をしてくれるようになったのです。いきなりやってきた〝たなぼた〟のようなこれらの変化に、自分ながらあっけにとられています。

## アージュニァー・チァクラ

### ○この世の願望をすべてかなえる

### ●売上トップへ

津軽貞憲

わたしは勤務している会社で営業部に所属しています。当然実績数字（売り上げ・利益率）がすべてという環境の中にいますので、自分でも気がつかないうちにそれが願望となっていたのでしょう。決算時において前年比150パーセントの実績を達成し、営業部の中でトップの売り上げとなり、新年度からはポジションが一つ昇進するという願望成就を果たしました。

### ●最高の結婚相手に巡り合えた！

片岡寛次

オウム真理教に入信し、功徳を積んだところ、入信2カ月目にして縁談が2件も持ち上がりました。そして、今の妻と知り合ったとき、一目でわたしの生涯の伴侶であることがわかり、長年の願望だった結婚相手に巡り合うことができたのです。

### ●生活も心も豊かに……！

野崎栄子

修行を始め、気がついたらいつの間にか経済的に安定するようになっていました。仕事の上での収入が多くなり、家族の仕事の状態も良くなって、生活も心も豊かになっていったのです。また、財施をするとその分を埋めるかのように、それ以上のお金が入ってくるようにもなりました。また、家で仕事もできるという最高の条件で良い家が手に入り、さらに仕事が円滑に進められるようになりました。

### ●連絡したい相手から連絡が来る！

聖者タントラ
ウッタマー上流師

最近、わたしは思念したことが頻繁に現実化するようになりました。例えば、ある人への連絡が必要になった場合、自分で連絡を取らなくとも、すぐ向こうから電話が来たり、訪ねてきたりという具合です。

先日もこんなことがありました。

それはオウム真理教恒例のインド巡礼ツアーを目前にしたある日のことでした。準備万端、あとはインドに向かうだけと、ホッと一息ついていたときです。

早朝、突然に飛行場までの交通方法が変わるとの連絡。慌てて参加者の方々に連絡を取ろうとしたのですが、皆さん、もう会社に出勤されたりで、なかなか連絡が取れません。困ったなと思いながら、わたしは心を鎮めて瞑想修行に入ることにしました。

その後、次々に連絡が取れ出し、その日の夜には全員の方に連絡がついたのでした。それだけではありません。この話にはもう一つおまけがあるのです。

それは翌日にまたどうしても参加者の方々に連絡を取らなくてはならないことが起こりました。しかも今度は深夜遅くにです。時間帯を気にし、電話をかけるのを躊躇したわたしは、まず瞑想に入り、参加者の方と連絡が取れるように思念してみました。

すると、相手方から意外にも電話がかかったり、訪問されたりでアッという間に連絡が取れたのです。

これには自分でも驚いてしまいました。

このように、わたしは修行を始めてから思ったことが頻繁にかなうようになって、いざというときに困ることが少なくなりました。修行の効果をつくづく感じているこのごろです。

## サハスラーラ・チャクラ

### ○人間を超越する

### ●本当の幸福を知った

**聖者キレーサ・パハーナ・アーナンダ到達光正師**

右上方からキラキラと輝く黄金色の光が射し込んでいるのに気づいたのはその直後のことである。その光は徐々に強くなり、神秘的で優しいヴァイブレーションを発しながら、最後にはわたしの身体を完全に包み込んでいた……。

そこは歓喜に満ちあふれた世界だった。そこでのわたしには煩悩によって動かされる〝感情〟そのものがなく、すべてが止まっているかのように思えた。もちろん、苦しみなどいっさいない、長い間求めていたものがようやく得られたような、そんな満足感さえ与えてくれる世界だった。

そのときわたしは、本当の幸福というものを知ったような気がした。……幸せだった。壊れることのない本当の幸福を求め、すべてを捨てて出家してから1年余り。ひたすら求め続けてきた解脱・悟りは想像以上に素晴らしく、わたしに本当の幸福がいかなるものかを教えてくれた。そして、その幸せに比べたら、我々がとらわれているこの現世での幸せというものが、取るに足らないつまらないものであることも理解できた。

## チャクラ開発がすべてを実現!

いかがだろうか。あなたの伸ばしたい能力・才能はどのチャクラが司っていただろうか。そのチャクラを開発しさえすれば、その能力があっさりと得られることは、この体験談が証明しているとおりである。逆に、あるチャクラを閉じてしまった場合、そのチャクラに関する能力・才能は封印されてしまうということを肝に銘じておいていただきたい。

エジソン、ナポレオンなど、自己の人生において最大限の能力を発揮した人物の多くが短眠を獲得、すなわち、少なくともスヴァディスターナ・チャクラを開発し終えていたことは歴史上の事実である。

さらに、最終解脱者であられる真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師ともなれば、すべてのチャクラを自由自在に使いこなすレベルに達しておられる。実際、科学、医学、音楽、文筆、神通力、その他ありとあらゆる分野において、麻原尊師は天才的能力を存分に発揮されている。いずれの分野においても、その道の専門家をしてうならせるほどの超越した才能・能力を駆使されているのだが、それはチャクラの完全な開発があってこそ、初めて可能になるのだ。

――あなたがこの人生を良く生きるも悪く生きるも、すべてはあなた自身がチャクラを開発するかどうかにかかっている。

いや、この激動の世紀末にあって、チャクラを開発することはわたしたちの急務となりつつある、といった方が正確かもしれない。――なぜならば、今までのような平和な世の中がこれからも続くとは考えられないからである。

次のPART4では、チャクラを開発することによってこの激動の世紀末を生き延びることができることを証明してみたい。

PART 4

## 実験が証明したその超人性

# 進化した修行者がハルマゲドンを生き残る！

〝神秘の光輪〟チャクラの存在と、チャクラが織りなす神通力の世界……。わたしたちは今回のチャクラ実験で、これらの事実を証明できた。そして、チャクラの開発は、生活に即役立つ能力をもたらし、素晴らしい現実生活を約束してくれるものであることもわかった。

しかし、あなたは気づいていないだろうが、今回の実験は、現実生活の魅力なんかたちまち吹っ飛んでしまうような衝撃的な事実をも証明していたのだ。

それは――、オウム真理教の修行者が、今世紀末の過酷なハルマゲドン（人類最終戦争）を生き残れる〝進化した人種〟であるということである！

## 第1章　人類進化の時 ――天変地異とハルマゲドンを超えて

### 人類は進化の時を迎えている

いきなり「進化云々」というと驚かれようが、実は人類は今、ヒトから神に脱皮する歴史的ターニングポイントを迎えているのだ。

進化――。ヒトと呼ばれる種がこの地上に登場してから、およそ200万年が経過したといわれる。原初はサルに近いものだった猿人も、長い長い時をかけて、高度な知能を持つれっきとした現代人へと進化した。もちろん、ヒトが登場するはるか以前から、地上の生物は進化の過程

を歩んできている。単細胞生物から多細胞生物、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、ほ乳類……という具合いに。

それらの生物は皆、荒れ狂う地球環境の激変にさらされてきた。そして、その度ごとに、生き残る種が選別されていった。つまり、気温低下や食糧不足等の過酷な状況に追いつめられ、それに耐え得る形態に変異できた種のみが生き残り、変異できなかった種は滅亡していったのだ。前者の例がヒトであり、後者の例が恐竜である。度重なる大自然の〝ふるい〟にかけられて、生き残り進化してきた種が、現在の地球を支配しているわけだ。

そして、今また地球は大規模な激変期を迎えようとしている。そう、人類は、さらに進化する種と滅亡する種をより分けるための〝ふるい〟にかけられようとしているのだ。では、その〝ふるい〟とは何か？

それが、今世紀末に地上に吹き荒れる天変地異や、勃発が予言されている人類最終戦争——ハルマゲドンなのである。

## ハルマゲドンは必ず起きる！
## ——世紀の予言者・麻原尊師が予言

恐るべき天変地異が今後続発することは、もはや科学者の証明を待つまでもない。フロンガスによるオゾン層破壊や、炭酸ガスの充満による温室効果、放射性廃棄物等の海洋汚染に、酸性雨による森林破壊……。現に、数え上げればきりのない様々な災難が、目に見える形でわたしたちに襲いかかっている。良識ある科学者も異口同音に、21世紀の人類に未来はないと断言している。

そして、そんな危機的状況に追いつめられて、死にものぐるいになった人類が、一挙にハルマゲドンへと突っ込んでいく——。数々の近未来予言を公表し、その98％以上を的中させてきた世紀の予言者・麻原彰晃尊師が、神秘力で未来を見通して、はっきりそう予言しておられるのだ（残り２％の未的中予言も目下現象化が進んでいる）。

尊師の予言は正確無比。その的中率はすさまじい。例えば、最近の出来事としては、今年３月以来の日本経済の一時的回復や、４月に発生したカンボジアでの日本人射殺事件に関する予言が早速的中したばかり。それまでにも、ソ連崩壊や東西ドイツ統合等の世界的大事件をはじめとして、ＰＫＯ法の制定や農作物輸入自由化等の政治動向、三原山噴火等の自然現象に至るまでを詳細に予言、見事に的中させてこられたのである（的中例の詳細は『理想社会９』参照）。

もちろん、この驚異的な予言能力の秘密がチァクラに潜んでいることはいうまでもない。

「クンダリニーがサハスラーラ・チァクラを突

麻原尊師の驚異的な神秘力によって、近未来予言がことごとく適中している。とすると、〝ハルマゲドン〟は確実に起こるに違いない——

き抜けたとき、予言の力が生じる。それは、宇宙的規模から、個人生活の未来まで、様々な未来に関して前もって知ることができる。」（麻原尊師著『超能力秘密の開発法』〈オウム出版刊〉より）
と尊師はおっしゃっている。

さて、その尊師が、ハルマゲドンの勃発をこう予言されているのだ！

「世界経済が行き詰まり、生きていけないという窮地に陥ったときに、世界的規模の戦争が始まる。アメリカ、ソ連、中近東を中心とするイスラム諸国、日本が、正面切ってぶつかり合う、激しい戦争となるだろう。……恐ろしい開発と改良が続けられた、高性能のＳＤＩ兵器が、地球の破壊に拍車をかけることになる。」（『トワイライトゾーン』88年１月号より）

「これから2000年にかけて、筆舌に尽くし難いような、激しい、しかも恐怖に満ちた現象が連続的に起こる。日本の国土は核によって荒れた大地と変わる。その時期は1996年から98年１月

## 古今東西の予言書が予言していたハルマゲドン

ハルマゲドンが勃発することは、次に示す古今東西の予言書や予言者によっても予言されていることなのだ。

◎『転輪獅子吼経』（仏教経典）「人間の寿命が10歳のとき、７日間、『兵器が重大な影響を与える期間』があるのだ。そこで、人々はお互いに『獣』として認識し合うのである。人々は鋭利な武器を手に現われ、その鋭利な武器によって、『これが獣だ。これが獣だ。』と、お互いに生命を奪い合い、人々の大部分はここで死に至るのである。」（『人類滅亡の真実』〈オウム出版〉参照）

◎『大集月蔵経』（仏教経典）「空中で大きな（爆発の）声がして、地は激しく揺れるだろう。ありとあらゆるものがすべて動き、（そのさまは上空から見ると）水上に広がる（きのこ雲）の輪のようだ。城壁はこなごなに砕けて落ち、すべての建物はとろけてつぶれるだろう……。このようなすさまじい破壊の結果、大地はことごとく岩塩ばかりの不毛の地となり、丘は裂けて深い谷間をつくる。山々はすべてこげ、天から雨の降ることもなく、作物は皆枯れ死んでしまうだろう……。」

◎『ヨハネの黙示録』（新約聖書）「小羊が第６の封印を解いた時、わたしが見ていると、大地震が起って、太陽は毛織の荒布のように黒くなり、月は全面、血のようになり、天の星は、いちじくのまだ青い実が大風に揺られて振り落とされるように地に落ちた。天は巻物が巻かれるように消えていき、すべての山と島とはその場所から移されてしまった。……『御怒りの大いなる日が、すでにきたのだ。だれが、その前に立つことができようか。』」

◎『マタイによる福音書』（新約聖書）「また、戦争と戦争のうわさを聞くであろう。注意していなさい、あわててはいけない。それは起こらねばならないが、まだ終わりではない。民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。またあちこちに、ききんが起り、また地震があるであろう。……そしてそれから最後が来るのである。……その時には、世の初めから現在に至るまで、かつてなく今後もないような大きな患難が起るからである。」

◎『ヨエル書』（旧約聖書）「主の日が来る、主の日が近づく。それは闇と暗黒の日、雲と濃霧の日である。強大で数多い民が山々に広がる曙の光のように襲ってくる。このようなことは、かつて起こったことがなく、これから後も代々再び起こることはない。彼らの行く手を、火が焼き尽くし、彼らの後ろには燃える炎が続く。彼らの来る前、この国はエデンの園のようであった。彼らの去った後には、滅びの荒れ野が残る。何ものもこれを逃れえない。」

さらに、日本の有名な超古代史研究家であり予言者である酒井勝軍は、「人類は今世紀末の人類最終戦争で滅亡する。生き残るのは神仙民族（修行によって神通力を身につけた人々）だけだ。」と予言している。

大本教の指導者、戦前最大の宗教家にして予言者の出口王仁三郎も、世の「立て替え立て直し」が起きると、つまり二十世紀末までにハルマゲドンと大きな天変地異が起きると予言。「本当の火の雨が降ってくる」という不気味な言葉を残している。

そして、あのフランスの大予言者ノストラダムスが、今世紀末の大破局を予言していることはだれもが知っているところである。

ハルマゲドンの勃発は確実であると言わねばならない……。

●書籍案内

『人類滅亡の真実』

980円

滅亡の真実を克明に解き明かす、真理勝者サキャ神賢と最聖麻原彰晃尊師が贈る人類啓蒙の書。果たして我々人類は滅亡するのだろうか？救われる道は？今再び仏陀からのメッセージが届いた。

にかけてである。日本を攻めるのはアメリカを中心とした連合国。大都会においては10分の1くらいの人間しか生き残らない。10人中9人は死んでしまう。」（麻原尊師著『麻原彰晃、戦慄の予言——君は人類最終戦争を生き残れるのか？』〈オウム出版〉より）

ハルマゲドンが勃発する！——百発百中の予言者であられる麻原尊師の予言とあれば、それは確実に起きるに違いない。

620円

●書籍案内

麻原彰晃の世界PART20
『麻原彰晃、戦慄の予言』
——君は人類最終戦争を生き残れるのか?

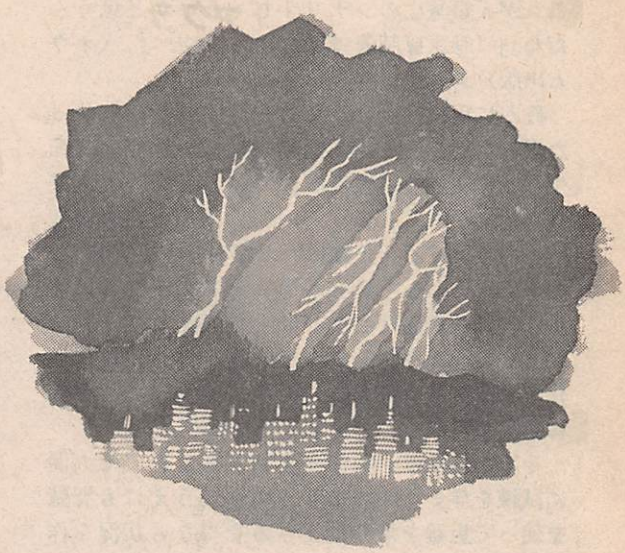
戦後、未曾有の経済的発展を為し遂げた日本。しかし、この繁栄を極めた日本も、あと10年もしないうちに破局を迎える……。これから2000年にかけて日本に続発する恐怖に満ちた現象、そしてその破局を乗り越えるための秘儀を麻原尊師が特別に伝授する。


## 一部を残して、ほとんどの人間は死滅する

天変地異とハルマゲドンによって、天からは有害光線が降り注ぎ、海からは逆まく怒涛が押し寄せて、地上は地獄の劫火に包まれる。その上、莫大なパワーを持つ最新兵器が世界中の都市の上空で次々と炸裂、何億もの人々が超高熱と爆風の中で四散消滅する。世界は凄惨な修羅場となり、生き物は何一つとして生存を許されないほどの未曾有の惨状を呈する——これは、聖書や古今東西の予言書も、リアルに、しかも無機的な冷静さをもって記していることなのだ。

これは、これまで地上に吹き荒れた生物進化のための〝大自然のふるい〟とは、全く比較にならない。その規模の大きさ、苛烈さゆえに、一部を除いてほとんどの生物や人間は死滅してしまうだろう。

しかし——、これも深い配慮に基づいた神々の意思なのである。



## 進化、それは神々の意思

事実、聖書の巻末に収められている『ヨハネの黙示録』には、「神があらゆる災害を引き起こす」という主旨のことが明記されている。また大予言者ノストラダムスも、「神が大きな戦争の首謀者となる」と予言している。

「天変地異やハルマゲドンが神の意思だって……!?」

神を優しき存在、慈愛にあふれた存在とイメージしている人には意外に思えるだろう。確かに、神はそういう存在である。しかし、神がお持ちの慈愛とは、普通の人がイメージしているような単純なものではない。子供の真の成長を願う父親にも似た、厳しさを伴った慈愛なのである。

麻原尊師は、この神々の意図について、こうおっしゃっている。

「神のサイドから見たら、人間には進化して高い世界へと生まれ変わってほしいという気持ちがあるわけだから、この堕落して三悪趣に生まれ変わっていくような世の中は破壊しようとするだろう。ただ、いろいろな神話では破壊されて終わりになっているけれども、破壊されるだけじゃないだろうね。つまり、超人類が現われて、その超人類は生き残り、残りの一時的な享楽だけに耽った魂は破壊されるということだ。

これが人類滅亡のシナリオじゃないかと思うんだね。」（麻原尊師著『滅亡から虚空へ』〈オウム出版〉より）

確かに現代社会は、暴力や性欲、食欲といった煩悩を煽りたて、人間を来世低い世界へと転生させる粗悪な情報に満ちている。精神性も霊性も地に堕ちてしまっている。「人間を神の境地へと引き上げる（正確にいえば「引き戻す」）ことが人間にとって最も幸福」と考える神々にすれば、この人間社会などは「百害あって一利なし」というわけだ。このまま放っておけば、進化の素質のある魂もない魂も〝一蓮托生〟、ともに堕落し自滅してしまうことだろう。

そこで神々は、わが身を斬り裂く思いで人間に試練を与えた。つまり、いやがうえにも智慧を使って患難を乗り越えざるを得ない状況を作り出すことによって、素質ある魂の霊性や精神性を飛躍的に向上させ、ただの人間から神人へと進化させようとしているのである。そうすれば、一部の人間は助かって進化の道を歩むことができる。

もちろん多くの人間は滅び、低い世界へ転生してしまうことだろう。だが、低い世界へ落ちた魂も徐々に進化して、またいつかは救済される時期が巡ってくる。一度に大量の魂を進化させることはできない。気の遠くなるような長い時間をかけて少しずつ少しずつ魂を進化させていく――すべては「宇宙最高の意識」であられるシヴァ大神による深遠なご計画なのである。

1854円

●書籍案内

『滅亡の日』

聖書の秘儀中の秘儀といわれ、その難解さゆえに多くの議論の的になってきた『ヨハネの黙示録』。麻原彰晃尊師が、その謎を徹底的に解読。人類滅亡のシナリオの封印が解かれた。

1900円

●書籍案内

『滅亡から虚空へ
（続・滅亡の日）』

前書『滅亡の日』で明らかにされた大破局の後に来る新たなる闘いとは？

だれにも解けなかった予言書のすべてが、今初めて明らかにされる。〝ヨハネの黙示録〟衝撃の全貌！


# 第2章　“進化のふるい”ハルマゲドンの様相はこうだ！

## 核を超えた新兵器が飛び交う

人類を進化させるべく神々によって引き起こされるという天変地異やハルマゲドン――。いったい、どのようなものなのだろうか。天変地異に関してはすでに頻発してきた前例があるので、ここではハルマゲドンの予想される様相を見てみることにしよう。

ハルマゲドンにおいては、原子爆弾や水素爆弾、中性子爆弾等の核兵器が大量に使用されるものと予想されてきた。確かに核兵器は、広島や長崎の例からわかるように、高熱と爆風と放射能によって強大な威力を発揮する。それだけにアメリカや旧ソ連はその増強に努め、現在では地球人類を何回も全滅させられるだけの量が貯蔵されている。

というわけで、いかにもハルマゲドンの主力兵器であるかのように考えられてきたのだが、実際には核兵器ほど〝非実用的〟な兵器もないのだ。なぜかというと、戦争とは原則的に、相手国が持っている財産――例えば領土や食糧や工業・エネルギー施設等を確保し、自国のために利用することを目的として行なわれるもので

ある。しかし、だ。核兵器はそれには全くお構いなく、すべてを焼き尽くし、破壊し尽くしてしまう。しかも、核兵器が使用された地域は放射能で汚染されてしまうので、長期間人間が住めなくなる。その上、地球環境を大幅に破壊するので、長期的には自国にも損害を与えかねない。よって核兵器は、滅多なことでは使えない非実用的兵器というわけなのである。

そこで、アメリカと旧ソ連は、もっと気軽に使える実用的な兵器の開発に力を注いできた。つまり核兵器のような強いパワーを持ちながらも、入手したい施設や物質を傷つけず敵の人間だけを殺すことができ、しかも放射能のような毒素を残さない新兵器の開発を秘密裏に行なってきたのだ。

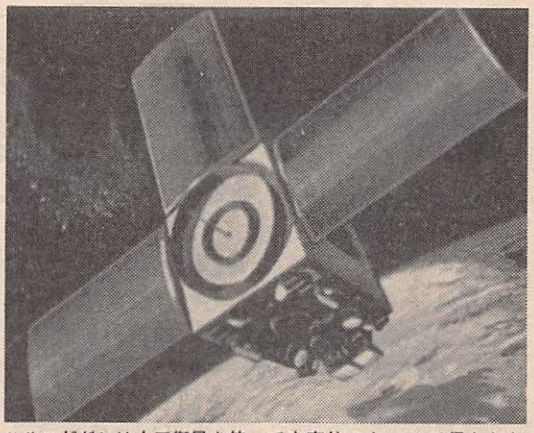
そして近年、いよいよこれらが完成し、一部は実験にまで成功しているのだ。これらの新兵器が核兵器に代わってハルマゲドンの主力兵器となるのは間違いない。では、どんな新兵器なのだろうか。

## 人間だけを蒸発させる恐怖のプラズマ砲

まず第一に、アメリカが極秘裏に開発に成功した「プラズマ砲」。これは、複数の強力なマイクロ波を照射して一点に交差させ、そこに発生した数千度にも及ぶ超高熱のプラズマを使って、敵を全滅させるというものである。プラズマとは強力な宇宙線や電波などが空間の一点で交差した所に発生するもので、超高熱で電離状態（原子の原子核と電子が遊離した不安定な状態）をしている気体のことだ。

恐るべきことに、照射したマイクロ波を、地球を周回している人工衛星に中継させれば、地上や地下、水中、空中を問わず、好きな所に超高熱のプラズマを発生させることができる。そして目標箇所にいる人間を骨も残さずに数分以内に蒸発させることができるのだ。しかも、周波数の調節如何によっては、周辺の物質施設には何ら損害を与えなくてもすむという特徴を持っている。

「どういうことだ？」と疑問を感じるかもしれないが、要は、超大がかりな電子レンジのようなものだ。電子レンジは食べ物を包んだサランラップを溶かすことなく、中身の食べ物だけを加熱する。原理は同じだ。プラズマ砲は建物を焼くことなく、内部の人間だけをプラズマで加熱し、蒸発させてしまうことができるのである。



ハルマゲドンは人工衛星を使って宇宙的スケールで行なわれる。ＳＦの世界が今や現実となっている

よって、この兵器をもってすれば、たとえ地球の裏側の地中深くに隠れた人間でも簡単に消滅させることが可能となる。兵力を派遣する必要もないし、必要な施設を破壊することもないし、放射能も残さない。また、自国に突入してきた敵国のあらゆる兵器（核ミサイルや爆撃機等）をも容易に迎え撃つことができる。実に〝便利で扱いやすい〟究極の兵器だといえる。

実はこの兵器、すでにバングラデシュでの実験を経て（台風の襲来に紛れて強行され成功したという）、湾岸戦争で実戦に使用されたとの情報がある。この戦争でのイラク側の死者は10万人と発表されているが、実際には8000人の死体しか確認されていない。残り92000人は――そう、プラズマ砲で蒸発してしまったというのだ。

そして、この究極の新兵器がハルマゲドンで火を噴くことは間違いない。事実、麻原尊師は、「恐ろしい開発と改良が続けられた、高性能のＳＤＩ兵器が、地球の破壊に拍車をかけることになる」と予言されているではないか。プラズマ砲は、ＳＤＩ計画の一環として開発された兵器なのである（人工衛星を用いるから）。

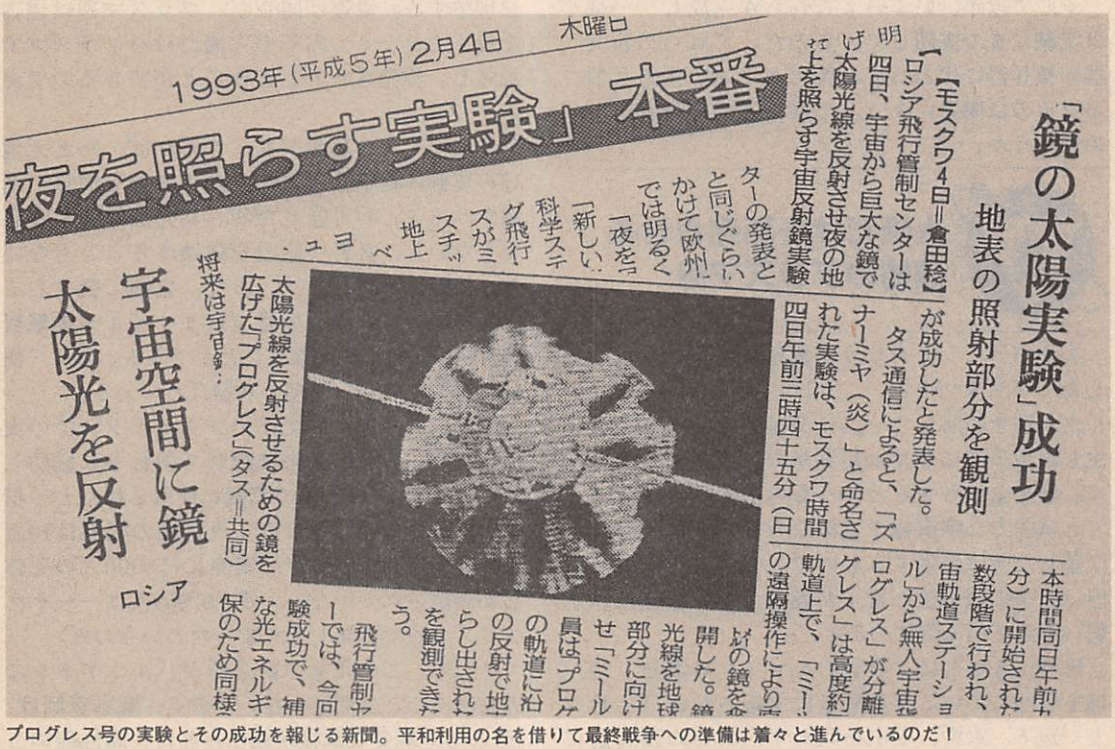
しかも、ある研究家は「プラズマ砲の目標焦点として真っ先に日本が狙われている」という。先の尊師の予言を併せて考えると、日本がプラズマ砲の格好の餌食にされるような気がしてならない。

## 巨大な虫メガネ ——恒星反射砲

それに対抗してロシア側が開発を進めているのが「恒星反射砲」である。これは、宇宙空間に打ち上げた大きさ3kmの巨大な凹面鏡に太陽エネルギーを反射させ、地上の目標に焦点を結ぶというものである。原理は、理科の実験でよく行なわれる虫メガネの集光実験と同じ。プラズマ砲が巨大な電子レンジだとするならば、こちらは巨大な虫メガネというところだ。

「そんなことが可能なのか？」と言われるかもしれないが、現に今年の2月には、ロシアの宇宙貨物船プログレス号に取り付けられた巨大な鏡に、太陽光をはね返して夜明け前のヨーロッパを照らすという実験が行なわれ、成功を収めている。もっとも、表向きには「夜の長い北極地方に明かりを届けて電気代を節約するための実験」と宣伝されているが、その本心は明らかに兵器としての使用にあるのだ。

これが兵器として完成し使用されれば、地上が猛火に包まれることは疑いない。恒星反射砲は、地上の目標をすべて焼き払ってしまうという点でプラズマ砲には劣る面があるものの、遠路はるばる兵力を派遣せずに莫大な破壊力を行使でき、しかも放射能を残す心配がないとだけあって、プラズマ砲と並んでハルマゲドンの主力兵器となることが予想される。



1993年(平成5年)2月4日　木曜日

夜を照らす実験」本番

「鏡の太陽実験」成功

地表の照射部分を観測

【モスクワ4日＝倉田稔】

ロシア飛行管制センターは明四日、宇宙から巨大な鏡で太陽光線を反射させ夜の地上を照らす宇宙反射鏡実験が成功したと発表した。

タス通信によると、「ズナーミヤ（炎）」と命名された実験は、モスクワ時間四日午前三時四十五分（日本時間同日午前九分）に開始され数段階で行われ、宇宙軌道ステーション」から無人宇宙船「プログレス」が分離「プログレス」は高度約軌道上で、「ミール」の遠隔操作により鏡の鏡を開した。鏡光線を地球部分に向けせ「ミール員は「プログの軌道に沿の反射で地らし出されを観測できう。

飛行管制センーでは、今回験成功で、補な光エネルギ保のため同様

ターの発表と同じぐらいかけて欧州では明るく「夜を「新しい科学ステグ飛行スがミスチッ地上ベ、ユヨ、

宇宙空間に鏡 太陽光を反射

ロシア

太陽光線を反射させるための鏡を広げた「プログレス」（タス＝共同）

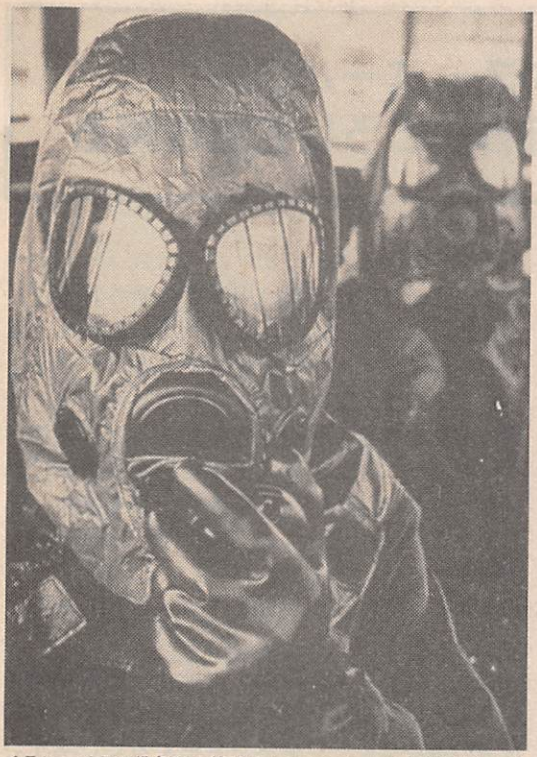
将来は宇宙…

プログレス号の実験とその成功を報じる新聞。平和利用の名を借りて最終戦争への準備は着々と進んでいるのだ！

## その他の新兵器 ——気化爆弾と陽子ビーム

新兵器開発はそれだけにとどまらない。例えばアメリカは「気化爆弾」という新式爆弾を生み出した。これは、内部に封入した液体燃料を空気中で一気に燃焼させて大気中の酸素を奪うことにより、地上の人間を窒息させてしまうという爆弾である。また、衝撃波によって物質にもダメージを与えることができる。これは戦域を汚染することなく人間を主目標にできるので、大戦で多く使用されることになるだろう。

さらに、「陽子ビーム」まで開発されている。これは電離した陽子を放出する兵器であり、大変なエネルギーを持っているのである。



イラン・イラク戦争でも使用されたといわれる化学兵器。バイオテクノロジーを駆使して悪魔のような兵器が続々と誕生している

## 伝統的な実用兵器——化学・生物兵器

以上に述べてきた他に、核兵器に代わる兵器として比較的過去から研究開発されてきたものに、化学兵器や生物兵器がある。

化学兵器とは、要は毒ガス兵器のことである。第一次大戦中ドイツ軍によって初使用されて以来、研究開発が進められてきた。一口に化学兵器といっても多種多様で、例えば皮膚組織を破壊する「びらん剤」、血液の酸素吸収・運搬能力を阻害して窒息させる「窒息ガス」「血液ガス」、神経機能を阻害する「神経ガス」等がある。中にはごく微量が呼吸器から吸入されたり皮膚に付着したりしただけで15分以内に死を招く猛毒のものがあり、ガスマスクだけではなく完全な防護服をまとわない限り危険である。

生物兵器とは、細菌兵器ともいわれ、ボツリヌス菌等の有害な細菌を散布して敵の人間を病気にしてしまうというものである。また、食糧生産地や家畜放牧地に散布して敵国を食糧難に陥れることもできる。バイオテクノロジーの発展によって近年開発が進んでいる。

化学兵器も生物兵器も、人間だけを殺傷して施設に被害を与えないという点で核兵器よりも使いやすい。しかも、広範囲に威力を及ぼすことができ、核兵器ほどには戦域に毒素を残留させない。その上、核兵器よりも安価に生産でき、生産に高い技術を要さず、大量生産できるとだけあって、世界各国で非常に〝人気〟があるのである。

## そして、進化した修行者が生き残る

鳥肌が立つような新兵器の数々……。ハルマゲドンでは、非実用的な核兵器に代わって、以上に見てきたような〝実用的〟な新兵器が猛威をふるうことになる。そして地上は、たちまちにして炎と毒素が渦巻く地獄と化す。麻原尊師が「日本の都市部の人口は10分の1に激減する」と予言されているように、大部分の〝普通の人〟は死んでしまうだろう。しかし、そんなさ中で、こうした惨害に耐えられる特異な形態に変異し、進化していく人種がいる。

それが、オウム真理教の修行者である——と予言されてきたわけだ。

確かにわたしたちは、古今東西の予言の解読によって、この事実を以前からすでに知っていた。だが、なぜオウム真理教の修行者が過酷な大戦下で生き残ることができるのか、その理由はわからなかった。「信じる者は救われる」式の曖昧な信仰とは違って、すべての面で合理的・科学的論証を求めるわたしたちオウム真理教の修行者としては、はっきりと説明できる理由を求めていた。

しかし、今回行なわれた実験や、これまでに行なわれた実験の結果を総合することによって、ようやくわかったのだ。その理由が——。オウム真理教の修行者がなぜ新兵器の飛び交うハルマゲドンを生き残ることができるのか、その理由が科学的に証明されたのである。

証明に基づいて、確信をもって言おう。オウム真理教の修行者は新兵器を跳ね返すことができる、そして生き残ることができるのだ——と。

# 第3章　新兵器を跳ね返すスーパーパワー
## ――オウム真理教修行者はこうして生き残る

「あんなにスゴイ新兵器を跳ね返すなんて本当か？」
と、疑念を持たれるのも当然だろう。

しかし、これまでの科学的実験結果は、それが「本当である」ことを物語っている。事実、新兵器で生じる瞬間的な熱やガンマ線や陽子の放射に対しては、こちらのエネルギーが強ければ跳ね返すことができるのだが、オウム真理教の修行者にはそれが可能なのである。

その詳細を、実験結果をもとに以下に述べよう。

### プラズマをもってプラズマを制す

まず、あの驚異のプラズマ砲に対する対抗法。これは一言でいうならば、プラズマを自らの身体から発することによって対抗できるのである。

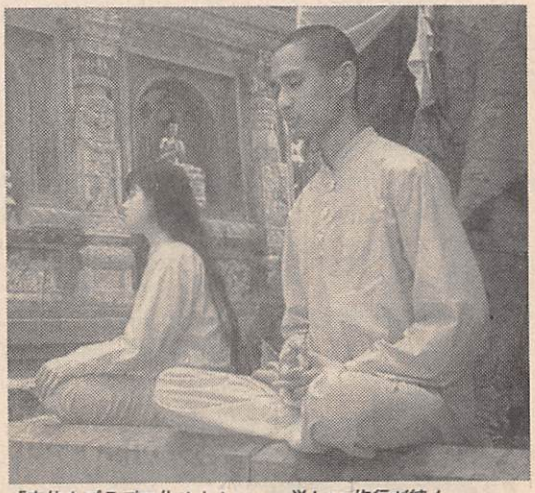
麻原尊師は今回のチャクラ実験の結果をもとに、次のようにおっしゃっている。

「わたしたちが生き残る道は一つしかないと。それはわたしたち自体が、この肉体においてプラズマを発生させることであると。もともと、オウム真理教の実験によってね、成就者が電場を発生することは明らかになっていると。この電場の発生というものは、プラズマの発生の前段階である。したがって、もう少し修行ステージを上げるならば、この肉体からプラズマが発生できると。というより、成就者の中では、静電場を発生させることはできると。これはプラズマといってもおかしくないと。そして、この状態でプラズマが照射された場合、その静電場の電場が増大するだけだから、この肉体は防御できるはずである。

したがって、わたしたちが必死に修行し、そして必死に瞑想し、わたしたちのエネルギーを増大させると。そして、このアージュニァー・チャクラの、イダー、ピンガラ、スシュムナーという三つのそれぞれの周波数の発されるマイクロ波の波が一致したとき、わたしたちは、自分の肉体でプラズマを発生することができるようになるんだよ。このときにわたしたちは、今回の第三次世界大戦から守られることは間違いないだろう。したがってあなた方がなさなければないことは、肉体を早く清め、心を清め、そして、このアージュニァー・チャクラを開発し、肉体をプラズマ化すると。」

さらに、尊師は、次のようにもおっしゃっている。

「まず、プラズマを発生する場合、それはマイクロ波という微細な周波数、ものすごく短い周波数の電波によって高熱が発生すると。実をいうと、これはわたしたちのチャクラにあるイダー、ピンガラの――例えばムーラダーラ、スヴァディスターナ、マニプーラと上がっていくわけだが、徐々に徐々に波長は短くなると。そして最終的にアージュニァー・チャクラに至ったとき、わたしたちはプラズマ現象を生じさせることができると。これは、静電気的な形で現われることが多い。



「肉体をプラズマ化せよ！」――厳しい修行が続く

このプラズマ化現象が生じたとき、わたしたちは外界からプロテクトされる要素が非常に強くなると。そして、外的なプラズマの影響が体に浸透するとき、逆にそれをエネルギーとして受け、そしてそれによってわたしたちは逆にエネルギッシュになることができる。」

オウム真理教の修行者がアージュニァー・チァクラから電場を発生できることは実験結果で見たとおりだが、実はこの電場とはプラズマの前段階なのだ。尊師によるとプラズマは、身体を貫く3本の霊的な管であるイダー、ピンガラ、スシュムナー（9ページ図3参照）を上昇してきたエネルギーがアージュニァー・チァクラに到達することによって生じる。その現象が、今回の実験で電気的に検知されたというわけだ。

確かに、これはオウム真理教の成就者でなければ不可能な話だ。なぜなら、修行をしていない一般の人は、この三つの管がカルマによって詰まっているので、エネルギーが流れない。ましてや上昇してアージュニァー・チァクラに至るなど絶対無理。しかし、オウム真理教の成就者は修行によって三つの管を浄化しているので、エネルギーが速やかに上昇し、プラズマを発生させることができるのだ。この事実は、修行ステージが高い人（＝カルマが浄化されている人）ほど発生する電場が強いという今回の実験結果が証明している（28ページ表1参照）。

なお興味深いことだが、プラズマを身体から発生させていると、プラズマ砲を受けることによってかえってエネルギーが強くなるという。攻撃を受ける度に強くなっていく——、オウム真理教の成就者にとっては、プラズマ砲は恐怖の殺人兵器ではなくて、エネルギーの補給源となってしまうのである。

第2次世界大戦のスケールをはるかに上回ることが予想されるハルマゲドン。アメリカが再び敵国となるというが……

なお、尊師の予言によると、ハルマゲドンで日本を攻撃するのはアメリカを中心とした連合国だという（麻原尊師著『麻原彰晃、戦慄の予言』〈オウム出版〉参照）。となると、日本に対してはプラズマ砲が用いられると考えられ、オウム真理教修行者が生き残っていくという予言の確かさが、ここに裏づけられているといえる。

## 人体プラズマ発生のメカニズム ——成就者は、エネルギーを昇華させる

「人体からプラズマ」というと何か突拍子もないことのように思えるが、それは宇宙や人体の構成要素を見れば理解できる。

麻原尊師は次のようにおっしゃっている。

「わたしたちのエネルギーの段階というものは、一般的にヨーガでは五大エレメントの段階として表現される。このエネルギーの段階は、地元素、水元素、火元素、風元素、空元素という段階でエネルギーが昇華されると。地元素というのは固体成分であると。で、水元素はその固体成分の運動範囲が広がった液体的な状態とそれから水蒸気的な状態を考えればよろしい。そして、その次に現われるのが火元素である。この火元素は明らかにプラズマ現象として表現することができる。

……（人体にプラズマが発生する）原因となっているのは、肉体を構成している肉体および食べ物だと思います。そしてそれが消化されて普通は排泄されるわけだが、その排泄されるはずのものが、徐々に徐々に排泄機能が停止に向かい、そして徐々に生命エネルギーとのミックスによって、固体的な要素が液体、気体的な要素に変わりそしてプラズマ化していくというわけなんだね。」

尊師はまた「高い意識状態になってはじめて元素も高い元素をコントロールできる」とおっしゃっているが、これは、修行ステージを上げることによって、人間の固体成分を昇華してプラズマ化させることができるということである。

なお、プラズマにエネルギーが加わって核融合を起こしている状態を風元素、核融合にさらにエネルギーが加わって純粋な光へと昇華した状態を空元素という。修行ステージを究めるとプラズマのみならず、光を発することができることになる。

## 高熱も平気 ── 感覚捨断した修行者だからこそ

プラズマ砲をクリアしても、まだ安心はできない。恒星反射砲や核兵器が発する高熱がわたしたちを待っている。しかし、オウム真理教の成就者にとって熱は何でもない。

麻原尊師はこうおっしゃっている。

「例えば、最も新しい実験では、50℃のお湯に成就者と非成就者が手を突っ込んでみると、心拍数および呼吸の回数に完璧な開きがあったと。これは何を意味するかというと、この50℃のお湯に対する、つまり刺激に対する心の働きが成就者と非成就者では違うんだということを表わしている。」

これは、成就者が意識を感覚から切り離す感覚捨断の修行を行なっていることを示しているが、この修行によって、通常人ならば火傷してしまうような高熱にも耐えられる身体を形成することができる。現に、成就者の場合、50℃の湯に15分つかっても全く火傷をしないことが実験の結果明らかになっている。成就者は、プラーナという宇宙エネルギー（空気中に見える光の粒）に満ちており、それによって身体を防護しているので可能になるのだ。

もちろん、新兵器の熱はこんな温度ではないが、実験の初歩段階ですでに人間を超える結果が出ているのであるから、被験者の修行がさらに進めば現在では全く予想のできないほどの高熱に耐えられる可能性がある。しかも、新兵器の熱は瞬間的なものなので、身体からそれ以上に強いエネルギーを発すれば、十分対処することができるのだ。

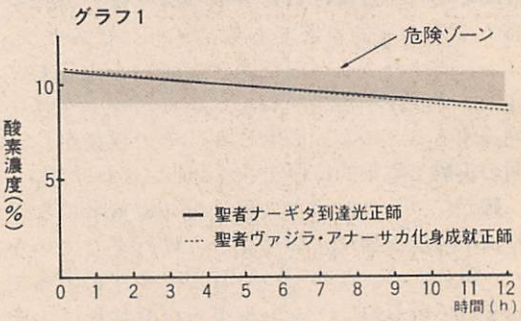
## 気化爆弾に対抗 ──酸素が少なくても大丈夫

さらに、大気中の酸素を奪って人間を窒息させるという気化爆弾。これにも、オウム真理教の成就者ならば耐えられる。まずは、グラフ１、２を見ていただきたい。この二人の成就者は、通常人ならば死に至るはずの低酸素状態で、半日以上も平然と生きていたのだ。

聖者ナーギタ到達光正師

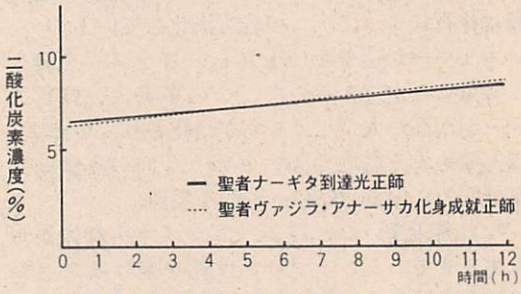
聖者ヴァジラ・アナーサカ化身成就正師

グラフ１




サマディ終了前12時間のチェンバー内の酸素濃度変化

グラフ２




サマディ終了前12時間のチェンバー内の二酸化炭素濃度

酸素濃度とそれに伴う症状

| 空気中の酸素濃度（%） | 症　　状 |
|---|---|
| 18.5 | 頭痛、不安、呼吸、脈拍増 |
| 16.1 | 視力障害、意識混濁、吐き気 |
| 13.9 | 筋けいれん、墜落、呼吸困難 |
| 11.5 | 顔面蒼白、意識不明 |
| 9.2 | 昏睡、8分で死亡 |
| 6.9 | 呼吸停止、即死 |

このデータは、二人が、地中に埋められ外気の流入を捨断された体積7.3m3のステンレス製の瞑想室（チェンバー）の中で、５日間にわたって瞑想修行を行なった際のものである。常人ならば、この限られた空間の酸素量では、５日目

1200円

●書籍案内

『麻原彰晃のザ・サマディ』

サマディ——それは真の解脱者のみが行ない得る奇跡。彼らが深い瞑想状態に入るとき、呼吸は完全に停止する。生死を超えた瞬間、彼らの見た世界とは？ 麻原彰晃尊師が現代の神秘「サマディ」のすべてを明かす


までには確実に死を迎えてしまう。しかし、サマディという究極の瞑想状態に入った成就者の場合、呼吸は停止、もしくは常人とは比較にならないほど浅くなるので、5日間を生き抜くことができる。それだけでも奇跡的だが、それにもましてこの低酸素状態を生き抜いた二人について、林郁夫医師は次のようにコメントしている。

「意識不明から死に至ってもおかしくない酸素濃度が10%という厳しい状況で、全く影響されなかったということは驚異です。まさに、成就の賜物としかいいようがありません——。」

麻原尊師は、この現象について、

「これは煩悩の減少を意味する。この煩悩の減少にともなって各部分での不必要な生体反応がやみ、それによってガス交換、つまり酸素と二酸化炭素の交換が減少するものと思われる。特に貪りの減少がこういう現象を生み出すのだろう。」

とおっしゃっている。

成就者だからこそ可能な低酸素状態での生存……。気化爆弾での低酸素状態は瞬間的なものであるはずだから、オウム真理教の成就者が気化爆弾の猛攻下で生き残れることは間違いない。

## 化学兵器・生物兵器もまるで無力

さらに、化学兵器や生物兵器も、オウム真理教の成就者の前には無力さを露呈するだけである。

すでに述べたように、化学兵器に用いられる毒ガスは、皮膚から浸透することによって、あるいは呼吸器を通して体内に入ることによって、害を与える。しかし、成就者の場合、身体の周囲にプラーナを張り巡らせることによって、皮膚からの浸透を防ぐことができるのだ。現に、弟子の証言によると、麻原尊師にはこんな例がある。

「86年夏の修行セミナーのことです。小雨の降りしきる中、尊師はわたしたちが修行を行なっている広場にいらっしゃり、お話をされました。わたしたちはずぶ濡れでしたが、尊師は傘もささずに小雨に打たれていたにもかかわらず、全く雨には濡れません。もちろん服も濡れず、まるでバリアーで守られているかのようでした。わたしたちは非常に驚きました。そして雨が激しく降り始めると、さすがに尊師のお体もわずかに濡れ始めました。しかし、部屋に戻ると一瞬のうちに乾いてしまうのです。後でお聞きしたところによると、この神通力は『気』の力により体の周囲の雨を跳ね返してしまうものであるということです。」（『神通力』〈オウム出版〉より）

『気』とは、生命活動を促すエネルギーのことである。オウム真理教の修行者は、この気を鍛錬する訓練も行なっているが、修行が進むと尊師のように雨をもはじき返せるようになるわけだ。化学兵器に用いられている毒ガスは、霧状にして目標地域に散布されるものなので、気の力で簡単に跳ね返せることはいうまでもない。さらに、呼吸器を通じて体内に侵入するタイプの毒ガスに関しても恐れることはない。なぜなら、サマディに入れば呼吸が停止するのだから。もし万が一毒ガスを吸い込んだとしても、成就者の場合、体内で高熱を発生させる「トゥモ」といわれる現象を起こし、毒素を分解・昇華してしまうことができる。これについても麻原尊師には前例があり、科学的に確認されているのだ。

88年5月、麻原尊師は、周囲を水で巡らして外気の流入を遮断した瞑想室でサマディに入ると

567円

●書籍案内

『神通力』

すべての魂の救済のための神通力とは？ 最終解脱者、麻原彰晃尊師の縦横無尽の神通力を弟子たちが徹底追求する。

88年3月に行なわれた水中エアータイト・サマディにおいて、トルエン、ノルマルヘキサンといった有毒ガスが麻原尊師の入られていた瞑想室内に発生した。しかし、尊師はトゥモの技法によって有毒ガスを体内で燃焼させ、最終解脱者の超人性を示された

いう実験を行なわれた。ところが、このとき不慮の事故で瞑想室内から有毒ガスが発生。本来ならば心身に重大な支障をきたすガス量の中で、尊師は瞑想を続けられたのである。内部に設置された計器による測定の結果、麻原尊師が内部で瞑想されている間は、ガス量は一定値を示していたが、瞑想を終えられ外部に出られるやいなや、ガス量はみるみるうちに上昇した。これは、麻原尊師が瞑想室内で有毒ガスを体内に取りこんで燃やし、昇華していたことを示している。

尊師は瞑想後次のようにおっしゃっている。

「毒ガスのエネルギーをトゥモのエネルギーに変えて昇華していたのは事実だね。ガンガン熱のエネルギーを上げていたね。……トゥモにしていたのは事実だよ。だから言っているんだよ、成就者は死なないと。毒では。つまり、どういうことかというと、毒の種類によっては体を熱するよね。それに対してトゥモをやったわけだよ。普通は肝臓に引っかかるから、肝臓に集中してボーッと上げてしまうとかね。凡夫（修行をしていない人）だったら、あの水槽内の毒ガスの成分が増えていって死んでいるよ。保証できるね。そういうものなんだよ、成就者というのは。異常に強くなるというかね。」（『マハーヤーナ11』〈オウム出版〉より）

化学兵器に用いられている毒ガスは、風に乗って拡散してしまうほど有効時間が一時的なものなので、成就者の力をもってすれば十分に対抗できる。

そして生物兵器に対しても、基本的に同じ原理で太刀打ちできる。生物兵器は人間に有害な細菌をまき散らす兵器だが、体内に入ってきた細菌をトゥモで焼き尽くしてしまえばそれで済む。なお、オウム真理教では仏教・ヨーガ理論に基づいた画期的な医療を研究中だが、細菌病の治癒もその対象内である。今注目されているエイズ・ウイルスの場合、50℃の温度で30分加熱すれば死滅するので、それ以上に体温を高める可能性についての研究が課題に上がっており、究極的にはどんな有毒細菌も成就者の前には無毒となるだろう。

このように、オウム真理教の成就者にしてみれば、化学兵器も生物兵器もまるで敵ではなくなるのである。

## 簡単にはショック死しない

これまで見てきた新兵器のみならず、核兵器や通常兵器が相当なショック（衝撃）を人間に与えるという懸念もある。しかし、オウム真理教の成就者の場合は、常人よりもショックに対してはるかに強いので、ショック死するという心配がない。それを示す実験データを以下に上げよう。

この実験では、被験者に3分間横になった状態で安静にしてもらい、その後、大きなサイレンの音を鳴らしてショックを与え、この際の、心拍数の変化、発汗による皮膚抵抗の変化を心電計で測定した。これによって、ショックに対する強さと修行ステージの関係を測ろうというものである。

つまり、人間はショックを受けると「動悸が激しくなる」「汗をかく」といった反応を示す。そして、心が動揺しているときほど心拍数が多くなったり、発汗したりするということは生理学的にも常識であり、また実際に経験するところである。そこから、ショックを与えた後で心拍数、発汗による皮膚抵抗が平常に戻るまでの時間を具体的に測定することによって、ショックに対する強さを測ろうというものである。

被験者　クンダリニー・ヨーガ成就者7名
　　ラージャ・ヨーガ成就者6名
　　非成就者9名

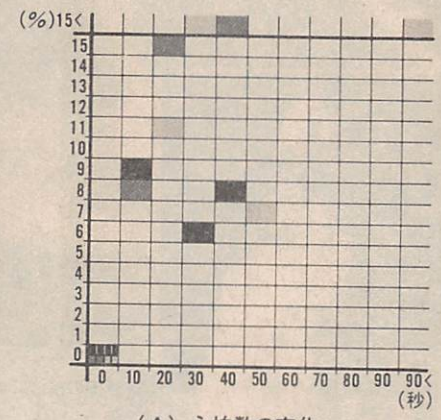
実験の結果は次のとおりであった。

心拍数の変化を示しているのが図(A)である。縦軸はショックが与えられる前後の心拍数の変化をパーセンテージで表わしたもので、横軸は心拍数が通常の状態に戻るまでの時間を表わす。ここで、■印はクンダリニー・ヨーガ成就者を表わし、■印はラージャ・ヨーガ成就者を表わし、　印は非成就者を表わしている。

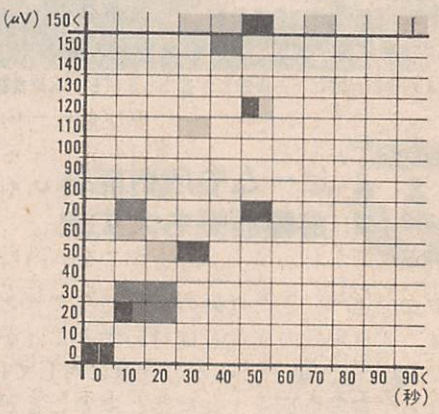
次に、図(B)に発汗による皮膚抵抗の変化を示す。縦軸は皮膚抵抗の変化による心電図の電圧変化を表わしている。横軸は皮膚抵抗が通常の状態に戻るまでの時間を表わす。

つまり、この図(A)、図(B)では、左下に位置するほど、心拍数の変化、皮膚抵抗の変化が少なく、ショック状態の継続時間も短いため、ショックに対して強いということができる。

実験の結果、図(A)、図(B)ともに、高いステージの成就者ほど左下に位置する傾向があり、ショックに対して強いことがわかる。これは、オウム真理教の成就者が、ハルマゲドン時に予想されるあらゆる衝撃に対して耐えられるだけの強さを持っており、容易にはショック死しないことを証明していることに他ならない。




（A）心拍数の変化




（B）皮膚抵抗の変化

■ クンダリニー・ヨーガ成就者
■ ラージャ・ヨーガ成就者
　 非成就者

（A）の縦軸はショックを与えられる前後の心拍数の変化（上にいくほど大きい）、横軸は心拍数が通常の状態に戻る時間を表わす。（B）の縦軸も、皮膚抵抗の変化による心電図の電圧変化、横軸は皮膚抵抗が通常の状態に戻るまでの時間を表わす。どちらも、グラフの左下に位置するほどショックに対して強く、右上に位置するほど弱いことになる。ステージの高い者ほど左下に位置する傾向を示している。

核を超えた最新兵器による攻撃もさることながら、水や食糧の問題も生じるという。果たしてわたしたちの運命は——

## ビームも放射能も、食糧危機も大丈夫

これまで述べてきた以外の極限的パターンにも、オウム真理教の成就者は対応することができる。例えば、陽子ビームの攻撃に対しては、例によって電場を形成すれば跳ね返すことができる。核兵器の放射能に対しては、肉体を風元素化、つまり化身の体験が自由にできるレベルに達すればほとんど影響を受けない。

さらに、兵器による直接的な危険ではないが、ハルマゲドン時に懸念される弊害として、食糧不足が挙げられる。確かに、たとえ生き残っても食物が不足すれば、飢え死にを待つのみだ。事実、あの大予言者ノストラダムスも、大戦によって日本は大量の血を流すだけではなく、食糧危機が生じ、水もなくなると予言しているのである。

しかし、オウム真理教の成就者の場合、食糧不足についても全く心配無用なのだ。先程述べた、地中に埋められた瞑想室での瞑想修行においては修行者は5日5晩飲まず食わずで過ごすのだが、これに象徴されるように、修行者は修行が進んでくると、代謝が低下し食物を必要としない体になるのである。これは煩悩が落ちてくるから起きる現象だが、要は〝プラーナ（「宇宙エネルギー」を吸収するエネルギー）〟によって生きていけるようになるのだ。

仏典には、この人間界より高い世界の神々は、食物などという粗雑なものは取らず、プラーナによって生きていると記されているが、修行が進むと、意識はこの人間界レベルを抜け出し、神々となっていくわけであるから、当然といえば当然といえよう。

## 成就せよ！
## ――生き残るための唯一の道

どうであろうか。ハルマゲドンで想定されるあらゆる衝撃を乗り越えられるオウム真理教の成就者……。なぜオウム真理教成就者がこの過酷な大戦を生き残ることができるのか、その合理的・科学的な理由が皆さんにもおわかりになったことだと思う。まだまだ、実験途上であり、かつ修行者も修行の途上なので、今後の実験と修行の進展次第では、さらに衝撃的な修行者の超人ぶりが明らかになっていくことだろう。

わたしたち自身も、今回の実験結果によっていっそう確信を深めた。そう、わたしたちが、神による進化の〝ふるい〟にかけられて選ばれる魂であること、つまり、破局を生き残るために変異して進化を成し遂げ、その後に新たな理想社会を建設していく予言された魂であることを――。

もちろん、あなた自身がハルマゲドンを生き残る進化する魂になるか、ならないかは、あなたの選択次第である。神は、人類に厳しい試練を与えるとともに、進化への道をも示してくださっているのだから。オウム真理教という媒体を用いて……。

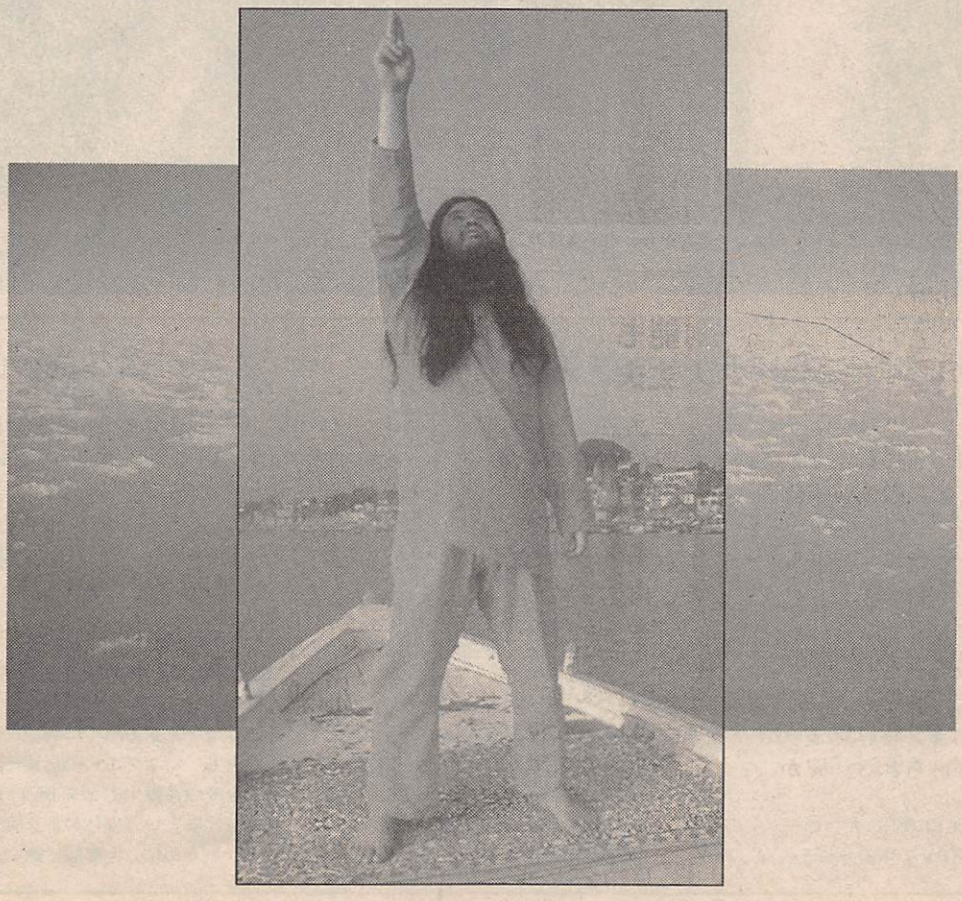
最後に麻原尊師からあなたへのメッセージをご紹介しよう。

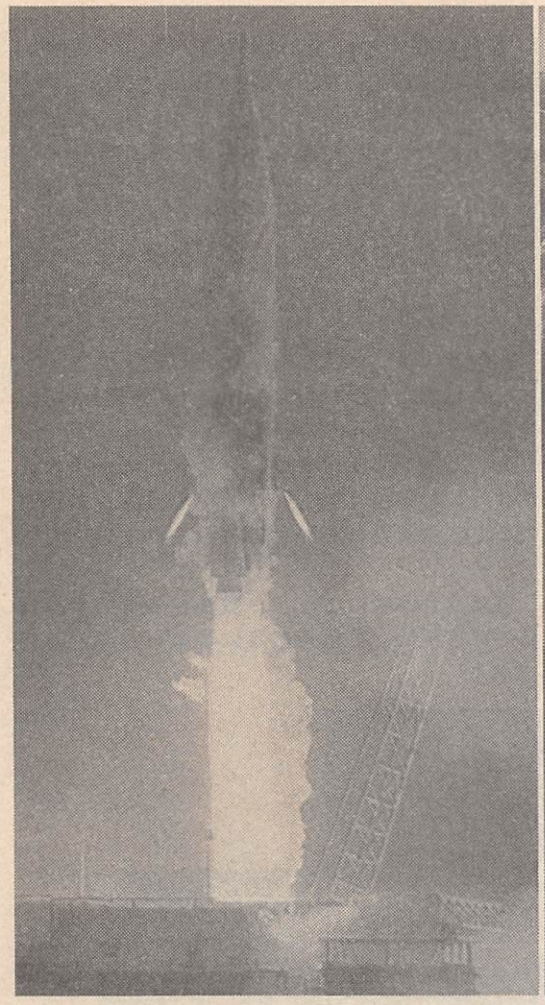
「成就せよ！

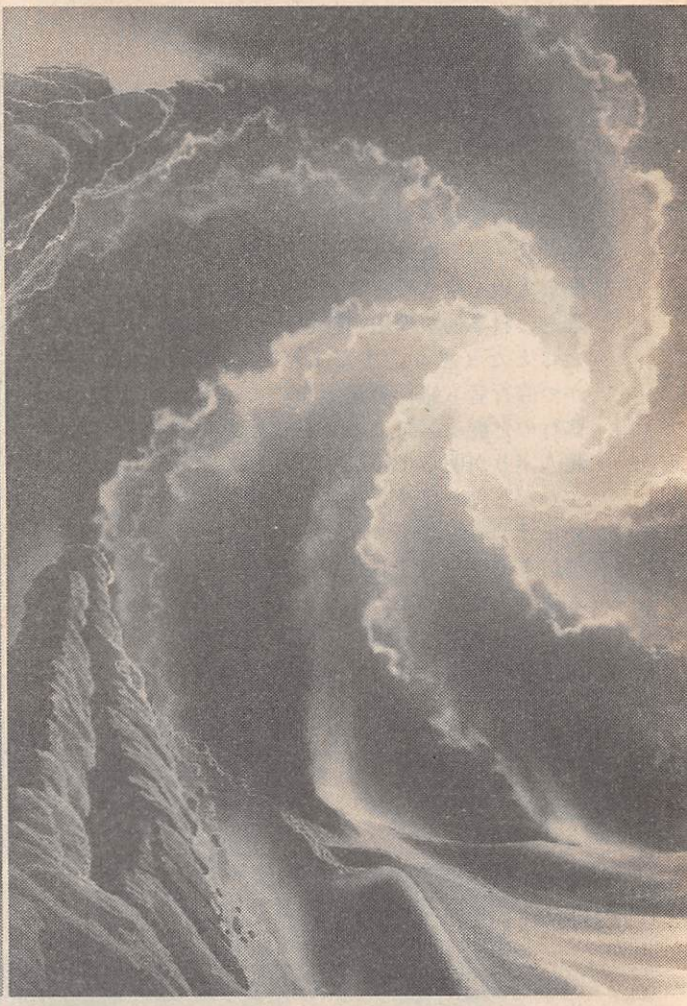
それは君たちがハルマゲドン（人類最終戦争）を超越するただ一つの道だ。

わたしは美辞麗句は嫌いである。だから、このようにしか言えない。〝救済される者は救済されるし、救済されない者は救済されないのだ〟と。

救済される者になるか、救済されない者になるかの選択は、君たち自身に委ねられているのである――。」







## ショックに強いオウム真理教の修行者　——滅多なことでは死にません！

53ページの実験データからもわかるとおり、成就者と非成就者を比べると、外的刺激による心拍に対する影響、発汗に対する影響が著しく違う。これはショックを受けたときのショック死防止に役立つことを裏づけている。オウム真理教の出家修行者が大事故を起こしてもかすり傷一つ負わないなどというケースが多いのも、このショックに対する強さによって守られているものと考えられる。次に実例を紹介しよう。

◎針治療の際にオペレーターのミスで、200Vの電流が頭を直撃したが、何でもなかった（導師）。
◎事故で指を切断しても、あまり痛みを感じなかった（クンダリニー・ヨーガの成就者）。
◎1500Vの電流が体に流れても、その部分が少し焦げただけですんだ（ラージャ・ヨーガの成就者）。
◎車が大破し、助手席は人のいるスペースがないほどにつぶれた。しかし、そこにいた人は、ポケットや靴の中にガラスの破片がたくさん入っていたにもかかわらず、かすり傷一つなかった（クンダリニー・ヨーガの成就者）。なお、成就していない同乗者はあちこちケガをしていた。
◎玉突事故に遭遇。車は大破したがかすり傷一つなかった（クンダリニー・ヨーガの成就者）。

また、このショックに対する強さというのは、たとえ成就していなくても、イニシエーション（エネルギー移入を含む秘儀伝授）と、神とグル（霊的指導者）に対する強い帰依、布施、奉仕によっても大きく変化するというデータも出ている。次に示す成就していない二人の出家修行者は、車での移動中も蓮華座を組み、瞑想をするという帰依の形を取り続けていたために、大事故に遭いなが

らもかすり傷で助かっているのである。

◎出家修行者Ｔ君の例

Ｔ君は富士方面から東京へ向かう間も寸暇を惜しんで修行しようと、車の後部座席で蓮華座を組み、瞑想していた。このとき、急ブレーキによって車が大きくスピン、水銀灯に激突して車は大破。しかし、Ｔ君は同乗者が鎖骨・肋骨の骨折、脾臓破裂、肺気胸という重傷を負ったにもかかわらず、グルのエネルギーに守られ、裂傷・捻挫程度の軽傷ですんだ。

◎出家修行者Ｆ君の例

トンネルの中で乗っていたトラックが横転、積み荷が揮発性の化学物質であったため、トンネル内はあっという間に炎の海と化した。

Ｆ君は、事故の起こる数十分前から、蓮華座を組み、尊師を観想しながらマントラを唱えていた。そして、事故の瞬間、蓮華座を組んだままフロントガラスを突き破って車外へ吹っ飛ばされたにもかかわらず、１週間程度の軽傷。

ちなみに同乗のラージャ・ヨーガの成就者は無傷。マントラを唱えていたＡさんは左手に軽い火傷。しかし、何もしていなかったＨさんは両手、両足の火傷で全治までに相当の大火傷のため、皮が布のようにはがれ、もう命はないといわれた。しかし、尊師がオウム真理教附属医院の医師をＴさんの入院先に派遣し、イニシエーションを渡すとともに、遠隔のエンパワーメント（エネルギー移入）を行なったため、奇跡的に助かっている。

このように真理の実践者は、科学的には証明しきれない不思議な力によっても、その身を守られるものなのである。ハルマゲドンでも修行者たちの身に同様のことが起こるのであろう。

PART5

# チャクラを開発せよ！人間を超え、そして神となるために——

## 第1章　覚醒へのステップ

### 今こそ神秘の扉を開け！

「様々な才能が開花し、すべてが思いのままになる」
「高い精神性を獲得し、あらゆる超能力が身につく」
「ハルマゲドンを生き残り、新しい人類となる」
——これまで見てきたように、神秘の輪〝チャクラ〟を開発することによって、わたしたちは確実に人間を超えることができる。言葉を換えていうならば、それは「神になる」ということだ。

差し迫る人類未曾有の危機を乗り越えるために、そして、生命の進化の歴史に新しい種として登場するために、わたしたちは自己の中に眠っているチャクラを目覚めさせ、神とならなければならないのだ。

今あなたの目の前には一つの扉がある。その扉の奥には、これまで秘儀として隠されてきた人類の秘法が眠っている。そして何にもまして重要なことは、今あなた自身が、その扉の鍵を手にしているということだ。今こそ、その鍵を使うときである。その時期が到来したのだ！

このチャンスを逃す法はない。なぜなら、間近に迫る大破局を思うならば、これがあなたに与えられた最後のチャンスかもしれないのだから。

では早速、あなたが手にしている鍵を使って神秘の扉を開け、チャクラを開発するための秘法を手に入れようではないか——。

## チャクラ開発は クンダリニーの覚醒から

チャクラを開発するには——それについては第1章でも触れたが、ここでもう一度説明しよう。

まず、わたしたちが第一にしなければならないこと、それはクンダリニーを覚醒させるということである。クンダリニーとは、尾てい骨に眠る霊的なエネルギーのことだ。そして、このクンダリニーが背骨に沿って存在するスシュムナー管を上昇していくと、その道筋にあるチャクラが次々と開発されていくということになるのである。

ところで、一口にクンダリニーを覚醒させるとはいっても、実はこれが大変なことなのだ。詳しくは『理想社会10「神秘のスーパーエネルギー〝クンダリニー〟を覚醒させよ!!」』（オウム出版）を見てもらいたいが、本場インドでも、一生懸命修行しても覚醒に至るまでに少なくとも5年はかかるとされているし、一生かけても覚醒しないことの方が多いのである。

事実、『クンダリニー』という著書で有名なゴーピ・クリシュナも、17年間にもわたる瞑想修行によってやっとクンダリニーが覚醒しているし、また、リシケシに住むシヴァナンダ・アシュラムの最高実力者スワミ・クリシュナナンダは、地元で第一の聖者といわれているほどの修行者であるが、彼でさえも、

「わたしは、クンダリニーの経験がないからわからない。」

と言っている有り様である。

本場インドでも、クンダリニーを覚醒させるのは非常に困難である

## 危険が伴う クンダリニーの覚醒

困難なだけではない。クンダリニー覚醒には大変な危険も伴うのだ。

クンダリニーのパワーは極めて強烈である。よって、心身の準備が不十分な状態で覚醒したとしたら、その強烈なエネルギーをコントロールすることができず、廃人になったり、果ては死に至ったりすることもあるのである。これは決して誇張ではない。

前述のゴーピ・クリシュナも、クンダリニーのエネルギーに振り回され、精神も肉体もボロボロの状態となり、恐怖と絶望を抱えながら苦しい日々を送ったことをその著書の中で述べている。

ここであなたは言うだろう。

「せっかくチャクラを開発しようと思っているのに、これではどうしようもないではないか。」

と。

ゴーピ・クリシュナ、彼もクンダリニーのエネルギーに振り回された一人だ

確かにクンダリニーを覚醒させてチャクラを開発するのは困難であり、危険である。だが、すべてを知り尽くした霊的指導者と完璧な修行体系があれば、そんなに

1000円

●書籍案内

『理想社会』10

「これであなたも超人になれる 神秘のスーパーエネルギー〝クンダリニー〟を覚醒させよ!」

神秘のエネルギー〝クンダリニー〟とは？ ハルマゲドンを越え、歴史に登場する新人類。それはクンダリニーを覚醒させたあなただ！

難しくなくクンダリニーを覚醒させ、チャクラを開発することができるのである。そして、オウム真理教には、その「すべてを知り尽くした指導者（麻原尊師のことであることはいうまでもない）」も、「完璧な修行法」も存在しているのだ。

事実、これまで見てきたように、オウム真理教には出家した修行者や在家の修行者を問わず、チャクラを開発して超人的な力を発揮している人が数多くいる。それは最終解脱を果たされた麻原尊師による、直接的あるいは間接的な指導のもとに培われた力なのだ。決してそれらの人たちは、もともと特別な才能を持った人たちだというわけではない。そのほとんどは、オウム真理教に巡り合い、麻原尊師の教えに触れるまでは、わたしたちと同じようにごく平凡な生き方をしてきた人たちなのである。

「普通の人」から「超人」へ。確かな修行が奇跡をもたらすのだ

さて、それではオウム真理教にある修行法とはどんなものであろうか。クンダリニーを安全に、かつ速やかに覚醒させ、チャクラを開発する修行法とは？

次章では、その実態に迫ってみたいと思う。

# 第2章　エンパワーメントの驚異

## イニシエーション ——霊性を高めよ！

安全かつ速やかにクンダリニーを覚醒させ、チャクラを開発してしまうというオウム真理教の修行法。果たして、それはどのようなものなのだろうか。

まずその一つに挙げられるのが、アーサナ（体位法）や呼吸法を中心とした修行法である。これは、毎日2〜3時間の修行を数カ月行なうことによって確実にクンダリニーが覚醒するという素晴らしいものだ。先程述べたように、一生かかっても覚醒しないかもしれないといわれるクンダリニーが、わずか数カ月間の修行によって覚醒するのだから、驚くべきことであろう。

非常に残念だが、紙面の都合上そのすべてを詳細に説明することは不可能である。これについては、『超能力秘密の開発法（新・増補改訂版）』『生死を超える』（ともにオウム出版）などでも詳しく説明しているので、ぜひともご覧いただきたい。

ところで、これと並行して、オウム真理教には他に類を見ない素晴らしいものがある。それを受けることによって、クンダリニーの覚醒はおろか、確実に霊性は高まり、驚くほど速やかに修行が進むのだ。それが——そう、イニシエーションといわれるものなのである。

## グルの力 ——エンパワーメント

イニシエーションとは、グルのエンパワーメント（エネルギー移入）を含めた秘儀伝授のことである。

エンパワーメントについて少し詳しくいうならば、霊的な指導者であるグルが、弟子の修行を進めるために、厳しい修行によって自ら培った神聖なエネルギーを与えることをいう。それによって弟子は、自分一人では到達できないよ

うな高い境地にいざなわれ、霊的に、そして精神的に飛躍的に進化を遂げることができるのである。

オウム真理教の数あるエンパワーメントの中から、そのいくつかをご紹介しよう。

## 神の印 ——シャクティーパット

オウム真理教には多くのイニシエーションがあり、それによってグルからのエンパワーメントを受けることができるのだが、中でも〝最高の部類に属するもの〟として君臨するのが、このシャクティーパットである。これは、解脱者が相手の眉間に直接触れ、そこからエネルギーをエンパワーメントするというイニシエーションで、これを受けてダイナミックな霊的体験をした人は枚挙に暇がないほどである。

このシャクティーパットを受けた体験談に耳を傾けてもらいたい。

聖者ヤソーダラー最上善逝のシャクティーパット。安全に、そして確実にクンダリニーを覚醒させる

## シャクティーパットがもたらした神秘の数々

### ◇クンダリニーが覚醒

聖者ミラレパ供養値魂

わたしがシャヴァアーサナの体位をとると、尊師はわたしの眉間に親指を当て、小刻みに動かし始めた。わたしは、それに合わせて、眉間に意識を集中した。

五分くらい経っただろうか。尾てい骨が微妙に振動し始め、むずむずした快感が背骨の上を走り抜けた。同時に体が上へ上へと抜け出すような妙な感じになり、意識が、今までより数センチ上から自分を見下ろしているのが認められた。そのうち、わたしの前では、フラッシュのような光がパッ、パッと何度も小さな爆発を繰り返した。尊師の、

「クンダリニーが昇ったよ。」

という声を聞いたときには、全身が至福感に包まれていた。

### ◇心臓の痛みが消えた！

聖者ウッパラヴァンナー供養値魂

わたしが初めてシャクティーパットを受けたときのことです。わたしは、高校生のころから、ときどき、心臓が痛み出すことがありました。心電図を撮っても異常は見つからな

●書籍案内

『超能力・秘密の開発法 新・増補大改定版』

超能力のつかない修行はニセモノだ！すべてが思いのままになる縦横無尽の神秘の力があなたのものに。驚異の神秘力を有する麻原尊師が秘密の修行を惜しみなく公開。

1260円

●書籍案内

『生死を超える・増補改定版』

苦しみからの解放——解脱と悟り。それは、人として手にすることができる最高の宝物。8年の歳月を経て修行の最終地点に到達された尊師の体験が、解脱への道程を克明に語りかける。

1800円

かったのですが、あまりにも痛みが激しいときなどは、病院で精密検査を受けようかと思っていたほどでした。しかし、心臓が悪いとわかってしまうと、社会生活に支障が出てしまうと懸念したわたしは、両親にも言えず、ずっと一人で悩んでいました。

しかし、シャクティーパットのとき、尊師は、わたしの額に親指を当てられた瞬間、こうおっしゃったのです。

「心臓が痛むことはないか？」

わたしは大変驚いてしまいました。だれにも話したことはなく、心電図に異常も見られなかったわたしの心臓の状態を、ただ指で触れられただけで、理解なさったからです。

そして、シャクティーパットが終わった後、尊師は、

「エネルギーの通る道をつくっておいたから、これからは痛むことはないと思います。」

とおっしゃいました。

そのお言葉どおり、わたしは、それ以後全く心臓の痛みを感じることはなくなりました。尊師が、わたしの自己保全の心の働きによるカルマを背負ってくださり、アナハタ・チャクラに詰まっていたカルマを取り除いてくださったのです。そして、わたしの長年の不安も解消されたのでした。

## ◇スムーズにクンダリニーが覚醒

マルパ・ロサ師

シャクティーパットの体験談ですが、1回目は、閉じている目の前が少し明るくなると同時に尾てい骨が温かくなり、背骨を虫がはって昇っているように感じました。

「クンダリニーが昇ったよ。ムーラダーラとアナハタとアージュニャーの3つのチャクラが開いたからね。ところで、アナハタが開いたので胸が痛くなるだろうから気をつけなさい。」

と、尊師は言われた。

そのとき、わたしは以前本を読んで知り得た知識で、クンダリニー覚醒が大変な苦痛を伴うものだと思っていたのに苦痛を感じないままだったので、半信半疑で帰途に着きました。

しかし、3日後の夜、寝ていたら尾てい骨がドクドク脈打ってきたのです。その脈打つ音が、だんだん大きくなり不安になってきました。しばらくその状態が続いたのですが。今度はかなりの痛みが尾てい骨を襲い、その痛みが背骨を伝わって頭の方へ昇っていくという体験をしました。それからときどき、胸と尾てい骨がチクチク痛むことがありました。

2回目のシャクティーパットは、いくつもの色の光が虹のように見え、その色を緑、オレンジなどとはっきり識別することができました。

## ◇アメリカ人も神秘体験

ガイ・セディタ

わたしは、シャクティーパットのエネルギー移入を受けるために、修行に打ち込んできました。そのイベント（勉強会）の前夜、尊師から自分がケイマ大師のシャクティーパットを受けるということを知らされました。

尊師もシャクティーパットの場にいらっしゃいました。わたしは強い快感を覚え、優しく包まれたような感覚に浸りました。

ブルーの光が見え出し、突然わたしは三昧に入りました（それは深い虚空でした）。

その状態かた戻ったとき、わたしはまるで次元を突き抜けたかのように感じ、また体が大変軽くなって、まるで300パウンドもの悪いエネルギーが体外に出たかのようでした。

起き上がった後、わたしは浄化されて強い透視能力が得られたように感じました。

聖者マハー・ケイマ最上善逝のシャクティーパットによって、強烈な神秘体験をしたガイさん

## グルヨーガ・イニシエーション

グルと合一することを目的とするこのグルヨーガ・イニシエーションは、シャクティーパットと同様に最高の秘儀に属するイニシエーションである。よって、非常に残念ではあるが、その内容をここで明かすことができないので、ご了承いただきたい。しかし、次の体験談を読めば、このイニシエーションのすごさがよくわかると思う。ぜひ自分で体験されることをお勧めしたい。

最高の秘儀の一つ——グルヨーガ・イニシエーション。麻原尊師のエンパワーメントが人を確実に変える！

## グルヨーガ・イニシエーションがあなたを変える！

### ◇ふわっと柔らかい光が

**クッジュ・タラー尊者**

最後、究竟の瞑想に入ってから、各チャクラ、特に三つのアナハタ・チャクラがしびれて、喉とアージュニャー・チャクラとサハスラーラが、内側の方で振動しているのを感じました。特にアナハタは三つが微妙に違う振動をしていました。また、究竟の瞑想のとき、目をつむっているとだんだん明るくなってきて、オレンジと金色の混ざったような色がずーっと見えて、それがふわっと柔らかくかかってきたんです。その間チカッチカッチカッと何回か光っていて、とても綺麗でした。

### ◇蓮華座が楽々

**藤本哲夫**

実は、つい先日もわたしはグルヨーガ・イニシエーションを受けさせていただきました。元来、地獄のカルマが強いらしく、蓮華座もなかなか組めないで苦労させられていますが、このエンパワーメントのときは自分のカルマを尊師にしょっていただいているのが本当によくわかるんですね。エネルギー移入していただいているとき尊師の足がびくびく動いて、おそらく激痛が走っているのだと思いますが……。

普段は蓮華座を組むのもひと苦労のわたしですが、こういうイニシエーションの直後には楽々蓮華座が組めるようになるんです。まさにカルマの交換の証明です。こんなわたしのカルマをしょって、そして導いてくださる尊師の慈愛に感謝しています。

### ◇これが他心通だ！

喰田和伸

これはグルヨーガ・イニシエーションを受けたときの話ですけど、二つほど面白い体験がありました。その一つ目は、これは近未来の予知なのか、それともいわゆる念力なのか……、そういう体験です。

せっかく最高に素晴らしいエンパワーメントを受けたのだからその効果も最大限に高めたいと考えたわたしは、エンパワーメントからまるまる2日間、アパートにこもって修行をしていました。それも、リトリート（個室）気分で押入れに閉じ込もってグルヨーガ・イニシエーションで伝授された瞑想をひたすら繰り返し行なっていたわけです。このときは食事を取ることも忘れていたくらい、熱心に修行していました。

その不思議な体験は、そんな生活を2日間続けた直後、オウム真理教の道場に顔を出したときに起こりました。そのとき道場にはアストラル音楽がかかっていたのですが、たまたまその音楽をかけていたカセットデッキに意識を集中した瞬間、何を考えたのか「カセットデッキにゴミが詰まって、モーターが止まって壊れてしまう」といった内容のことが頭に浮かびました。するとその次の瞬間、突然音楽が止まってしまい、本当にカセットデッキが壊れてしまったではありませんか。正直、びっくりさせられました。

もう一つは、確かその体験の翌日か翌々日のことだと思います。やはりオウム真理教の道場での話です。ある女性と話していたんですが、何やらかみ合わない。表現力に乏しい人で、また、たどたどしく話していたため相手の話がよくわからなかったのです。

そのとき突然、聞き覚えのある女性の声が頭の中に響きました。

「尊師心配しないでください。わたしに与えるエネルギーをどうぞ他の人に与えてください。わたしは大丈夫ですから……。」

確かに目の前で話しているその女性の声なのです。一瞬我が目を疑いましたが、相手に確かめてみると、頭の中に響いた声が彼女が言わんとしていたことであることがわかりました。

「他心通というのはこういうものか！」

気づいたとき心の中でこう叫んでいました。

## すべての土台
## ——五大エレメントのエンパワーメント

### 五大エレメントのエンパワーメント

五大エレメントというのは、人間を構成する五つのエレメント（元素）、つまり地元素・水元素・火元素・風元素・空元素のことをいう。人間を超え、高い世界を志向する修行者にとって、これらのエレメントを浄化・強化することは欠かすことのできないものなのである。この五大エレメントのエンパワーメントでは、麻原尊師がそれぞれのエレメントに対応するチャクラにエンパワーメントしてくださる。

このエンパワーメントは修行の土台といってもよいイニシエーションで、グルと弟子との霊的なパイプを太くするという意味では素晴らし

い効果を持つものなのである。さらに詳しいことは、『奇跡のエンパワーメント』（オウム出版）をご覧いただきたい。

## 五大エレメントのエンパワーメントの奇跡

### ◇エンパワーメントはこんなにすごい！

大西徹

初めて五大エレメントのエンパワーメントを受けたとき、その瞬間は正直いって何も変化がなかったんですよ。緊張しているうちにアッという間に終わっていたというか、ボーッとしてしまって特別感じるものなど何もありませんでした。

ところが、それから1日、2日経ってからが大変だったんです。頭頂が冷たくなってサーッとエネルギーが落ちてくる感じがして、マントラを唱えていると水の中でグラグラ揺れているようなそんな感じが続くんです。これまでイニシエーションはいろいろ受けましたけど、尊師直接のエンパワーメントがこんなにすごいとは……。

### ◇ダルドリー・シッディが起こった！

斎藤晴敏

この五大エレメントのエンパワーメントを受けてそのまま道場での修行に参加したところ、ヴァヤヴィヤ・クンバカ・プラーナーヤーマを行じているといきなり身体が跳ね出すんですよ。ダルドリー・シッディですよ。

「クンダリニーが覚醒したじゃないか。」

と周りからいわれたときには、うれしくてもうジーンときました。それまでは「ダルドリー・シッディなんて本当かな」と思ってたんですが、自分で体験することで確信しましたね。

## 霊性を飛躍的に高める秘儀瞑想——小乗のツァンダリー

さて、これまではグルによる直接のエンパワーメントを見てきたが、特殊な瞑想によってチャクラが開発されたり、様々な神秘体験をする例がたくさんあるので、ここにご紹介したい。

その特殊な瞑想とは、「小乗のツァンダリー」のことである。オウム真理教には多くの解脱者が存在する。そのステージは様々だが、特にクンダリニー・ヨーガの成就者のほとんどは、この「小乗のツァンダリー」の瞑想に習熟し、それによってチャクラを浄化し、煩悩を超え、そして成就へと至っているといってもいい。それほどこの瞑想は、素晴らしい効果を持っているのである。

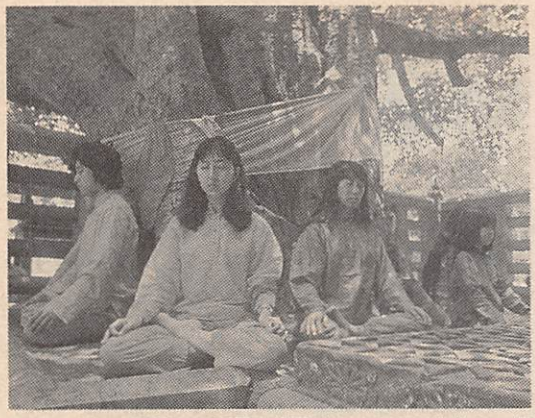
秘儀であるから詳しい内容を説明するわけにはいかないが、簡単にいうならば、瞑想のポイ

550円

●書籍案内

『奇跡のエンパワーメント』

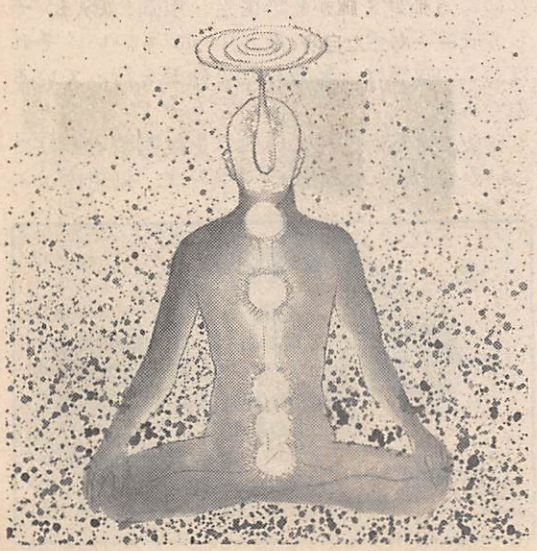
最終解脱者、麻原尊師の神秘のエネルギーの移入によって数々の奇跡を体験する弟子たち。人々を修行の道にいざなう〝エンパワーメント〟の不思議な世界が今明かされる。



ツァンダリーの瞑想――不死の甘露がチャクラを浄化し、超人をつくる

ントとなるものがすべて網羅されていると考えていいだろう。例えば、高度な精神集中を要求される生起過程の瞑想、その反対に意識をリラックスさせていく究竟過程の瞑想、そしてザンゲなどといったものが含まれており、これに習熟すると、驚くような神秘的な体験を得ることができるし、心の成熟も飛躍的に進むのである。この瞑想によって成就者が多く出ていることを考えれば、それは当然のことかもしれない。直接のエンパワーメントではないけれども、瞑想によってもエネルギーが確実に送られていることがよくわかるのではないだろうか。

特にチャクラに関していえば、瞑想中に不死の甘露といわれものが各チャクラを振動させ、それらを浄化するとともに神秘的な力をもたらすということも付け加えておこう。



## 素晴らしい瞑想 ――小乗のツァンダリー

### ◇他心通でズバリ！

畑山　陽

わたしはある時期、毎日欠かさず小乗のツァンダリーの瞑想をやっていました。詞章を唱えるとエネルギーが上がってくるのがわかります。そしてそのエネルギーは次第に体を縦に回り始め、循環するのです。そのうちに頭頂から冷たいものが落ちてきて、とても気持ちの良い状態になります。この冷たいものは、俗にいう甘露というものだと思います。

そして、究竟の瞑想に入ると、快感状態に包まれ、ずっとそのままの状態でいたいと思うのです。

ちょうどそのころからでしょうか、他人の考えや、行動などがふっと心に浮かんでしまうということがよくありました。例えば、ある人がマンガを読んできたと感じたことがあったのですが、その人にこういうマンガを読んだでしょと言うと、まさに図星だったようで、大変驚かれたりしました。

これも小乗のツァンダリーによって心が浄化され、それによって他心通がついたのだと思います。

### ◇瞑想中に意識堕落天へ

聖者アヌーパマ到達光正師

小乗のツァンダリーをやり始めると、まず心が平静になっていきます。そして意識を頭頂に集中すると、そこが徐々にしびれてきて、麻原尊師の心地良いエネルギーが入ってくるのがわかるのです。

その状態がしばらく続くと、意識は非常に鮮明になっていき、サハスラーラ・チャクラから落ちる不死の甘露が、ヴィシュッダ・チャクラを通過し、そしてアナハタ・チャクラへと落ちていくのです。

究竟の瞑想に入ると、頭頂の方から明るい光が射し込んできて、意識がとてもすっきりしています。

そういえば、究竟の瞑想中に肉体から抜け出し、意識堕落天に行ったこともありました。まるでリゾート地のように美しい世界で、空中を飛ぶ乗り物がありました。その乗り物から人が降りてきましたが、地面から足が若干浮いているのが印象的でしたね。

## 天へ至れ——新人類への道

以上見てきたように、麻原尊師による直接のエンパワーメント、そして特殊な瞑想がチャクラを開発し、飛躍的に霊性を高めているのがわかるだろう。クンダリニーの覚醒をはじめ、ダルドリー・シッディ、他心通と、たくさんの人たちが超能力者の道を歩んでいる。しかし、その超能力は、すべてを知り尽くした聖者によって与えられたものなのだ。

何度も言うようだが、安全に、かつ速くクンダリニーを覚醒させ、チャクラを開発させることができるグルは世界でも類を見ない。改めて最終解脱者、麻原尊師の力のすごさをまざまざと見せられたような思いがする。

さて、今回わたしたちは様々な面からチャクラというものにアプローチしてきた。そして、科学と精神世界の両分野を通じてわたしたちが得た結論は、

「チャクラとは、あらゆる才能を開花し、高い霊性と精神性を培わせ、いにしえの聖者たちのごとき超能力を駆使することを可能ならしめる、人類に秘められた最高の宝である。」

ということだ。

科学はチャクラが紛れもなく存在することを証明した。そしてそれを自由自在に操ることのできる新しい人類がすでに誕生していることもわかった。

ここで、再びあなたに言わなければならない。人類は今、とてつもない大きな転機を迎えている。それは「破局」という言葉に置き換えた方がいいかもしれない。そして、その大破局を乗り越えるチャンスがあなたの目の前にあるのだ。

正しい修行法とイニシエーション、そして何よりもすべてを知り尽くしたグルがあなたを神にすることができるのである。

もはや残された時間はない。選択が迫られているのだ。破滅の道を行くか、それとも天へ至る道を行くか——それはあなたの心次第なのである。

そして、あなたが自己の中にひっそりと眠るチャクラに生命の息吹を与えたとき、新しく生まれ変わるであろう地球を輝かしい未来へと導く新人類とは、そう——あなた自身のことに違いない!

新人類の登場とともに、母なる地球も生まれ変わろうとしている

# エピローグ

プロローグでは、こう述べた。

「オウム真理教の修行者は、経典と自らの修行によって、この大宇宙のすべてを支配する深遠な法則や、目に見えない異次元世界の存在を確信している。そうした目に見えない真理の法則を知って応用してこそ初めて真に幸福に生きられるものと信じ、その法則を一人でも多くの方に知らせ伝えようと努めている。そのために、目に見えない世界の真実を〝科学〟によって証明しよう。」

と。

これは、わたしたちオウム真理教修行者の偽らざる心境である。そして、わたしたちが科学的実験を試み続ける第一の理由である。実験によって科学万能主義の現代人が真理に目覚め、能力を開発し、意識を向上させ、幸福になってくれれば——ただ、そう思う。

しかし、ハルマゲドンの危機を目前にしている現在、わたしたちはもっと緊迫した理由のために、科学的実験を試みなければならないのも事実だ。それは、「どうすればハルマゲドンを生き残ることができるのか？」ということを多くの人々に急いで示すためにである。それが、今回ＰＡＲＴ４でお送りした内容として現われた。つまり、オウム真理教成就者がハルマゲドンを生き残れる科学的根拠を示すことによって、ハルマゲドンを生き残れる個人的方法を科学的に示したのである。

さらにわたしたちは、「どうすれば集団的にハルマゲドンを生き残れるか？」という研究のための科学的実験をも試みている。すなわち、一人でも多くの人をハルマゲドンの惨禍から救う施設、「水中都市」建設のための科学的研究に着手しているのだ。

麻原尊師は、こうおっしゃっている。

「例えば未来においていろいろな問題が起きるとするならば、当然、それに対して前もって対処する以外に方法はないじゃないかと。水中都市については、それがいえると思います。では、なぜその必要があるのかというと、やはり人類は残らなければならない。それは仏典にも説かれているとおり、わたしたちの寿命はこれから逆転し、

八万歳の寿命を得る状態に至っていくわけですから、そのための新しい種、新しい人類を残す必要があります。そのためには当然、それだけの情報の整理および処理と同時に、その情報をもとにして新しい未来を創りあげる努力をする必要があるんじゃないでしょうか。」（前掲『麻原彰晃、戦慄の予言』より）

尊師の言われる「新しい種」「新しい人類」をハルマゲドンの惨禍から守るために、放射線を通過させない効果的な防御板の研究等、最先端の技術を結集した研究がオウム真理教科学スタッフの手によって日夜続けられている。

科学万能主義の現代、わたしたちオウム真理教の修行者は、真理の法則を科学的に証明するために、引き続き科学的実験を行なっていくつもりである。ハルマゲドンを生き延びる条件を人々に示すために、科学的実験を続けていく予定である。そして、一人でも多くの人をハルマゲドンから救う施設を作るために、科学的実験を行なっていこう——そう決意している。

大破局を経た21世紀の人類の幸福のためには、宗教と科学との融合が絶対不可欠である。科学の力が人間のあくなき欲望のために悪用され、人類滅亡の危機を迎えている現在、このわたしたちの趣旨に賛同してくださる科学者の方々のお力を借りることができれば幸いである。

# "超人"になれ！

## ハルマゲドンを乗
## オウム真理教の

ハルマゲドン、天変地異……。人類の大破局は刻々と迫っている。あなたはこの危機にどう対処するのか？

残された道は一つ。それは、チャクラを開発して進化すること。つまり、〝超人〟になること。世紀末に予想されるあらゆる外的衝撃に対して十分耐えられるだけの強靭な精神と肉体を兼ね備えた超人へと、あなた自身が進化する以外に道はない。

事実、古今東西の予言は、「新たな世界を建設していくのは、生き残った〝超人類〟だ」と示しているではないか。

そして、その超人になるための最短の方法——それが、オウム真理教の修行であることが科学的に証明された！

原始仏教、原始ヨーガ、密教、その他ありとあらゆる世界中の宗教の真髄を、麻原尊師が長年の修行経験をもとに集大成して編み出された最高の修行体系。この真理の精華があなたを確実に〝超人〟へ進化させ、ひいては「絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜」の境地＝「解脱」へと到達させるのだ。

「イニシエーション」—聖なるエネルギーが与えられる

解脱者による丁寧な指導が受けられる準備クラス

視覚と聴覚を通して真理の法が提供される

## 大破局は迫っている

# り切れる修行体系

## ◆オウム真理教が誇る三つの修行体系

### 1．マハーヤーナ

現実生活をより豊かにし、幸福な人生をお約束する。ご年輩の方、仕事が忙しく時間のあまり取れない方にお勧めする。

### 2．タントラ・ヴァジラヤーナ

行法、イニシエーション（解脱者によるエネルギー移入を含めた秘儀伝授）を中心として進め、霊性を向上させて、神秘世界を実体験することができる。この修行体系を選択すれば今生で解脱し、悟ることも夢ではない。

### 3．テーラヴァーダ

原始仏教の上座部を再現。真理にのっとって清浄な生活を送ることによって、幸せな来世が約束される。また、経典の記憶修習によって心の成熟が促され、悟りを得ることが可能。オウム真理教の深遠な教義を徹底的に学びたい方に最適。

目的に合わせてコースを選んでいただきたい。いずれのコースで修行しても、あなたが徐々に人間を超越し、進化していくのは間違いない。

※「『理想社会16』で見た。資料送れ」と書いたハガキ、または電話にて最寄りのオウム真理教の本支部道場までご連絡ください。入信案内等、詳しい資料をお送りします（本支部道場一覧は巻末参照）。

# 集え！尊師のもとへ

# 尊師対談ハイライト

真理の御魂（みたま） 最聖麻原彰晃尊師は各界の有識者と対談されてきたが、その際次のような高い評価を受けている。

中沢新一氏（宗教学者・東京外大アジアアフリカ言語文化研修所助手）
「僕は彼（麻原尊師）がとても高度なことを考えている人で、高い意識状態を体験している人だと認めています。日本の今いるいろいろな宗教家のなかでも知性においてかなり上等なレベルにいる人だと思いました。今の日本で宗教をやっている人のなかで稀に見る素直な人なんじゃないかな」（『週刊ポスト』89年12月4日号より）

島田裕巳氏（宗教学者・日本女子大学助教授）
「『オウム』は最初はヨーガから始まったが、その後は、仏教の本来のスタイルに近づいている。日本の仏教は世俗化しているために『オウム』が特異な集団に見えるが、むしろ仏教の伝統を正しく受け継いでいる。パーリ語の仏典を訳したりして、勉強している点も、それを裏づけている。」（『週刊朝日』91年10月11日号より）

荒俣宏氏（作家）
「私は麻原尊師にかぎりない好感を抱いた。おそらく解脱した者は幼児のように他愛もないか、あるいは阿修羅のように熱狂的であるかの、どちらかだろう。……麻原彰晃がほんものの解脱者であるとして、かれが示す寛大の姿勢は、あきらかに前者の例といえるだろう。」（『０３』91年6月号より）

栗本慎一郎氏（経済人類学者）
「麻原さんのように煩悩を越えられた方は、非常に素晴らしいし、そこからの教えを説いていっていただきたいと思います」（『サンサーラ』92年1月号より）

『ビートたけしのテレビタックル』（91年12月30日放映）ビートたけし氏と対談。以前から尊師に会いたがっていたというたけし氏と話が弾んだ。録画終了後にたけし氏から尊師に個人的に話しかけがあり、後日『Bart』（集英社）誌上において再び対談がなされた。

# 各地の大学で大反響を呼んだ麻原尊師

91年から92年にかけて、最聖 麻原尊師は日本全国の有名大学において学生を相手に講演し、いずれの地でも好評を博した。

東京大学の講演では、二階席のある大教室でも立ち見の出るほどの大盛況だった。大宇宙の創造のプロセスから社会問題まで広範な質問がなされたが、どの質問に対してもスパッと回答する尊師の明快さがきわ立っていた。

京都大学講演会においては、定員200人の会場に、麻原尊師を一目見ようとした学生1300人以上が詰めかけて大変な盛況を呈した。後半の大質問会では、時間を延長して、人類学や物理学の専門家からの問いに答える尊師に何度も熱い拍手が巻き起こっていた。

なお、国内のみならずロシアの大学においても講演が行なわれ、大反響を呼んだ。写真は日本でいえば東大に当たるモスクワ大学での講演（92年3月）。その他、モスクワ工科物理大学、モスクワ国際関係大学、モスクワラジオ電子自動制御大学でも行なわれ、超満員の聴衆が集まり、尊師への質問が殺到した。

# 聖者からのメッセージ

## 「救世主はあなただ!」——聖者方に使命を託された真理の御魂(みたま) 最聖麻原彰晃尊師

最高の修行ステージに到達された、真理の御魂 最聖麻原彰晃尊師は、高い霊性と精神性を持つ世界中の聖者から、その修行ステージの高さを絶賛されている。

**ダライ・ラマ法王**（チベット仏教の政治・宗教の最高指導者）
「君（＝麻原尊師）が日本に本当の宗教を広めなさい。君ならそれができる。」（87年　インド・ダラムサラーにて）
「オウムは宗教的・社会的活動を通じて、人々の覚醒を促すよう努力する団体です。瞑想の実践方法を人々に指導するとともに、オウムの人たちは大乗仏教の伝統を引続き実践しています」（89年5月　親書）

**故カール・リンポチェ師**（チベット仏教カギュ派総帥）
「今生のわたしたちは大きな幸運に恵まれています。それは、仏陀（覚者＝目覚めた人）が現われて法を説き、その法が今なおここに存在している時代に、わたしたちは転生したからです。……それは皆さんのグル、麻原彰晃尊師です。」（88年8月　オウム真理教福岡支部道場にて）
「尊師は偉大な智慧と、偉大な法の理解、そして大いなる愛、すべてのものを助けようという願望を持っておられます。」（88年　同名古屋支部道場にて）

**カムトゥール・リンポチェ師**（元ダライ・ラマ法王宗教局長：チベット仏教ニンマ派の高僧）
「あなた（＝麻原尊師）は高い悟りを得ている。イェシェ（完全なる絶対なる神の叡智）のステージだ。完全にあなたの生きている意味合いは、衆生を済度するためである。」（91年5月　インド・ダラムサラーにて）
「麻原尊師は公の協力が得られた場合には、真に多くの人々に受け入れられる仏教の師として、日本に真の法を再び確立できるお方です。」
（89年5月　親書）

**アーナンダ・マイトリー高弟**（仏教国スリランカナンバー1の瞑想家であり学者として同国国民から尊敬を集めている聖者：高弟とは「長老」の意）
「初めて尊師にお会いしたとき、尊師が今の時代、この地球に現われた偉大な聖者の一人であることを理解しました。尊師は偉大な宗教的師です。精神的に非常に高いレベルに達している方です。わたしは多くの修行者、グル（霊的指導者）に会いましたが、尊師ほど素晴らしいグルには会ったことがありません。」（92年5月　スリランカ・バランゴダにて）

**スワミ・アカンダナンダ**（歴史上傑出したヨーガ行者ラーマ・クリシュナ・パラマハンサの孫弟子：「功徳の聖者」と呼ばれている）
「あなたには特別の使命がある。……近い将来、日本はほとんど破壊されるでしょう。それは神の意思なのです。そのときに、歴史に姿を現わす新しい人類を率いなければならないのが、あなたです。」
「あなたには特別の任務がある。それは日本人を高い精神状態へと引き上げることです。」（86年　インド・ウッタルカシにて）

**パイロット・ババ**（インド政府より「マハリシ〈大聖者〉」の称号を受けている日本でも有名な超能力者：86年、日本でのサマディ実験がテレビで放映された）
「……日本だけではない。アメリカも、ソ連も、中国もいろいろな形で破壊されていくことだろう。しかし、救われる道は残されている。それは、日本人が正しい宗教を持つことである。そうすれば、日本は破壊を免れるに違いない。そう、あなたは日本を救うことができる。あなたは日本を救わねばならない。」（86年2月　インド・デリーにて）

# 世界との交流——世界

予言によると、世紀末の救世主が説く教えは
真理の御魂（みたま） 最聖麻原彰晃尊師の活動は全世界的

## ラオスにて

ラオスの出家修行僧による尊師一行に対する出迎え

麻原尊師は仏教国ラオスにおいても国賓として迎えられ、大歓迎を受けた。ラオス国民の温かい歓迎を受けた尊師一行

## ザイールにて

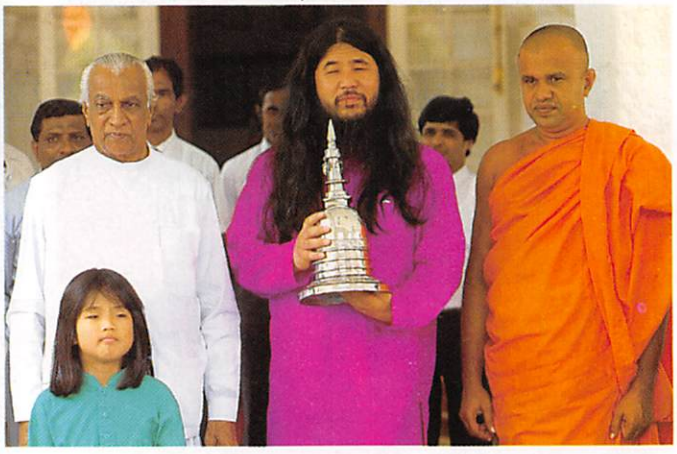
92年10月、オウム真理教は、貧困と病苦にあえぐアフリカのザイール共和国に医療使節団を派遣し、医療援助や物資援助を自らの手で行なった。

大統領と並ぶ実力者モンセンゴ国民議会議長に医療品を手渡される尊師

医師資格、看護婦資格を持つ出家修行者や信徒による医療活動

現地マスコミは尊師一行に熱い注目を寄せた。同国の人気ニュース番組に生出演される尊師

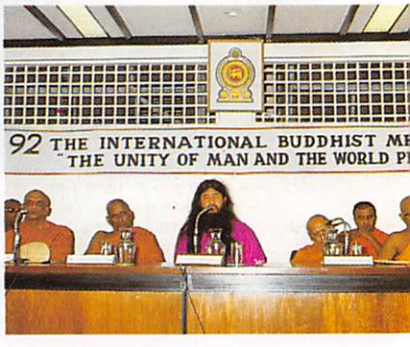
## スリランカにて



麻原尊師は仏教国スリランカからも公式招待された。総理大臣D・B・ビジェトゥンガ氏より仏舎利（仏陀釈迦牟尼の遺骨）を受け取る尊師

尊師を歓迎して集まったスリランカの民衆（ゲートの文字からは手作りの温かさが伝わってくる）

麻原尊師の呼びかけによって、「国際仏教会議」が開かれ、スリランカを代表する高僧の方々が出席された



# へ羽ばたくオウム真理教

全世界へ広がるという。そして、予言どおり
規模に拡大し、各地で大歓迎を受けているのだ。

## ロシアにて

最聖 麻原尊師はじめとするオウム真理教のメンバー約300名は、92年3月ロシア共和国に公式招待された。

ルツコイ副大統領 「麻原尊師と会えて、とてもうれしい」

ハズブラトフ最高会議議長（エリツィン大統領に次ぐロシア・ナンバー2の政治家）
「尊師が日本だけでなく、全世界で、その純粋な仏教の崇高な理念を普及するため、本当に偉大な活動をなさっていることをわたしはよく承知しております。この活動のますますのご成功と、ご健康をお祈りします」

ロボフ第一副首相（経済大臣／前ソ連首相代行／露日基金会長）
「オウム真理教の若いスタッフがモスクワで活躍することを望みます。」
「露日基金の会館が、モスクワの中心地にできます。その中の一部をオウム真理教の拠点にすればいいのではないでしょうか。」

オウム真理教の舞踏歌劇「死と転生」がクレムリン大会宮殿で行なわれた。6150人収容の同会場は超満員となった。

## ブータンにて

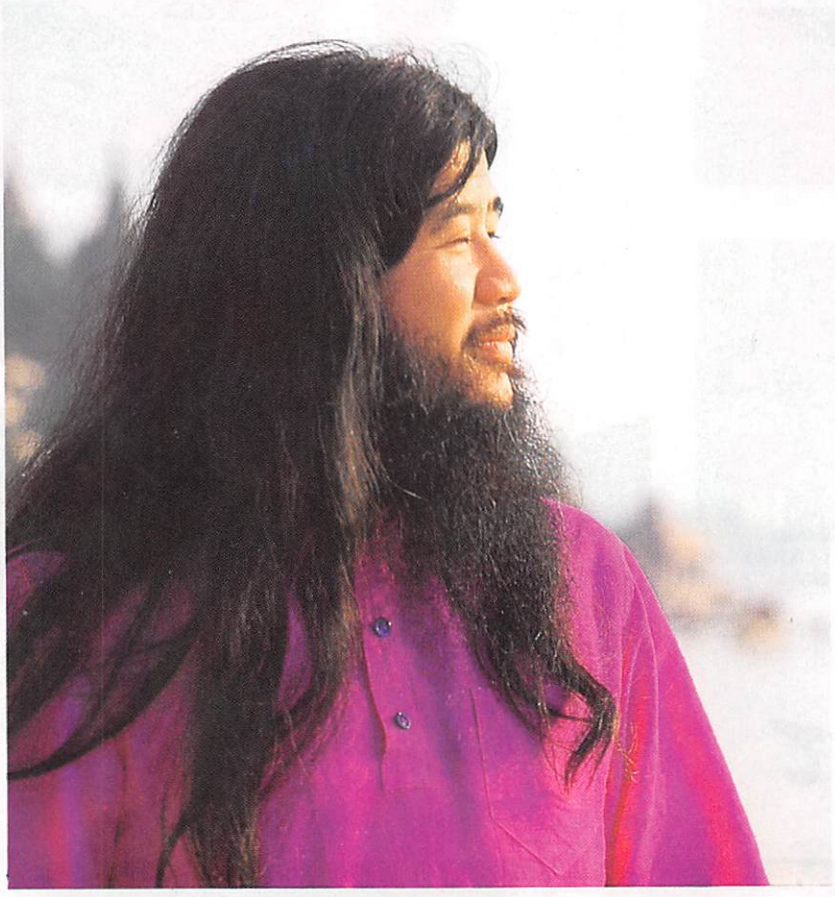
92年7月に尊師一行はブータン王国国賓として招かれ同国国王ならびに法王と会見した。
そして尊師は同国より〝最聖〟の称号を贈られた。

法王と。仏教に関する奥深い対話がなされた。

国王と。「尊師の活動は世界の人々に博愛、協調、理解をもたらす大きな貢献だと思います。」

# オウム真理教ラジオ放送「エウア

## 御国の福音は今世界に 毎夜10時15分



日本で、そして世界で、今注目を集めている真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師が説かれる真理の法則が、あなたの耳を直撃！ オウム真理教ラジオ放送「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」。日本語放送は毎日3時間のワイド番組、英語放送も毎日1時間、全世界に向けて放送しています。

### 「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」（日本語放送）は3部構成

#### 第1部「ホップ」
（夜10時15分〜11時15分）

「オウム真理教ってなに？」という方の時間です。

麻原尊師の初心者向けの説法、「故事成語」、新番組「今日のワンポイント真理」など、初心者にもわかりやすい内容を集めました。

#### 第2部「ステップ」
（夜11時15分〜12時15分）

「尊師のこと、オウム真理教のことをもっと詳しく知りたい！」という方向け。修行者の体験談特集「ミラクルパワー」、弟子たちが見た尊師の神通力「これが尊師の超越神力」、大人気の「ウイークリープログラム」など中級者向けのプログラムが組まれています。

#### 第3部「ジャンプ」
（夜0時15分〜1時15分）

「尊師の高度な法を聴きたい！」という上級者向け。

こちらは麻原尊師の直弟子向け説法、著書の朗読など。本来ならば外部には明かされない秘儀も特別に公開！

（※各時間帯の主な番組は別表を参照）

# を聴いたか？

# ンゲリオン・テス・バシレイアス」

# はAM1476kHz

## 「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」の主な番組

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 第一部 ホップ | （夜10・15～11・15） | | 「故事成語」 | 人生教訓にもなる故事成語を麻原尊師が真理の観点で解説。 |
| | | | 「真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師説法」（初級編） | 原始仏教、原始ヨーガ、チベット仏教を包含する深遠な真理の教えを、麻原尊師がわかりやすく説かれています。 |
| | | | 「今月の歌」 | 尊師自らが作詞作曲。深遠な教えが隠された真理の歌のコーナー。法則の記憶修習に最適です。 |
| | | | 「今日のワンポイント真理」 | 比較的初心者向けに真理の法則を解説。 |
| | | | 「尊師に聞く！」 | だれもが持っている素朴な疑問に麻原尊師が直接お答えします。 |
| 第二部 ステップ | （夜11・15～0・15） | | 「尊師トーク」 | 真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師のワンポイント真理トーク。 |
| | | WEEKLY PROGRAM 月 | 「救済のしおり」 | 麻原尊師の高弟の方々が語る心やすらぐ真理エッセイ。 |
| | | 火 | 「ターニング・ポイント」 | なぜオウム真理教に入信したのか？ そして彼らはそこで何を得たのか？ 修行者たちにご自身の体験を語っていただきます。 |
| | | 水 | 「ハッピー・トーキング」 | 入信して本当によかった！ 真理の実践によって幸福をつかんだ人たちの体験談特集。オウム真理教がわかる必聴コーナー。 |
| | | 木 | 「超越世界」 | 麻原尊師の驚異的な超越神力をラジオドラマで再現。 |
| | | 金 | 「驚異の運命学、大宇宙真理占星学」 | 麻原尊師開発の究極の占星学を使ってあなたの運命を鑑定。驚異的な的中率であなたの人生のすべてを明らかにします。 |
| | | 土 | 「ノストラダムス 秘密の大予言」 | 戦慄の未来が描かれたノストラダムスの予言詩を生前の原文から直接翻訳。最終解脱者の叡智によって解き明かします。 |
| | | 日 | 「サキャ神賢直説根源仏典 ラジオドラマ」 | 麻原尊師の指導のもと、オウム真理教翻訳チームが翻訳した仏典の世界がラジオドラマに。サキャ神賢の叡智が今甦る。 |
| | | | 「わたしは見た！ これが尊師の超越神力」 | 弟子たちが目撃した麻原尊師の超越神力特集。ただ一人の最終解脱者の真の力が明らかになる！ |
| | | | 「ミラクル・パワー」 | 正しい修行によって体験できる神通体験、神秘体験の数々を麻原尊師の弟子たちに聞きました。 |
| | | | 「ウインド・トレーニング」 | 手軽にできる、心身をリフレッシュさせる行法の奥儀を伝授。 |
| | | | 「スポット・インフォメーション」 | オウム真理教のホットな情報を紹介。 |
| 第三部 ジャンプ | （夜0・15～1・15） | | 「真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師説法」（上級編） | だれも説くことができなかった深遠な真理の法則の奥儀ともいえる教えを麻原尊師が直接伝授！ |
| | | | 「運の良くなるザンゲコーナー」 | 一日の終わり。ザンゲが心の疲れを癒します。 |
| | | | 「ラジオで決意」 | 修行の第一歩は決意から。みなさんの決意をラジオで。 |
| | | | 「朗読」 | 尊師の著書の朗読コーナー。法則の記憶修習に最適です。 |
| | | | 「宝石の言葉」 | 尊師説法の中から貴重な尊師の名言を紹介。 |

### ●新しいベリカードが完成●

オウム真理教ラジオ放送「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」の新しいベリカードが完成しました。デザインはシンプルながらも綺麗なもの。すでにBCLファンを中心に話題を呼んでいます。カードのタイプは3種類。麻原尊師の写真をベースに、番組中で紹介されている麻原尊師の名言「宝石の言葉」が一枚一枚に織り込まれています。あなたも集めてみませんか？なお受信報告書の宛先は、

〒107 東京都港区南青山7－5－12
マハーポーシャビル
オウム真理教ラジオ放送事務局

### ●特別プレゼント●

**タイアップマガジン『えんじょい・はぴねす』**

「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」が10倍楽しくなるタイアップマガジン、月刊『えんじょい・はぴねす』の定期購読者募集中！『理想社会』の読者の方に、特別に最新号を見本としてもれなくプレゼントします。放送の聴きどころや、オウム真理教の最新情報を満載したオールカラー80ページ。巻末のハガキに必要事項をお書きの上、どしどしお申し込みください。

# オウム真理教のプレゼントコーナ

## あなたを〝超人〟に進化させる 真理の御魂(みたま) 最聖 麻原彰晃

以下のオウム出版の本の中から、ご希望の一冊を選んで巻末のハガキでお申し込みください。もれなく無料でプレゼントいたします。予言されていた「救世主」の姿をあなたの目でしっかりと確かめてみてください。

この本なしには宗教は語れない！絶対最強の教え

## オウム真理教を知りたい方のための本

### 生死を超える 増補改訂版
解脱と悟り。それは人としての最高の宝物。8年の歳月を経て修行の最終地点に到達された尊師の体験が、解脱への道程を克明に語りかける。

### タターガタ・アビダンマ 第一誦品 大宇宙の実相
オウム真理教の教義をやさしく教える入門書第一弾。真実の宇宙観と魂の落下のプロセスを詳述。

### タターガタ・アビダンマ 第二誦品 真理勝者の救済計画
サキャ神賢の教えの全体系が明かされる！魂が救済されていくプロセスと解脱への道程を詳述。

### マハーヤーナ・スートラ
解脱の真実が実体験として証明された。解脱へのステップ、希代の体験談がすべてを語っている。

### マハーヤーナ・スートラ PART2
サキャ神賢の教えと尊師の説法と弟子たちの体験談が満載。読み、考え、実践する「本物のお経」。

### イニシエーション
最高の秘儀を惜しみなく公開。今日の日本と世界の動向を正確に予言している驚くべき記述の数々。

### 真実！ 六道輪廻
麻原尊師と高弟たちの瞑想体験が証明する六道輪廻の真実。間違いだらけの現代の死生観を正す。

### 宗教にだまされるな！
霊障、水子供養、先祖供養……。この世にはびこる間違った観念を打破し、正しい意味を説く尊師。

### キリスト宣言 PART1 キリストの教えのすべてを明かす
日本でただ一人の最終解脱者、オウム真理教麻原彰晃尊師が説く、これがイエスの真実だ。この一冊でイエス・キリストの教えのすべてがわかる！

### キリスト宣言 PART2 再臨・裁き・終末
神の審判のとき、この世は破滅する――『聖書』にあるイエス・キリストの予言をいよいよ解読。

真理勝者の叡智をあなたに

## 麻原尊師の魅力を探りたい方のための本

### 約束の大地
インド・チベット・ラオス……仏教ゆかりの地を尊師が行く。尊師が初めて明かす高度な瞑想・秘儀の数々。その魅力を結集させたファン待望の書。

### 尊師、麻原彰晃が斬る！
願望成就の秘法、UFO&宇宙人、医学、音楽、食養、輪廻転生等について麻原尊師が斬る！

### 麻原彰晃の聖者誕生
チベットの高僧をはじめとする聖者方が、唯一の最終解脱者麻原尊師について語った全記録を収録。

# 本

## 尊師の説く法とは？

## 超人になりたい方の手引書

### 超能力秘密の開発法　新・増補大改訂版
人が修行によって〝人間〟を超えようとするとき、必ず人智を超えた力が身につく。あの不朽のベストセラーが増補・大改訂されて今ここに登場。

### 超越神力　PART1　天耳通・他心通
人の魂に宿っている力〝超越神力〟。その神秘の力の秘密、そのすべてを今明らかに。

### 超越神力　PART2　前生を知れ！死生智の秘密
輪廻転生を繰り返しているわたしたちの魂。本書では、麻原尊師の興味深い前生体験を満載。

### 超越神力　PART3　完全なる絶対なる神の叡智、漏尽通
最終解脱者だけが知る〝完全なる絶対なる神の叡智〟とは？漏尽通の秘密が今明らかになる。

### 超越神力　PART4　わたしは見た！これが尊師の超越神力
麻原彰晃尊師の〝超越神力〟を目の当たりにした内弟子の生の声を豊富に満載。尊師の神通力のすべてを徹底公開！

### 能力覚醒の秘法を解く
多くの科学的智見を駆使して人が超人へと進化していくプロセスを解明し、その衝撃の秘法を公開。

### 麻原彰晃のズバリ！浮揚
28人の決定的瞬間、空中浮揚の仕組みを解説する仏教・ヨーガ理論。空中浮揚のすべてを満載！

### 麻原彰晃のザ・サマディ
サマディ――それは真の解脱者のみがなし得る奇跡。生死を超えた瞬間、彼らの見た世界とは？

### 甦る聖者伝説
呼吸も止まった〝死〟の状態から、彼らは復活する。解脱者のみがなし得る奇跡、サマディの神秘。

### 原爆覚醒
最高のイニシエーション（エネルギー移入）、「シャクティーパット」。今その詳細が明らかに。

### 奇跡のエンパワーメント
人々を修行の道へといざなう麻原尊師の〝エンパワーメント〟の不思議な世界が今明らかに！

### 神通力
すべての魂の救済のための神通力とは？最終解脱者、麻原尊師の神通力を弟子たちが徹底追究。

ハルマゲドンを生き残るために

## 世紀末の行方を知りたい方の本

大予言をズバリ解明

### ノストラダムス秘密の大予言
ついに封印を解くべきときが来た！自らの神秘力によって奇跡を見せた尊師が明かす衝撃の真実。遥かなる時間を経て今甦るノストラダムス――。

### 滅亡の日
『ヨハネの黙示録』の謎を麻原尊師が徹底的に解読。人類滅亡のシナリオの封印が解かれた。

### 滅亡から虚空へ（続・滅亡の日）
大破局後に来る新たなる闘いとは？だれにも解けなかった予言書のすべてが、今明らかにされる。

### 麻原彰晃、戦慄の予言
**君は人類最終戦争を生き残れるのか？**
西暦2000年までに日本に起きる恐怖に満ちた現象……。衝撃の近未来予言と、人類最終戦争を生き残るための秘儀を麻原尊師が特別に伝授する！

### 人類滅亡の真実
滅亡の真実を克明に説き明かす、真理勝者サキャ神賢と最終解脱者麻原尊師が贈る人類啓蒙の書。

### マンガ・滅亡の日
尊師が動き語る。未来ヴィジョンが迫ってくる。『ヨハネの黙示録』の謎がヴィジュアルに！

——これを読まずに1999年は迎えられない！——

## ●世紀末人類必読の書、『理想社会』シリーズ●

いよいよ激動の世紀末。今、西洋物質文明のもとで行き詰まりを見せる人類に、新世界を切り開いていく新たな理念が示される。
そして、神が予定されていた「終わりの日」だからこそ判明する〝世界の謎〟が次々と明かされる。
これから世界はどうなるのか？ わたしたちの歩むべき道とは？ 果たして救世主は再臨するのか？
それは……『理想社会』を読めばすべてわかる！

### 理想社会9

予言特集／世紀末の救世主は〝盲目の人〟
ノストラダムスが予言していた麻原彰晃尊師

世界中の予言書が予言していた——。人類を滅亡から救うために世紀末に登場する救世主が麻原彰晃尊師であることを。そして最後の救済団体・オウム真理教の歴史の表舞台への登場を。それらの予言のリアルな描写を豊富な資料で裏づけつつ紹介するとともに、恐るべき適中率を誇る麻原尊師の予言や、なぜ予言が可能なのかという予言のメカニズム、さらに近未来の日本の予言まで、予言のすべてを満載した。

### 理想社会10

これであなたも超人になれる
神秘のスーパーエネルギー〝クンダリニー〟
を覚醒させよ！

すべての人の尾てい骨に眠っている神秘の霊的エネルギー、〝クンダリニー〟。ほとんどの日本人がその存在すら知らないクンダリニーを覚醒させることができれば、知能を向上させ、超人的才能や超能力を身につけ、ひいては至上の幸福「解脱」を手にすることができる！ そして、クンダリニーを覚醒させた〝超人〟こそが、世紀末の核戦争を生き残り、予言されていた新たな世界の主人公となっていくのだ。では、その覚醒の方法とは……？

### 理想社会11

予言特集 第2弾／12000年の時を超えて〝超古代救世主ヘルメス〟が復活した！—アトランティスの秘法を甦らせる、真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師

古今東西の予言者によって、「世紀末救世主」と予言されていた麻原彰晃尊師。実は尊師が救世主として地上に出現されたのは、今回が初めてではなかった。その偉大な救世主としての起源は、12000年前に地上から消失したという幻の文明〝アトランティス〟にまでさかのぼるのだ。そう、〝世界中の宗教と文明の祖〟とも呼ばれる英雄〝ヘルメス〟が活躍した歴史の舞台にまで……。尊師が人類の歴史において果たされてきた衝撃的事実を初公開。世界の宗教史と文明史がここに一挙に覆る!?

他の本では絶対に知ることのできない秘密が続々と明らかにされる『理想社会』シリーズ。
書店販売はしておりませんので、ご希望の方は、巻末のハガキの「ご希望になるオウム出版の本」の項目の最後部に「○号希望」とお書き加え下さい。
無料で差し上げます。何冊でも結構です。

好評！ あなたとオウムをつなぐ

## パソコン通信、〝オウム真理教ネット〟

オウムについてもっと詳しく知りたい……
教義その他について、いろいろと聞きたいことがある……
オウムの人たちの生の声を聞いてみたい……
そんなあなたに最適な情報ネットワーク

### オウム真理教ネット

**電子掲示板**
- ○最新情報！ オウム真理教
- ○尊師説法
- ○ジャータカ仏典
- ○なんでも人生相談
- ○予言・占いコーナー
- ○フリートーク

**電子会議室**
- ○オウム真理教ってどんなとこ？
- ○わたしの神秘体験
- ○オウム真理教のラジオ放送について
- ○ザンゲの部屋

**電子メール**
- ○あなたの気にいった相手に

**チャット**
- ○画面を通して解脱者とさあ 語ろう

**フリーソフト**
- ○尊師画像
- ○真理紙芝居
- ○転生うらないゲーム

などなど

**〝オウム真理教ネット〟のご紹介**

| | |
|---|---|
| TEL番号 | 03-5450-5580(4回線) Tri-P利用可能 (CXAUMNET) |
| 通信速度 | 1200/2400bps |
| 通信条件 | BIT-8 PARITY-NONE STOP-1 |
| プロトコル | X-MODEM Y-MODEM(-G) |
| ゲストID | GUEST |
| 運用時間 | 24時間 |
| 入会方法 | ゲストログイン後、SYSOPあてメールにて申請 |

面倒な手続きはいっさいありません。オウムに興味をお持ちの方、聞いてみたいことがある方は、今すぐお気軽にご利用ください。

ただ今、新入会員の方に素敵なプレゼント(「えんじょい・はびねす」最新号)をさしあげています。

●なお、その他詳細は下記までお問い合わせください。
〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17
〝オウム真理教ネット〟事務局 TEL 03-5450-3554

# ◆各道場のご案内◆

富士山総本部　0544(54)1267
〒418-01　静岡県富士宮市人穴381-1
東京総本部　03(5467)2745
〒107　東京都港区南青山7-5-12
マハーボーシャビル2・3F
世田谷道場　03(3327)8565
〒156　東京都世田谷区赤堤2-42-5 杉田村松ビル1F
杉並道場 03(3396)9393
〒167　東京都杉並区下井草4-4-4　井口ビル2F
札幌支部　011(241)4938
〒060　北海道札幌市中央区北2条西2丁目19-1
チサンホテル本館2F
仙台支部　022(268)3904
〒982　宮城県仙台市若林区河原町1-4-20 十全会ビル2F
水戸支部　0292(26)8044
〒310　茨城県水戸市中央2-2-1 HDビル6F
高崎支部　0273(46)1573
〒370-12　群馬県高崎市倉賀野町下稲荷前1081-5
船橋支部　0474(66)4965
〒274　千葉県船橋市新高根6-26-18
横浜支部　045(243)8079
〒231　神奈川県横浜市中区若葉町3-41-2
コスモ伊勢佐木長者町ビル204
金沢支部　0762(51)8457
〒920　石川県金沢市京町25-20
ソフトオフィスビル2+4 2F
松本支部　0263(28)7429
〒399　長野県松本市芳川野溝527-3
福井支部　0776(26)6145
〒910　福井県福井市御幸3-3-41 東伸ビル2F
名古屋支部　052(252)0709
〒460　愛知県名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル3F
京都支部　075(371)3759
〒600　京都府京都市下京区堀川通り松原上ル五軒町384
松本ビル2F
大阪支部　06(251)4264
〒541　大阪府大阪市中央区久太郎町3-2-15
マルイビル1F・B1F
堺支部　0722(21)1843
〒590　大阪府堺市海山町4-168-9
和歌山支部　0734(24)2859
〒640　和歌山県和歌山市駿河町42 和歌山酒販会館2F
広島支部　082(264)6250
〒732　広島県広島市南区西蟹屋4-4-18 和田ビル3F
高知支部　0888(84)8286
〒780　高知県高知市はりまや町2-8-8 安藤ビル2F
福岡支部　092(474)2877
〒812　福岡県福岡市博多区博多駅前2-6-15
第一渡部ビル6F
那覇支部　098(869)7707
〒902　沖縄県那覇市安里2-4-12
嘉数グラビアハイツ5F
深谷出張所　0485(74)6205
〒366　埼玉県深谷市菅場441-8
渋谷出張所　03(3476)5065
〒150　東京都渋谷区道玄坂1-15-3
プリメーラ道玄坂317号

〈海外支部〉
ニューヨーク支部　212(421)3687
8 East 48th St. #2E (2nd Floor), New York, N.Y. 10017 U.S.A.
ボン支部　(0228)616647
Auf dem Hügel 48, Endenich, 5300 Bonn 1, S.R.Germany
スリランカ支部
(AUM SACCA SAṄGHA ASSOCIATION)
Horahena, Watte, Angulugaha, Galle, Sri Lanka
モスクワ支部　7-095-455-95-32
Kindergarten No.468, 32A Petrozavodskaya ul. Moscow, 125475 Russia


理想社会　16　　1993年4月5日発行
定　価　　1,000円
監　修　　真理の御魂（みたま） 最聖 麻原彰晃尊師
発行者　　青山吉伸
発行所　　オウム出版
〒154　東京都世田谷区世田谷2-8-17　　電話　03(3439)6043　　振替　東京2-109325
※乱丁・落丁がありましたらお取り替えいたします。


キリトリ線

## ◆オウム真理教の本プレゼントハガキ

——詳細は78、79ページ参照

郵便はがき

料金受取人払

世田谷局承認

81

差出有効期間
平成7年1月
9日まで有効
（切手不要）

〒154
東京都世田谷区世田谷
2－8－17

オウム出版
理想社会係　行

オウム出版の本、および「えんじょい・はびねす」プレゼントカード
★詳しくは本文をご覧ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ<br>お名前 | | 性別<br>男・女 | 年齢<br>歳 |
| フリガナ<br>ご住所 | 〒　-<br>都道府県 | TEL.　(　　)<br>内<br>様方 | |
| ご職業 | ①学生 ②主婦 ③会社員 ④自営 ⑤公務員 ⑥その他（　　） | | |
| 興味のあるジャンル | ①超能力・UFO・オカルト ②思想・哲学・宗教 ③健康・食養<br>④自然科学 ⑤エコロジー・環境問題 ⑥政治・経済 ⑦ドキュメンタリー<br>⑧武道・スポーツ ⑨文芸 ⑩コミック ⑪歴史 ⑫その他（　　） | | |
| ご希望になるオウム出版の本 | | | |
| 「えんじょい・はびねす」ご希望ですか | YES　　NO | | |
| 理想社会 第（　　）号をお読みになっての感想 | | | |

〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17 電話 03(3439)6043

# オウム真理教ラジオ放送

「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」

エウアンゲリオン・テス・バシレイアス

## 毎夜10時15分はAM1476kHz

※夜10時15分から深夜1時15分まで3時間、毎日放送しています。

◎お問い合わせ 〒107 東京都港区南青山7-5-12 マハーボーシャビル オウム真理教ラジオ放送事務局 TEL03(5450)6037
◎「今月の聴きどころ」などを紹介した24時間OKのテレホンサービスもどうぞご利用ください。TEL03(5450)3602